

目黒区美術館年報 令和3(2021)・4(2022)・5(2023)年度

目黒区美術館年報

令和3(2021)・令和4(2022)・令和5(2023)年度

目次

I 展覧会

【令和3(2021)年度】

マニュエル・ブルケール 20世紀パリの麗しき版画本の世界	4
包むー日本の伝統パッケージ	10
目黒区美術館コレクション展 日々のよろこび2021	15
障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび2021	18
めぐろの子どもたち展	22
木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり	23

【令和4(2022)年度】

東京・区立美術館ネットワーク連携事業「東京の猫たち」	27
目黒区美術館開館35周年記念展 美術館はおもちゃ箱・道具箱	30
コレクション解体新書Ⅰ フジタが目黒にやって来た 作品収集のあゆみ	38
めぐろの子どもたち展	42
コレクション解体新書Ⅱ 1970年代以降の作品を中心に	43

【令和5(2023)年度】

ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる	45
中村直人 モニュメンタル／オリエンタル	50
目黒区美術館コレクション展 版画いろいろ＋特集展示 秋岡芳夫全集6 銅版画	54
めぐろの子どもたち展	60
広がるコラージュ／同時開催 IIDA 101 飯田善國	61

II 教育普及事業

(1) ワークショップ活動

【令和3(2021)年度】

1. ワークショップ夏【つつむ】	65
2. ワークショップ春	66

【令和4(2022)年度】

1. ワークショップ夏【おもちゃ箱・道具箱】	66
2. ワークショップ春【美術の基本】	67

【令和5(2023)年度】

1. ワークショップ夏【画材の実験室 夏休み編】	68
2. ワークショップ春【画材の実験室 春休み編】	70

(2) ギャラリーツアー	71
(3) トイコレクションプログラム	71
(4) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー	72
(5) デザインキャンプ、デザインキャンププラス	72
(6) 美術講座	73
(7) めぐろオータムアート	73
(8) 目黒区総合庁舎 西口ロビー展示	74
(9) その他 アウトリーチ	74

III 新収蔵作品	76
IV 作品等貸出	82
V 刊行物	85
VI 入館状況	86
VII 区民ギャラリー	89
VIII ボランティア	93
IX 博物館実習	95
X 名簿	96
XI 施設	97
XII 沿革	98
XIII 案内	98

I 展覧会

マニユエル・ブルケール 20世紀パリの麗しき版画本の世界

会期：2021年4月21日(水)～6月20日(日) 22日間

会場：展示室ABC、展示ロビー

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

入場者数：2,158人

担当学芸員：山田真規子



当初、4月21日(水)～6月6日(日)の会期での開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発出により、会期中の4月25日(日)～5月31日(月)は臨時休館となった。宣言解除後に館内の感染症対策を講じた上で、6月1日(日)より営業再開し、会期を変更して6月20日(日)までの開催となった。

本展では、パリの耳鼻咽喉科の医師であり出版人でもあったマニユエル・ブルケールが、愛書家のために1930～1960年代にかけて限定出版した、美しい絵で彩られた当館所蔵の版画本49冊に収録された約500点の版画を展示した。作品は、画家ごとに特集された本の形態をとり、多くがその画家を礼賛する内容で、マルク・シャガールやモーリス・ユトリロなど、錚々たる画家たちが名を連ねる一方、現在では名前のあまり知られていない画家も多く含まれている。版画といえばモノクロームの印象が強いかもしれないが、当時のフランスの版画の技術の高さを示す鮮やかな色彩に彩られた作品も多く、頁の上に展開される、多様な技法や表現を、会場でじっくり楽しむ来館者の姿が見られた。

●広報印刷物

ポスター B2/チラシ A4

●関連催事

1. オンライン・トーク・イベント「アートブックの現在・過去、そして未来を考える」

講師：高浜利也(版画家・武蔵野美術大学教授)、矢内みどり(美術史家)／司会：山田真規子(当館学芸員)／開催日：4月29日(木・祝)／参加者：30人

2. 大人のための美術カフェ

※新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした

●主要関連記事

「マニユエル・ブルケール 20世紀パリの麗しき版画本の世界」『音楽の友』2021年6月号



A4 チラシ

出品リスト

凡例

・作品のデータは、最初に、各版画本に共通する 出品番号 | 版画本題名 | 出版年 | サイズ(cm) | 作家名 | 著者名 | 技法・材質 の順に記載し、続いて、個々の作品番号 | 作品タイトルを記載した。ただし、作品ごとに異なる情報は、個別に記した。

・※印の作品は両面作品のため展示していない。

・全て「マニエール・ブルケール出版」による出版である。

・全て目黒区美術館蔵。

No.	版画本題名	出版年	サイズ(cm)	作家名/著者名	技法・材質
1	ラウル・デュフィ礼賛 1931 32.4×25.3 ラウル・デュフィ 画/フェルナン・フルーレ 著 リトグラフ、エッチング/紙				
	1-[1] F.フルーレの肖像		1-[2] クロード・ロランへのオマージュ		1-[3] 大浴女
	1-[4] モーツァルト		1-[5] 海		
2	J.-E. ラブルール礼賛 1938 33.4×25.4 ジャン＝エミール・ラブルール 画/ルシアン＝グロー博士 著 ソフト・グラウンド・エッチング、エッチング、ビュラン/紙				
	2-[1] フォーブル(ソフト・グラウンド・エッチング)		2-[2] プリエールの雨(エッチング)		2-[3] 田舎からの帰宅(エッチング)
	2-[4] 川に面した港(ビュラン)		2-[5] 風景(エッチング)		2-[6] アネモネ(ビュラン)※
3	エドゥワール・ヴェイヤーの墓碑 1944 33.4×25.4 エドゥワール・ヴェイヤー 画/ジャン・ジロドゥー 著 エッチング、ドライポイント、アクアチント/紙				
	3-[1] ヴァンティミル広場		3-[2] タベ		3-[3] ヴァンティミル広場
	3-[4] 広場でのエチュード※		3-[5] 男の横顔		
4	H. ド・ヴァロキエ礼賛 1945 32.5×25.5 アンリ・ド・ヴァロキエ 画/A.-H. マルティニー 著 エッチング、ドライポイント/紙				
	4-[1] 芸術家の肖像(エッチング)		4-[2] ヴェネツィアのサリュートと税関(ドライポイント)※		4-[3] ラ・ロシェルの二つの塔(ドライポイント)
	4-[4] 苦悩(エッチング)		4-[5] パリのセーヌ川(ドライポイント)※		4-[6] ヴェネツィアのボートレース(エッチング)
5	ビエール・ボナール礼賛 1946 32.8×25.7 ビエール・ボナール 画/レオン・ウェルス 著 リトグラフ/紙				
	5-[1] 浴槽の裸婦		5-[2] 腰かけた裸婦		5-[3] 上半身
	5-[4] 立った裸婦		5-[5] 室内		5-[6] 帽子を被った女
	5-[7] 屈んだ裸婦		5-[8] シュミーズ		5-[9] 山羊たちの散歩
	5-[10] うずくまる女※				
6	ベルナール・ノダン礼賛 1947 33.4×25.2 ベルナール・ノダン 画/クロード・ロジェ＝マルクス 著 エッチング/紙				
	6-[1] ジブシー馬車のギター弾き		6-[2] 牧神		6-[3] 二人の子どもと手回しオルガン
	6-[4] 聖母マリアと浮浪者たち		6-[5] ハーディ・ガーディを弾く乞食(小)		6-[6] 人形使い
	6-[7] おやつ		6-[8] 休息		6-[9] 行商人※
7	アルベール・マルケ礼賛 1948 32.9×25.0 アルベール・マルケ 画/レオン・ウェルス 著 エッチング、リトグラフ、ドライポイント/紙				
	7-[1] ノートルダム(エッチング)		7-[2] セーヌ河岸の釣り人(リトグラフ)		7-[3] 芸術家の母(リトグラフ)
	7-[4] セーヌ河岸(エッチング)		7-[5] ルーアン(ドライポイント)		7-[6] プーローニュ・スール・メール(エッチング)
	7-[7] 裸婦像(リトグラフ)		7-[8] タルターヌ(小型帆船)(エッチング)		7-[9] 古い港(ドライポイント)
	7-[10] 古い港(ドライポイント)		7-[11] アルジェの海岸(エッチング)		
8	ギュス・ボファ礼賛 1949 32.7×25.6 ギュス・ボファ 画/ビエール・マッコルラン 著 リトグラフ/紙				
	8-[1] 青い牝馬		8-[2] エッセイ(木版の初校)※		8-[3] 好機
	8-[4] 優柔不断の人		8-[5] ロマンティスム1930		8-[6] 厄介ごと
	8-[7] ボクサーたち		8-[8] 家庭の幸福		8-[9] 小フーガ
9	ルシアン・マンシュエール礼賛 1950 33.0×25.6 ルシアン・マンシュエール 画/マニエール・ブルケール 著 リトグラフ、ドライポイント/紙				
	9-[1] メディナ		9-[2] 回教寺院の尖塔のある通り		9-[3] モロッコの踊り子
	9-[4] モロッコの判事		9-[5] 目覚め		9-[6] 裸婦※
	9-[7] マラケシュの踊り子		9-[8] イスラム教寺院		9-[9] モロッコの人物※
	9-[10] 親密さ		9-[11] ローマの平原		
10	ジャン・フレロー礼賛 1950 33.4×25.7 ジャン・フレロー 画/ジャック・ド・ラブラド 著 エッチング/紙				
	10-[1] スネからの道		10-[2] ロク橋		10-[3] 木立
	10-[4] わらぶきの家		10-[5] 狩人		10-[6] 冬
	10-[7] 狭間		10-[8] ケルドラン湾		10-[9] 木下の小道

No.	版画本題名	出版年	サイズ(cm)	作家名/著者名	技法・材質
11	J.L. スーラの肖像 1950 32.8×25.5 ジョセフ＝ルイ＝スーラ 画/ジャック・ド・ラブラド 著/序文:モーリス・ジュヌヴォワ 著 木版、エングレーヴィング/紙				
	11-[1] 7月のボース	11-[2] サン・ペラヴィ・ラ・コロンブの村	11-[3] リニョロールの集落		
	11-[4] 境界壁※	11-[5] スーラ家の風車と納屋	11-[6] リニョロールの風車		
	11-[7] 農場への小道※	11-[8] シャルトル近郊のボース	11-[9] シェシーの教会と釣り人		
	11-[10] コアンスの村	11-[11] 刈り入れをするボースの老人	11-[12] パテへの道		
12	A. ジャックマンの肖像 1951 33.1×25.3 アンドレ・ジャックマン 画/ルイ・シュロネ 著/序文:モーリス・ブデル 著 エッチング・紙				
	12-[1] エピナルの近くでの雪解け	12-[2] アリエ県のサン＝プリバ	12-[3] オート＝ロワール県の風景		
	12-[4] ヴォージュ県の風景※	12-[5] オート＝マルヌ県の村	12-[6] ナンシーの近くの麦畑		
	12-[7] ボノム峠の雪	12-[8] サクソンの雪	12-[9] プロヴァンスの風景		
	12-[10] 兎の習作	12-[11] ヴォージュ人の女			
13	マルセル・ヴェルテス礼賛 1951 32.5×25.3 マルセル・ヴェルテス 画/ジョルジュ・ユイスマン 著 リトグラフ/紙				
	13-[1] 女曲芸師	13-[2] 二人の女友達	13-[3] 線の遊戯		
	13-[4] サーカス	13-[5] ダフニスとクロエのための習作	13-[6] 雅宴※		
	13-[7] 粗野な美	13-[8] 身支度	13-[9] ダフニスとクロエのための習作		
14	馬の日記 1952 30.7×24.7 マルク・シャガール 画/クレール・ゴル 著 リトグラフ、エッチング/紙				
	14-[1] 無題	14-[2] 無題	14-[3] 無題		
	14-[4] 無題	14-[5] 無題			
15	A. デュカリの肖像 1953 32.8×24.8 アルベール・デュカリ 画/アルベール・デュカリ 著/序文:フィリップ・シャバネー 著 エングレーヴィング/紙				
	15-[1] エウロペ	15-[2] パッカスとヴィーナス	15-[3] 収穫		
	15-[4] ノートルダム	15-[5] 肖像	15-[6] 山羊		
	15-[7] ヴィラ・メディチ	15-[8] アポロン	15-[9] トレド		
	15-[10] マルシェアス※	15-[11] 日暮れ※			
16	ルイズ＝エルグー礼賛 1953 32.5×25.3 ルイズ＝ジャンヌ＝エメ＝エルグー 画/クロード・ロジェ＝マルクス 著 リトグラフ/紙				
	16-[1] ショールを持った裸婦	16-[2] 扇※	16-[3] 女中		
	16-[4] 愛人たち	16-[5] 祖母	16-[6] 母		
	16-[7] 果物	16-[8] 傷ついた鳥	16-[9] 空想		
	16-[10] マーガレットと聖母	16-[11] 林檎の入ったかご			
17	アンリ・マンギャン礼賛 1954 32.7×25.5 アンリ・マンギャン 画/シャルル・テラス 著 リトグラフ/紙				
	17-[1] 梳る女	17-[2] 田舎での休息	17-[3] 肖像		
	17-[4] 読書※	17-[5] 船首	17-[6] シエスタ		
	17-[7] 浴女	17-[8] 海岸	17-[9] 共同洗濯所※		
	17-[10] 風景(サン＝トロペ)	17-[11] 子ども			
18	D. ガラニスの肖像 1954 32.7×25.0 デメトリウス・エマニュエル・ガラニス 画/アンドレ・ブクレ 著 木版画、リトグラフ、エッチング、アクアチント、エングレーヴィング/紙				
	18-[1] 職師の道具	18-[2] 水差し	18-[3] ガラニスの肖像		
	18-[4] カシスの風景※	18-[5] 三美神	18-[6] 身支度		
	18-[7] チュイルリー	18-[8] 静物※	18-[9] 静物		
	18-[10] 踊り子	18-[11] 樹木※	18-[12] 騎馬の狩り※		
	18-[13] リヨンの風景				
19	イヴ・ブレイエ礼賛 1954 32.7×25.4 イヴ・ブレイエ 画/ジャン・ブーレ 著 リトグラフ/紙				
	19-[1] 踊り子たち	19-[2] ばら色のフラミンゴ※	19-[3] アルルの女		
	19-[4] ヴェネツィア	19-[5] エキュリアル	19-[6] プロヴァンス		
	19-[7] カマルグ	19-[8] スペインの荷馬車			
20	ロベール・ロティロン礼賛 1955 33.2×25.5 ロベール・ロティロン 画/クロード・ロジェ＝マルクス 著/序文:ヴァンサン・ミュゼリ 著 リトグラフ、ドライポイント、エッチング/紙				
	20-[1] ルイ・フィリップ橋(リトグラフ)	20-[2] 晴天の日曜日(彩色リトグラフ)	20-[3] ディエップ(ドライポイント)		
	20-[4] プルターニュの港(ドライポイント)※	20-[5] 果樹園(ドライポイント)※	20-[6] 小道(エッチング)		
	20-[7] オルジュバル(リトグラフ)	20-[8] リュエルのセーヌ河(ドライポイント)※	20-[9] ルーヴル河岸(リトグラフ)		
	20-[10] 村の入口(リトグラフ)	20-[11] ルグジエンヌ(ドライポイント)	20-[12] 録日(彩色リトグラフ)		
	20-[13] コンコルド広場(リトグラフ)				

No.	版画本題名	出版年	サイズ(cm)	作家名/著者名	技法・材質
21	ジャック・ヴィヨン礼賛 1955 32.7×25.5 ジャック・ヴィヨン 画/ジャック・ラセーニュ 著 エッチング、ドライポイント、リトグラフ/紙				
	21-[1] 画家の肖像		21-[2] プランシュ広場		21-[3] 花瓶
	21-[4] 曲芸師		21-[5] 肖像		21-[6] 説教する人※
	21-[7] 浜辺にて		21-[8] 黄道十二宮		21-[9] 鳥
	21-[10] 黒いタンポンのあるテーブル※				
22	モーリス・ブリアンション礼賛 1955 32.4×25.9 モーリス・ブリアンション 画/クロード・ロジェ＝マルクス 著 リトグラフ/紙				
	22-[1] サークス		22-[2] 引き潮		22-[3] ブーローニュの森
	22-[4] バレエ		22-[5] 海辺にて		22-[6] 桜桃のある静物
	22-[7] 無題				
23	シャルル・カモアン礼賛 1956 33.5×26.0 シャール・カモアン 画/シャルル・ヴィルドラック 著 リトグラフ/紙				
	23-[1] お針子		23-[2] お目覚め		23-[3] クールジャンの鐘楼
	23-[4] ティーポットのある静物		23-[5] ムーラン・ド・ラデ		23-[6] オルシャン通り
	23-[7] 海水浴をする女		23-[8] わが娘		
24	モーリス・ユトリロ礼賛 1956 33.5×26.3 モーリス・ユトリロ 画/ルネ・ウィリー 著 リトグラフ/紙				
	24-[1] アミアンの教会		24-[2] ベルリオーズの家		24-[3] ムーラン・ド・ラ・ガレット
	24-[4] フランコンヴィルへ向かって		24-[5] サクレ＝クール寺院		24-[6] モンマルトルの広場
	24-[7] モンマルトル				
25	J.-G. ダラーニェス礼賛 1956 32.9×25.7 ジャン＝ガブリエル・ダラーニェス 画/P. マッコルラン 著 リトグラフ/紙				
	25-[1] 恋人たち		25-[2] モンマルトルのオーベルニュ領事館		25-[3] トレロ
	25-[4] ボクサー		25-[5] ペロタ競技をする人		25-[6] 裸婦
	25-[7] 陸戦隊兵士		25-[8] 綱渡り芸人		25-[9] ビカドール
	25-[10] サークス		25-[11] 黒いストッキングをはいた裸婦		
26	ヴァン・ドンゲン礼賛 1957 32.9×26.0 キース・ヴァン・ドンゲン 画/ポール・ギュット 著/序文:アンドレ・ジグフリード 著 リトグラフ/紙				
	26-[1] 画家の肖像		26-[2] ロッテルダム遊郭		26-[3] 大食らいの女性
	26-[4] 小エビを獲る女性		26-[5] スペイン人		26-[6] ポロ
	26-[7] エレガントな女性 1900		26-[8] オダリスク		
27	アブラム・クロルの肖像 1957 32.9×25.7 アブラム・クロル 画/モーリス・テスカ 著/序文:クロード・ロジェ＝マルクス 著 木版、エングレーヴィング/紙				
	27-[1] ブドウ運搬人(木版とビュラン)		27-[2] ノロ(小型のシカ)(ビュラン)		27-[3] ロトの娘(木版)
	27-[4] 犁を引く農民		27-[5] ブドウ棚(木版)※		27-[6] 少年(ビュラン)
	27-[7] 農民(ビュラン)※		27-[8] 収穫(ビュラン)※		27-[9] 伝書鳩を飼う人(ビュラン)
	27-[10] ポプラ(ビュラン)※		27-[11] 山羊(ビュラン)		27-[12] 犁(木版)
	27-[13] 城(ビュラン)				
28	フランソワ・デノワイエ礼賛 1958 32.8×26.0 フランソワ・デノワイエ 画/ジャン・ブーレ 著 リトグラフ/紙				
	28-[1] スポーツウーマン		28-[2] 横たわる裸婦		28-[3] ラドゥール川の橋
	28-[4] グロー・デュ・ロワ		28-[5] ダクスの周辺		28-[6] アレッツォ
	28-[7] 野原の工場		28-E[1]「スポーツウーマン」の校正刷り		28-E[2]「横たわる裸婦」の校正刷り
	28-E[3]「ラドゥール川の橋」の校正刷り		28-E[4]「グロー・デュ・ロワ」の校正刷り		28-E[5]「ダクスの周辺」の校正刷り
	28-E[6]「アレッツォ」の校正刷り		28-E[7]「野原の工場」の校正刷り		
29	ロラン・ワード礼賛 1958 33.3×25.8 ロラン・ワード 画/クロード・ロジェ＝マルクス 著 リトグラフ/紙				
	29-[1] 音楽		29-[2] 静物画		29-[3] 枯れた樫の木
	29-[4] 若い農婦		29-[5] アルテミス		29-[6] イル・ド・フランス地方
	29-[7] 闘牛		29-[8] 収穫		29-[9] プロヴァンス地方
30	クラーヴェ礼賛 1958 32.8×26.0 アントニ・クラーヴェ 画/ビエール・オズナ 著 リトグラフ/紙				
	30-[1] トランプの王様		30-[2] 青い鳥		30-[3] 赤い背景の静物
	30-[4] 青い斑点の魚		30-[5] 正面を向いた王者たち		30-[6] 死んだ鳥
	30-[7] 花模様				

No.	版画本題名	出版年	サイズ(cm)	作家名／著者名	技法・材質
31	グロメール礼賛 1958 32.9×25.7 マルセル・グロメール 画／ギ・ドルナン 著 リトグラフ／紙				
	31-[1] プルターニュのカルペリオの丘(1955)		31-[2] サンプル川の風景		31-[3] ハーレム: 街頭(1951)
	31-[4] パリの橋(1951)		31-[5] 堂々とした漁船(1955)		31-[6] 画家のアトリエ(1955)
	31-[7] 柳と太陽				
32	カヴァイエス礼賛 1958 32.7×25.9 ジャン＝ジュール＝ルイ・カヴァイエス 画／ジャン・カサー 著 リトグラフ／紙				
	32-[1] 花を生けた花瓶		32-[2] パリ		32-[3] 開かれた窓
	32-[4] カンヌ		32-[5] 静物		32-[6] プロヴァンス風景
	32-[7] アレゴリー				
33	ドララン礼賛 1958 32.9×26.0 アンドレ・ドララン 画／マルク・サンドズ 著 リトグラフ／紙				
	33-[1] 立つ裸婦		33-[2] エウロペ		33-[3] 習作
	33-[4] ファン・ゴッホへのオマージュ		33-[5] 踊り子		33-[6] 横たわる裸婦
	33-[7] プロヴァンス風景		33-[8] 女性の祝典		
34	ジャコブ・バルグレの肖像 1959 32.9×26.4 ジャコブ・バルグレ 画／クロード・ロジェ＝マルクス 著 ドライポイント、エッチング／紙				
	34-[1] エルサレムへの道		34-[2] 音楽家たち		34-[3] 泉にて
	34-[4] 祈るカバラ学者		34-[5] 聖書の朗読		34-[6] 本を読む家族
	34-S[7] 無題		34-S[8] 無題		34-S[9] 無題
	34-S[10] 無題		34-S[11] 無題		34-S[12] 無題
	34-S[13] 無題		34-S[14] 無題		34-S[15] 無題
	34-S[7]～[15]はスイート(本文以外の別刷り版画)				
35	モーリス・アスラン礼賛 1959 32.7×26.0 モーリス・アスラン 画／マルク・サンドズ 著 リトグラフ、ドライポイント／紙				
	35-[1] 裸婦(リトグラフ)		35-[2] アヴァン川の小舟(リトグラフ)		35-[3] 横たわる裸婦(ドライポイント)※
	35-[4] 髪結い(ドライポイント)		35-[5] 読書(ドライポイント)		35-[6] フィレンツェ(リトグラフ)
	35-[7] パリ(ドライポイント)		35-[8] サン＝トロベ(リトグラフ)		35-[9] 花(ドライポイント)
	35-[10] 母子像(ドライポイント)		35-[11] 耕作(ドライポイント)※		35-[12] 画家の肖像(ドライポイント)
	35-[13] アネモネ(ドライポイント)				
36	モニク・ヨールガンセンの肖像 1959 32.9×26.0 モニク・ヨールガンセン 画／モニク・ヨールガンセン 著／序文: マニュエル・ブルケール 著 リトグラフ／紙				
	36-[1] ローマのサン・バルトロメオ・アッリゾーラ		36-[2] キュヴィエの家		36-[3] 白い家 オウトフォイエユ通り
	36-[4] 緑の中庭 テュレーヌ通り		36-[5] 円い中庭 アムロ通り		36-[6] シテ島
	36-[7] パサージュ ドォウフィーヌ		36-[8] ヴィラルソウの公園		36-[9] ローマのトラジャンの広場
37	ジェルメーヌ・ド・コステールの肖像 1960 32.9×25.2 ジェルメーヌ・ド・コステール 画／レイモン・コニア 著／序文: ジェラルド・ボエール 著 リトグラフ、エッチング／紙				
	37-[1] 小さなミミズク		37-[2] 椰子		37-[3] 雨
	37-[4] ムーランルージュ※		37-[5] レガッタ(ヨットレース)※		37-[6] 天と地
	37-[7] ユゼルシュ		37-[8] 貝		37-[9] 大群
	37-[10] ボール・レオタール		37-[11] 夜		
38	イリヤ・ベッコヴの肖像 1960 33.0×25.2 序文: ジョルジュ・ベッソン 著／本文: ボゴミル・レノヴ 著 リトグラフ／紙				
	38-[1] 悲嘆		38-[2] めざめ		38-[3] 留置人
	38-[4] 老女		38-[5] 湯浴みする女		38-[6] 農夫と女農夫
	38-[7] 銃殺刑		38-[8] 遊覧※		38-[9] 出会い
	38-[10] 芸術家の肖像※		38-S[11] 演説家		38-S[12] 煙泥棒
	38-S[13] 「順を追って」		38-S[14] 尋問		
	38-S[11]～[14]はスイート(本文以外の別刷り版画)				
39	アンドレ・ロート礼賛 1960 32.8×25.8 アンドレ・ロート 画／ギ・ドルナン 著 リトグラフ、エッチング／紙				
	39-[1] バロックの裸体		39-[2] ロットの風景		39-[3] 庭にて
	39-[4] 壁のある静物		39-[6] 公園		39-[7] 「このブルドーで…」
40	ルイ・ネイヨ礼賛 1962 33.0×25.5 ルイ・ネイヨ 画／ジャン・ブーレ 著 リトグラフ／紙				
	40-[1] カトリーヌとソフィー		40-[2] ソルセの小道		40-[3] 森のはずれ
	40-[4] モンファン		40-[5] 葡萄のある静物		40-[6] シャテル・ド・ヌーヴルのアリエ川
	40-[7] アヴィニオン近郊		40-[8] クルジエール・ヌフ		

No.	版画本題名	出版年	サイズ(cm)	作家名/著者名	技法・材質
41	ジャン・リュルサ礼賛 1962 33.1×25.5 ジャン・リュルサ 画/ロベール・マレ 著 リトグラフ/紙				
	41-[1] ヘラクレス		41-[2] メシドール(収穫月)の太陽		41-[3] シヤムの鶏
	41-[4] 剣闘士		41-[5] 双子座		41-[6] 光
	41-[7] 射手座				
42	マルケの現代性 1962 33.0×25.4 アルベール・マルケ 画/マルク・サンドズ 著 木版、ドライポイント、コロタイプ/紙				
	42-[1] マルケの肖像(木版)		42-[2] 午睡(ドライポイント)		42-[3] ペジャイア(1925)
	42-[4] サン＝ジャン＝ド＝リュズ(1927)		42-[5] ル・アーヴル(1935)		42-[6] アルジェ(1944)
	42-[7] ラ・セーヌ・ア・ラ・フレット(1945)				
43	ロベール・アンプロ礼賛 1962 32.9×25.6 ロベール・アンプロ 画/クロード・ロジェ＝マルクス 著 リトグラフ/紙				
	43-[1] モデル		43-[2] 農家		43-[3] カマルグ
	43-[4] オリーブの木		43-[5] サン＝ピエールの港		43-[6] バラクーダ
	43-[7] マダム(アンティル諸島)		43-[8] ヴァカンス		
44	エミール・ベルナル礼賛 1962 33.0×25.5 エミール・ベルナル 画/ルイ・オートケール 著 木版、リトグラフ/紙				
	44-[1] 絞首刑になった人々		44-[2] 憂鬱		44-[3] 生涯図
	44-[4] ブルターニュの農婦		44-[5] 母性		44-[6] 洗濯女たち
	44-[7] 収穫		44-[8] 闘士たち		44-[9] アラブの音楽家たち
	44-[10] 果物		44-[11] 航海		
45	ジョルジュ・ウッド礼賛 1962 33.4×25.8 ジョルジュ・ウッド 画/ギ・ドルナン 著 リトグラフ/紙				
	45-[1] ヴィーナス		45-[2] 倦怠		45-[3] くつろぎ
	45-[4] 夢		45-[5] 追憶		45-[6] 休息
46	長谷川潔の肖像 1963 33.0×25.2 長谷川潔 画/ロベール・レイ 著/序文: トリスタン・ケリングソール 著 エングレーヴィング、ドライポイント、メゾチント/紙				
	46-[1] 花		46-[2] アクアリウムの中の鳥		46-[3] 古い村
	46-[4] 若木		46-[5] 薔薇		46-[6] 蝶のいる静物
	46-[7] グラスの中の野花※		46-[8] 硝子球のある静物		46-[9] 絵の老木※
	46-[10] 窓から				
47	ミシェル・ロッド礼賛 1963 32.9×25.4 ミシェル・ロッド 画/ジェラルド・ムルグ 著 リトグラフ/紙				
	47-[1] 休憩		47-[2] 道		47-[3] 黒い帆のボート
	47-[4] 横たわる裸婦		47-[5] 岸辺		47-[6] 公園
48	デュノワイエ・ド・スゴンザック礼賛 1965 33.0×25.7 アンドレ＝アルベール＝デュノワイエ・ド・スゴンザック 画/モーリス・ロンクル 著 エッチング/紙				
	48-[1] アルゴスの河		48-[2] ムーアの山脈		48-[3] サン＝トロペの湾
	48-[4] 古い水車小屋		48-[5] 安楽椅子の裸婦		48-[6] 肘掛け椅子の裸婦
	48-[7] クレシーの教会		48-[8] 小さなグラス		48-[9] ジャヴァ
	48-[14] ケレス		48-S[10] ラマチュエルの道 1961		48-S[11] パンペロンヌ湾 1955
	48-S[12] サン＝トロペのテレーズ・ドルニー 1928		48-S[13] トリエルの教会 1950		
	48-8[10]～[13]はスイート(本文以外の別刷り版画)				
49	エレヌ・マールの肖像 1963 33.0×25.3 エレヌ・マール 画/ジャン＝リュック・ミショー 著 リトグラフ/紙				
	49-[1] 花々(カラーリトグラフ)		49-[2] エルネスト卿のバー(トゥーロン)		
	49-[3] ゴンドラ漕ぎ		49-[4] テラス(アルジェのカスバ)※		
	49-[5] マジョリカ島の風車小屋		49-[6] ノートルダムとシテ		
	49-[7] 謝肉祭(カラーリトグラフ)		49-[8] ドエラン※		
	49-[9] マリー・ノエルの肖像		49-[10] ヴェネツィア(サルート)		
	49-[11] プーローニュの森		49-[12] ボン・ヌフ		

包むー日本の伝統パッケージ

会期：2021年7月13日(火)～9月5日(日) 48日間
 会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール
 主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
 企画協力：吉田知哉(株式会社コンセント)、佐賀一郎(多摩美術大学)
 入場者数：7,710人
 担当学芸員：佐川夕子



日本のデザインの黎明期に、わが国の伝統的なパッケージの収集と研究を続け、「包む」という言葉とともに大きな足跡を残した岡秀行のコレクション。世界巡回展の後、日本初となる1988年の当館で展示の後に収蔵された本コレクションは、2011年の展覧会を経て、今回3度目の展示となった。今回は、特に岡の功績に着目した内容とした。

展示構成は、岡のコンセプトを反映し、まずは「素材別」に分け、さらに日本人と素材との関わり方や自然観、美意識が表れているものをピックアップし、「伝統の美」と「生活の美」として取り上げた。加えて、デザイナーとしての岡秀行と彼が生涯をかけて探求した「日本の伝統パッケージ」を、日本のデザイン史から読み解く視点を新たに加えた。充実した内容の「岡秀行年譜」を会場内に展示し、さらにモニターで押切隆世の1979年制作の「伝統パッケージ」の映像作品を上映した。約35分の長尺であったが鑑賞する人が絶えず、会期の最終週は急きょ上映会場を増設した。

結果として幅広い年代層の来館があったが、特に20代、30代が目立った。本展図録として販売した書籍は完売し、大変好評であった。SDGs が叫ばれ、プラスチックゴミが社会問題化している現在、人々の関心の高さが伺えた。

●カタログ

サイズ：26.2×18.7cm、223ページ

デザイン：大西隆介(Direction Q)

内容：包装の原点 岡秀行/ Packaging's Point of Origin Hideyuki OKA/ 木/ 竹/ 笹/ 土/ 紙/ 雑/ 岡秀行のデザイン 佐賀一郎/ 「包む」コレクションについて 佐川夕子/ 図版解説/ List of Plates/ 目黒区美術館所蔵 岡秀行旧蔵「包む」コレクション目録

●広報印刷物

ポスター B2/チラシ A4/ハガキ

●関連催事

1. 開催記念トークイベント「デザイン史から学ぶ、岡秀行と日本の伝統パッケージ」
 講師：佐賀一郎(多摩美術大学准教授/デザイン史家)、吉田知哉(株式会社コンセント/編集者)/開催日：7月25日(日)/
 参加者：17人
2. 大人のための美術カフェ
 ※新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした

●主要関連記事

1. ウェブ版『美術手帖』2021年7月13日
2. ケーブルテレビ『地モトNEWS』インフォメーション 2021年7月13日
3. FMラジオJ-wave『グッドネイバーズ 東京パスポート』2021年7月20日



カタログ



A4チラシ

出品リスト

凡例

・本展は1988年に岡秀行氏から譲り受けた「く包む」コレクション」を展示しているが、出品番号の後に※印のあるものは、2011年の展覧会開催時に入手したものである。

・出品のデータは、出品番号 | 名称 | 種別(内容物) | 都道府県 | 備考 | 本展図録掲載番号(Cat. No.)の順に記載した。

・パッケージの名称は、当館所蔵の「岡秀行旧蔵く包む」コレクション目録」の名称を使用している。実際の商品名等と異なる場合がある。

・出品番号先頭のアルファベットは、以下の素材を表している。

A = 木、B = 竹・笹、C = その他自然素材、D = 土、E = 藁、F = 紙、G = 布、H = その他

・備考には、パッケージ資料のラベルや外箱等から判別できる店舗名、製造元名等を記載した。

No. 名称 | 種別(内容物) | 都道府県 | 備考 | 本展図録掲載番号

【1階 エントランスホール】

F-32 千歳飴 | 菓子 | 6-22

【2階 第1室】

■展示台

A-01 利休斎 | 菓子 | 岐阜県 | 松月堂

A-28 釣瓶酢 | 食品 | 奈良県 | 釣瓶酢本家弥助 | 1-9

A-57 きやらぶき・芽山椒 | 食品 | 長野県 | 1-6

B-17※ ささらあめ | 菓子 | 宮城県 | 熊谷屋 | 2-8

D-115 岡山獅子 | 菓子 | 岡山 | 中尾正栄堂 | 5-1

■木(木の皮、幹、葉など自然素材をそのままいかしたものと菓子や食品の入れもの)

A-02 和三盆おちょぼ | 菓子 | 愛知県 | 名古屋 万年堂 | 1-17

A-03 祇園ちご餅 | 菓子 | 京都府 | 三條若狭屋 | 1-26

A-04 大徳寺饅頭 | 菓子 | 東京都 | 菊通舎 | 1-29

A-05 二人静 | 菓子 | 愛知県 | 両口屋是清

A-06 千両 | 菓子 | 愛知県 | 千両屋 | 1-18

A-07 真盛豆(利休井筒) | 菓子 | 京都府 | 金谷正廣 | 1-20

A-10 金千両 | その他(つまようじ) | 東京都 | さるや | 1-31

A-11 御霊丹 | 食品 | 福井県 | 天たつ | 1-15

A-11※ 御霊丹 | 食品 | 福井県 | 天たつ

A-13 福ハ内 | 菓子 | 京都府 | 鶴屋吉信

A-13※ 福ハ内 | 菓子 | 京都府 | 鶴屋吉信

A-16 丹波大納言羊羹 | 菓子 | 佐賀県 | 村岡総本舗

A-17 虎屋饅頭 | 菓子 | 東京都 | 虎屋

A-19 羊羹 | 菓子 | 東京都 | 虎屋 | 1-28

A-21※ 氷室 | 菓子 | 京都府 | 鶴屋吉信

A-22※ 京氷室 | 菓子 | 京都府 | 柏屋光貞 | 1-23

A-23 餛飩三盆 | 菓子 | 徳島県 | 小男鹿本舗富士屋 | 1-21

A-27 ますのすし | 食品 | 富山県

A-29 お千代宝 Ochobo | 菓子 | 京都府 | 亀末磨 | 1-19

A-32 久方味噌 | 食品 | 東京都 | 天野屋 | 1-16

A-33※ 雀桶詰 | 食品 | 大阪府 | 小鯛雀 すし萬 | 1-11

A-34 奈良漬 | 食品 | 奈良県 | 森奈良漬店

A-37 小鯛のさき漬こんぶ | 食品 | 福井県 | 田村長

A-44 熊野古道 | 酒(清酒) | 和歌山県 | 中勝酒造株式会社

A-46 鮎酢 | 食品 | 奈良県 | 釣瓶酢本家弥助 | 1-10

A-47※ 笹乃雪 | 食品 | 東京都 | 笹乃雪 | 1-14

A-48 稲庭饅頭 | 食品 | 秋田県 | 稲庭饅頭所稲庭吉左衛門 | 1-13

A-50 老木 | 菓子 | 岐阜県 | 澤田屋

A-51 御用林 | 菓子 | 長野県 | 澤田屋

A-53 深山漬 | 食品 | 岡山県 | 1-7

A-54 お水取行法味噌 | 食品 | 奈良県 | 龍美堂

No. 名称 | 種別(内容物) | 都道府県 | 備考 | 本展図録掲載番号

A-55 蕨水亭 弁当 | 食品 | 岐阜県 | 蕨水亭

A-65 甘納豆 | 菓子 | 東京都 | 銀座 鈴屋 | 1-27

■竹(竹筒、竹皮、竹かごを使ったもの)

B-01 ちくりん | 酒(焼酎) | 福岡県 | 光酒造株式会社

B-02 博多子女郎 | 酒(焼酎) | 福岡県 | 光酒造株式会社

B-03 今年竹 | 菓子 | 京都府 | 亀屋良永 | 2-6

B-04 彩の香 | 菓子 | 京都府 | 2-4

B-06 海産貝しぐれ煮 | 食品 | 新潟県 | 富留川

B-07 苔清水 | 菓子

B-09 西京漬目鯛 | 食品 | 東京都 | 蕨の家

B-10 星まつり | 菓子 | 神奈川県

B-11 竹の翁 | 菓子 | 京都府 | 駿河屋

B-13 やげん堀 | 食品(薬味) | 東京都 | やげん堀 | 2-5

B-14 竹に小豆 | 菓子 | 京都府 | 仙太郎

B-16※ 柿羊羹 | 菓子 | 岐阜県 | 樋谷 | 2-9

B-18 笹の露 | 菓子 | 京都府 | 鍵善良房 | 2-11

B-19 山づと | 菓子 | 静岡県

B-20 羊羹 鶴の玉子 | 菓子 | 岐阜県 | 鶴飼堂総本舗 | 2-14

B-21 やつとかあめ | 菓子 | 愛知県 | 升半茶店

B-22 十三里 | 菓子 | 京都府 | 鍵善良房 | 2-16

B-23 あづみ野みそ | 食品 | 長野県 | やまと屋 | 2-15

B-24 干魚 | 食品 | 瀬戸内地方 | 2-26

B-25 炭火燻新茶 | 食品 | 京都府

B-26 山牛蒡味噌漬 | 食品 | 山梨地方 | 2-10

B-27-a 香りがご | その他(香) | 京都府 | 松榮堂

B-27-b 香りがご | その他(香) | 京都府 | 松榮堂

B-28 仙台味噌 | 食品 | 宮城県 | 佐々重

B-29 山さと | 菓子 | 滋賀県

B-30 せた志じ味 | 菓子 | 滋賀県 | たねや

B-31 真盛豆 | 菓子 | 京都府 | 竹濱義春老舗 | 2-22

B-32 真盛豆 | 菓子 | 京都府 | 金谷正廣 | 2-20

B-32※ 真盛豆 | 菓子 | 京都府 | 金谷正廣

B-33 たちばなのあゆ | 菓子 | 東京都 | たちばな

B-34 山里柿 | 菓子 | 愛媛県 | 2-23

B-35 阿闍梨餅 | 菓子 | 京都府 | 満月

B-36 水羊羹 花しぼり | 菓子 | 東京都 | 光輪堂

B-38 だんご Dango | 菓子 | 愛知県 | 大正軒 | 2-21

B-39 やきもち | 菓子 | 京都府 | 神馬堂 | 2-18

B-40 豆腐羹 | 菓子 | 京都府 | 松本豆腐羹 | 2-19

B-41 漬焼桜鯛 | 食品 | 岡山県 | 株式会社鯛惣 | 2-24

B-44 栗蒸羊羹 | 菓子 | 東京都 | 虎屋

B-45 しそもろみ、きのこもろみ | 食品 | 福島県 | 合図天宝醸造株式会社

No. 名称 | 種別(内容物) | 都道府県 | 備考 | 本展図録掲載番号

- B-55 西京漬目鯛 | 食品 | 東京都 | 蔦の家
B-62 べこっこ | 食品 | 宮城県 | かとう
B-64 御所の華 | 食品 | 松前屋
B-65 比呂女 | 京都府 | 松前屋
B-68 丸袖餅子 | 菓子 | 大阪府 | 桃林堂
B-71 竹の酒徳利 | その他
B-73 薬味入れ | 食品(薬味)

■展示台

- B-08 梅が香 | その他(香) | 東京都 | 鳩居堂 | 2-3
B-15 黒方 | 東京都 | 鳩居堂
D-066 黒方 | 東京都 | 鳩居堂
参考出品 黒方 | 東京都 | 鳩居堂

■笹(その他自然素材 笹、“よしず”や“貝殻”などの自然素材のパッケージ)

- B-56 ささあめ | 菓子 | 新潟県 | 3-5
B-60 おけさもなか | 菓子 | 新潟県 | 大杉屋惣兵衛 | 3-10
B-61※ 祇園祭 厄除ちまき | その他(縁起物) | 京都府
B-77 家喜芋 | 菓子 | 京都府 | 二條屋狭屋 | 2-13
C-05 瓢丹の薬味入れ | 食品(薬味)
C-06 冬ごもり | 菓子 | 愛知県 | 東泉堂
C-07 蕎かむり | 菓子 | 愛知県 | 本陣
C-08 白虎、紫雲、青龍 | 菓子 | 大阪府 | 菊屋 | 7-8
C-09 のぼりあゆ | 菓子 | 東京都 | 龍昇亭 西むら | 7-1
C-10 お水取行法喝 | 食品 | 奈良県 | 龍美堂
C-12 どなん | 酒(泡盛) | 沖縄県 | 国泉泡盛合名会社
C-13 パンパイア漬 | 菓子 | 沖縄県 | 7-5
C-17 福男 | 菓子 | 岡山県 | 清月 | 7-6
C-18 養生糖 | 菓子 | 新潟県 | 長尾本店
C-22 かご | 菓子
C-23 ちまき | その他
D-082 ひととはな | 菓子 | 佐賀県 | 村岡総本舗
G-01 はたおりむすめ | 菓子 | 福岡県 | 久留米おこし本舗
G-03 ねじり香合 | その他(香)
G-04 龍が油 おもい出 | その他(香) | 京都府 | 松榮堂
G-10 扇入れ | その他
H-02 よしなのもろみ粕漬 | 食品 | 富山県
H-03 みようがのもろみ加漬 | 食品 | 富山県
H-04 あだん | 酒(泡盛) | 沖縄県
H-05 セミナリオ | 菓子 | 滋賀県 | たねや

■お弁当、駅弁の入れものなど各素材から

- A-24 弁当箱 | その他 | 秋田県
A-25 おもてなし弁当 | その他 | 秋田県
B-53 弁当箱 | その他
B-54 駿河竹千筋細工 | その他 | 静岡県
D-085 うなぎ山椒煮 | 食品
D-086 静(善光寺べんとう) | 食品 | 長野県
D-087 花笠こけし | 食品 | 山形県
D-088 釜めし | 食品 | 群馬県
D-089 弁当入れ | その他

No. 名称 | 種別(内容物) | 都道府県 | 備考 | 本展図録掲載番号

- 特別出品 やきはま弁当 | 食品 | 千葉県 | 万葉軒 | 個人蔵
特別出品 だるま弁当 | 食品 | 群馬県 | 個人蔵

■土(お酒の瓶、食料品の容器など)

- D-003 山車 | 酒(清酒) | 岐阜県 | 原田隆
D-006 猿壺 | 酒 | 山形県 | 座間 | 5-3
D-007 古丹波 | 酒(焼酎) | 兵庫県 | 西山酒造場
D-009 琉球泡盛 | 酒(泡盛) | 沖縄県 | 沖縄酒造協同組合
D-011 山吹味噌 | 食品 | 長野県 | 信州味噌株式会社
D-012 仙台味噌 | 食品 | 宮城県 | 株式会社佐々重
D-013 十六味地黄保命酒 | 酒(薬味酒) | 広島県 | 彌酒造株式会社
D-018 澤之鶴 | 酒(清酒) | 兵庫県 | 沢の鶴株式会社
D-020 十六味地黄保命酒 | 酒(薬味酒) | 広島県 | 5-11
D-020-b 十六味地黄保命酒 | 酒(薬味酒) | 広島県
D-021 梅酢 | 食品(酢) | 神奈川県 | ちん里う本店
D-022 日本海 | 酒 | 新潟県
D-024 雲山 | 酒 | 長野県
D-025 喜界島 | 酒(焼酎) | 鹿児島県 | 喜界島酒造株式会社
D-027 丸大豆醤油 | 食品(醤油)
D-029 御むぎみそ | 食品 | 埼玉県
D-030 御玄米みそ | 食品 | 埼玉県
D-031 山車 | 酒(清酒) | 岐阜県 | 原田隆
D-032 越の蔵 漁師徳利 | 酒(清酒) | 福井県 | 株式会社越の蔵
D-033 博多小女郎 古代壺 | 酒(焼酎) | 福岡県 | 光酒造株式会社
D-034 東光 | 酒(清酒) | 山形県 | 株式会社小嶋純本店
D-036 おでさん | 酒(焼酎) | 熊本県 | 河津酒造合名会社
D-037 弥右衛門酒 | 酒(原酒) | 福島県 | 合資会社大和川酒造店
D-038 深山菊 | 酒(原酒) | 岐阜県 | 有限会社松坂酒造店
D-040 八重桜の舟とくり | 酒(焼酎) | 宮崎県 | 古沢醸造合名会社
D-041 やままん醤油 | 食品(醤油) | 静岡県
D-042 十六味地黄保命酒 | 酒(薬味酒) | 広島県 | 彌酒造株式会社
D-043 舞 | 酒(焼酎) | 岩手県 | 喜久盛酒造株式会社
D-044 天蓋 | 酒(焼酎) | 福岡県 | 株式会社天蓋
D-045 野田の醤油 | 食品(醤油) | 千葉県 | 亀甲萬野田工場
D-047 福正宗 かなざわ | 酒(清酒) | 石川県
D-049 かまくら | 酒(清酒) | 秋田県 | 阿部酒造株式会社
D-051 山の光 | 酒(清酒) | 岐阜県 | 株式会社平田酒造
D-056-b 桑酒 | 酒 | 京都府 | 八木酒造有限会社
D-058 黄桜 | 酒(清酒)
D-059 松盛 慶 | 酒(清酒) | 茨城県 | 岡部合名会社
D-061 かつおみそ | 食品 | 愛媛県 | 篠原家、ヤマキ株式会社 YC
D-062 みがきみそ | 食品 | 北海道 | 木綿屋男山本家
D-063 鮎のうるか | 食品 | 大分県 | 株式会社魚福
D-064 鮎のうるか(子うるか) | 食品 | 大分県 | 株式会社魚福
D-067 樽 | 食品 | 東京都 | 三河屋綾部花店
D-068 柚子味噌 | 食品 | 東京都 | 笹乃雪 | 5-16
D-069 鯛のわた塩辛 | 食品 | 岡山県 | 株式会社鯛惣 | 5-13
D-070 鮎のうるか | 食品 | 岐阜県 | 5-7
D-094 鬼ヶ島 | 酒(焼酎) | 長崎県 | 香岐焼酎協業組合
D-098 からす天狗 | 酒(清酒) | 福島県
D-101 都錦 | 酒(清酒) | 島根県 | 都錦酒造株式会社

No. 名称 | 種別(内容物) | 都道府県 | 備考 | 本展図録掲載番号

- D-102 まねき猫 | 酒(清酒) | 群馬県 | 群馬酒造
D-103 李白 | 酒(清酒) | 島根県 | 田中酒造株式会社
D-107 石仏 | 酒(焼酎) | 大分県 | 合名会社久家本店
D-108 はにわのいも焼酎 | 酒(焼酎) | 宮城県 | 外山酒造株式会社
D-109 雪ノ子 | 白馬蹄 | 酒(清酒) | 長野県 | 株式会社薄井商店
D-110 ゆき | 酒(清酒) | 新潟県 | 白龍酒造株式会社
D-111 鳳山 | 酒(清酒) | 宮城県 | 鳳山酒造株式会社
D-116 開運夫婦獅子頭 | 酒(清酒) | 愛知県 | 割田屋株式会社
D-118 多良川 | 酒(焼酎) | 沖縄県
D-123 和仁 | 酒(焼酎) | 熊本県 | 合名会社神田酒造
D-125 みえ名酒会 原酒 | 酒 | 三重県
D-127 むつごろう | 酒(焼酎) | 福岡県 | 富安本家酒造株式会社
D-128 すっぱん酒 | 酒(清酒) | 大分県 | 縣屋酒造株式会社(製造元)、大分銘醸株式会社(発売元)
D-129 くま川下り | 酒(焼酎) | 熊本県 | 合資会社松本酒造場
D-133 種子島 | 酒(焼酎) | 鹿児島県 | 久岡産業株式会社
D-134 雲丹 | 食品 | 山口県 | 岡本商店
D-136 たこつば | 食品 | 広島県 | 福原製陶株式会社
D-137 志そ香煎、梅香煎 | 食品 | 大阪府 | 桃林堂
D-138 柚子味噌 | 食品 | 京都府 | 八百三 | 5-15

■展示台

- D-075 七いろの味(金雲) | 食品 | 京都府 | 七味屋本舗
D-076 七いろの味(木ノ葉) | 食品 | 京都府 | 七味屋本舗
D-077 七いろの味(新イロボ) | 食品 | 京都府 | 七味屋本舗
D-078 七いろの味(たじ) | 食品 | 京都府 | 七味屋本舗

■展示台

- D-073 大徳寺納豆 | 食品 | 京都府 | 大徳寺 一久 | 5-8
D-074 薬師糖 | 菓子 | 京都府 | 依屋吉富
D-090 土岐川羊羹 | 菓子 | 岐阜県 | 美園軒 | 5-14
D-092 紫香栗 | 菓子 | 滋賀県

■展示台

- D-071 晩菊 | 食品 | 山形県
D-072 茶漬鱈 | 食品 | 大阪府 | 5-10
D-079 きざみ奈良漬 | 食品 | 奈良県 | 森奈良酒店 | 5-6
D-080 あまざけ | 飲料 | 東京都 | 天野屋 | 5-4
D-081 あま酒 | 飲料 | 東京都 | 三河屋綾部靴店 | 5-5

■薬(薬菓を包装に用いたもの)

- E-10 十津川ゆべし | 食品 | 奈良県
E-17 西の関 | 酒(清酒) | 大分県 | 萱島酒造有限会社
E-18 十六味地黄保命酒 | 酒(薬味酒) | 広島県 | 瀬酒造株式会社 | 4-18
E-19 甘露醤油 | 食品 | 山口県 | 柳井醤油有限会社
E-20 自然郷 | 酒(清酒) | 福島県
E-21 一人娘 いなほ | 酒 | 茨城県
E-22 十六味地黄保命酒 | 酒(薬味酒) | 広島県 | 瀬酒造株式会社 | 4-19
E-23 甘露醤油 | 食品 | 山口県 | 株式会社佐川醤油店
E-24 澤之鶴 | 酒(清酒) | 兵庫県 | 沢の鶴株式会社
E-25 惣登 | 酒(清酒) | 栃木県 | 惣登酒造株式会社

No. 名称 | 種別(内容物) | 都道府県 | 備考 | 本展図録掲載番号

- E-27 澤之鶴 | 酒(清酒) | 兵庫県 | 沢の鶴株式会社 | 4-20
E-32 老緑 | 酒(清酒) | 三重県 | 辻井酒造株式会社
E-33 月桂冠 | 酒(清酒) | 京都府 | 大倉酒造株式会社
E-42 千歳くるみ | 菓子 | 石川県 | 彩霞堂 | 4-13
E-43 山牛蒡味噌漬 | 食品 | 長野地方 | 4-16
E-44 巻柿 | 食品
参考出品 蔭こも(惣登) | 栃木県 | 惣登酒造株式会社

【2階 第2室】

■紙(お菓子の箱、袋、包みものなど)

- F-01 おひねり | その他(投げ銭) | 6-15
F-04※ 一保堂包装紙 | 食品 | 京都府 | 一保堂茶舗 | 6-15
F-06 白外良 | 菓子 | 京都府 | 敷河屋 | 6-10
F-07 古都 | 菓子 | 京都府 | 亀末蔵 | 6-7
F-09 どら焼 | 菓子 | 京都府 | 世尾伊織 | 6-18
F-10 くぢら餅 | 菓子 | 山形県
F-11 文楽人形かしら集 | 菓子 | 大阪府 | 6-12
F-12 四君子 | 菓子 | 京都府 | 甘泉堂 | 6-14
F-13 夕月 | 菓子 | 京都府 | 亀屋良永 | 6-13
F-14※ 不老泉 | 菓子 | 京都府 | 二條若狭屋
F-15 鬼づら | 菓子 | 香川県 | 鬼づら本舗 | 6-9
F-16 太鼓 | 菓子 | 香川県 | 鬼づら本舗 | 6-8
F-17 玉姫 | 菓子 | 滋賀県 | たねや
F-18 ふみづかい | 菓子 | 東京都
F-20 福神漬 | 食品 | 東京都 | 京博正舗
F-26 いろり豆 | 菓子 | 新潟県 | たかの | 6-21
F-27 文楽人形焼 | 菓子 | 東京都 | 上野 亀井堂 | 6-11
F-28 きざみ奈良漬 | 食品 | 奈良県 | 森奈良酒店 | 6-20
F-29 うみやまのつと | 食品 | 東京都
F-30 ひじき | 食品 | 神奈川県 | 高瀬商店
F-33 香調合用詰合 | その他 | 京都府
F-34 二人静 | 菓子 | 愛知県 | 両口屋是清 | 6-2
F-36 御干菓子(亀甲箱) | 菓子 | 京都府 | 塩芳軒
F-37 五色豆 | 菓子 | 京都府 | 豆取 | 6-4
F-38 江戸菓子 駒下駄 | 菓子 | 東京都 | 評判堂
F-39 江戸菓子 羽子板 | 菓子 | 東京都 | 評判堂
F-42 仙台東菓子 | 菓子 | 宮城県 | 熊谷屋
F-43 せんだいだがし | 菓子 | 宮城県 | 日立家
F-44 會津駄菓子 | 菓子 | 福島県 | 長門屋
F-50 紫野 | 菓子 | 京都府 | 本家玉寿軒
F-81 かやぼうろ | 菓子 | 大阪府 | 桃林堂
F-82 落々 | 菓子 | 大阪府 | 桃林堂 | 6-6
F-84 箱 | その他

【2階 第3室】

■《Pick up》伝統の美

「結納目録」を中心に、“ハレ”の行事等のなかに見られる造形美

- A-08 文明堂かすてら | 菓子 | 東京都 | 文明堂 | 1-25
A-26 千木宮 | その他(縁起物) | 東京都 | 芝大神社 | 1-35
A-64 流しびな | その他(縁起物) | 鳥取県 | 柳屋本店
A-69 野菜独楽 | その他(玩具) | 宮城県

No. 名称 | 種別(内容物) | 都道府県 | 備考 | 本展図録掲載番号

C-04 貝あわせ | 菓子 | 東京都 | 1-32
 C-15 大ぬさ | その他(香) | 東京都 | 鳩居堂
 D-132 肥後路 | 酒(焼酎) | 熊本県 | 合資会社宮元酒造場
 F-24 たんきりあめ | 菓子 | 愛知県 | 安久美神戸神社 | 6-23
 F-67 雄井饅 | 菓子 | 東京都 | 虎屋
 F-78 犬張子(子どもお祝い用) | その他
 F-22 結納目録 一式 | その他 | 石川県 | 作者:津田 梅(加賀水引 二代目)
 F-22(2) 合わせ水 | その他 | 石川県 | 作者:津田 梅(加賀水引 二代目)
 特別出品 祝儀袋 | その他 | 石川県 | 津田水引折型
 F-45 宮まいり | その他
 F-46 初参展 | その他
 F-47 薩摩糸びな | その他 | 鹿児島県
 F-80 ポチ袋 各種 | その他

【2階 第4室】

■《Pick up》生活の美

「卵つと」を中心に、生活の知恵から自然と生みだされてきた造形美

E-01 卵つと | 食品 | 山形県 | 製作者:石川清治 | 4-1
 E-02-a 寒餅つと | 食品 | 4-6

No. 名称 | 種別(内容物) | 都道府県 | 備考 | 本展図録掲載番号

E-02-b 寒餅つと | 食品
 E-03 魚つと | 食品
 E-04 高野豆腐つと | 食品
 E-05 ハツ目うなぎ塩干 | 食品 | 新潟県
 E-08 納豆つと | 食品 | 東京都
 E-09 献上野菜つと | 食品 | 京都府 | 4-3
 E-11 魚鯛の漬焼 | 食品 | 香川県
 E-12 巻鮓 | 食品 | 石川県 | 4-11
 E-13 巻柿 | 菓子 | 大分県
 E-14 つるし魚 | 食品 | 4-7
 E-34 米飯 | 食品 | 4-17
 E-35 炭飯 | その他
 E-36 炭飯 | その他
 E-37 流し糰(さんだわら) | その他 | 鳥取県 | 4-12
 E-38 猫ちぐら | その他 | 新潟県
 E-39 いづめこ | その他 | 山形県
 E-40 メシツグラ | その他 | 新潟県
 E-41 塩つぼ | その他 | 新潟県
 E-46 つるしみそ | 食品

岡 秀行コーナー

●岡秀行 年譜

年譜作成・編集:佐賀一郎(多摩美術大学)、吉田智哉(株式会社コンセント) / デザイン:沖依里香

●写真

『包 TSUTSUMU: THE ORIGIN OF JAPANESE PACKAGE』(毎日新聞社、1972年)より / 撮影:酒井道一

●映像

『包 日本の伝統包装』[Japanesque: シリーズ 日本が見える] / 1993年 / 35分 / 企画:株式会社電通、押切隆世、岡秀行 / 監督:押切隆世 / 制作:株式会社電通

●そのほか資料

- ・「5つの卵はいかにして包まれたか—日本の伝統パッケージ展」ポスター、グラフィックデザイン:矢萩喜徳郎、目黒区美術館、2011年
- ・「包む—日本の伝統パッケージ展」ポスター、グラフィックデザイン:大西隆介(direction Q)、目黒区美術館、2011年
- ・ポスター「自然で包む知恵」、株式会社東芝、1996年頃 / 個人蔵

●岡秀行の著書、関連書籍等

- ・岡秀行『日本の伝統パッケージ』美術出版社、1965年 / 個人蔵
- ・Hideyuki Oka, *How to wrap five eggs: traditional Japanese packaging*, Bijutsu Shuppan-sha, Weatherhill, Inc., Tokyo, 1967.
- ・岡秀行『包 TSUTSUMU: THE ORIGIN OF JAPANESE PACKAGE』毎日新聞社、1972年
- ・岡秀行『こころの造形—日本の伝統パッケージ』美術出版社、1974年 / 個人蔵
- ・Hideyuki Oka, *How to wrap five more eggs: traditional Japanese packaging*, Weatherhill, Inc., New York and Tokyo, 1975.
- ・Hideyuki Oka, *Tsutsumu: an introduction to an exhibition of the art of the Japanese package*, Japan Society, Inc., The American Federation of Arts, New York, 1975 / 個人蔵
- ・Hideyuki Oka, *The Art of Japanese Package*, The Japan Foundation, Tokyo, 1979.
- ・Come impacchettare cinque uova: l'arte del "tsutsumu" in Giappone, Istituto giapponese di Cultura, Roma, 1982.
- ・岡秀行・藤田喬(企画構成)『包—日本の伝統パッケージ』淡交ムック、淡交社、1995年 / 個人蔵
- ・目黒区美術館(編)『5つの卵はいかにして包まれたか—日本の伝統パッケージ展』カタログ、目黒区美術館、1988年
- ・目黒区美術館(編)『包む—日本の伝統パッケージ』カタログ、BNN新社、2011年

目黒区美術館コレクション展 日々のよろこび2021

会期：2021年11月13日(土)～12月19日(日) 32日間

会場：展示室ABC、展示ロビー

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

入場者数：2,535人

担当学芸員：山田真規子、菅田あゆみ



11月30日より同時開催となった「障がいのあるアーティストによる作品展」のタイトルである「日々のよろこび」をテーマとして、当館のコレクションよりほのかな心地よさや温もり、幸せなどを感じさせるような作品を取り上げて展示した。1 カラフル、2 心地よさ：柔らかな形、軽やかな線、3 光の中で、4 笑いとユーモア、そして遊び、5 カワイイ、6 僕らはみんな生きている、の6章構成とした。

障がいのある方は2階で開催されている本展を無料で観覧できることに加え、1階で開催されている「障がいのあるアーティストによる作品展」は誰でも無料で観覧できることから、作者の障がいの有無に関わらず、「日々のよろこび」の中で創り出された作品、観る人に「日々のよろこび」を感じさせる作品を、来館者に楽しんでいただく好機となった。

●広報印刷物

ポスター B2(「障がいのあるアーティストによる作品展」と合同)／チラシ A4

●関連催事

1. トイで遊ぶ休日の昼下がり

開催期間：会期中の土日及び祝日の13:00～16:00／参加者：226人

2. 大人のための美術カフェ

※新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした

●主要関連記事

「円と線だけ 何を語る《ターゲット》田中敦子」『美の履歴書723』

朝日新聞夕刊 (2021年11月30日)



A4チラシ

出品リスト

凡例

・出品作品は、章ごとに分けて記載した。

・作品データは、出品番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ(cm) | 取得情報 の順に記載した。ただし、版画集の作品については、刊行情報等共通の情報はまとめて記載し、各々の作品情報は個別に記載した。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	取得情報			
1 カラフル									
1	田中敦子	ターゲット	1962	合成樹脂エナメル塗料・キャンバス	146.0×108.0	1988年度 購入			
2	雙嘯	虹のエンバイラメント	1962	油彩・キャンバス	177.0×522.0	1990年度 購入			
3	土屋幸夫	無題	1980年代	ステーン、アクリル・木	86.0×194.5×4.5	2018年度 高橋隆二氏 寄贈			
4	土屋幸夫	断続	1980年代	ステーン、アクリル・木	270.0×67.0×3.0	2018年度 高橋隆二氏 寄贈			
8	桂ゆき	ふたつのオレンジ色のかたち	1960	油彩、和紙・キャンバス	152.0×203.0	1989年度 購入			
9	伊沢宏子	(タイトル不詳)	1964	水彩、クレヨン・紙	52.0×65.0	1991年度 不動茂弥氏 寄贈			
10	伊沢宏子	(タイトル不詳)	1964	水彩・紙	66.5×48.0	1991年度 不動茂弥氏 寄贈			
11	高野三三男	白い裸婦	1950-60	油彩・キャンバス	65.0×80.0	1995年度 高野耀子氏 寄贈			
12	田淵安一	花の中にまた花が	1975	油彩・キャンバス	97.3×130.3	2004年度 田淵安一氏 寄贈			
13-15	草間彌生	自己消滅(9点組のうち)	1983	シルクスクリーン・紙		1984年度 購入			
13	ぶどう(赤)	60.0×49.0	14	ぶどう(青)	60.0×49.0	15	ぶどう(緑)	52.5×45.0	
2 心地よさ:柔らかな形、軽やかな線									
16	浅野弥術	無題	1966	油彩・キャンバス	72.7×90.9	1991年度 購入			
17	浅野弥術	無題	1967	油彩・キャンバス	72.7×90.5	1991年度 購入			
18-29	李禹煥	銅版画集『FROM LINE』	1981		各27.8×34.0	1983年度 購入			
30-34	青木野枝	版画集『寒天』	2000	エッチング、ドライポイント・紙		2000年度 購入			
30	22.5×17.5	31	17.5×22.5	32	22.5×26.0	33	22.5×17.5	34	26.0×22.5
35	駒井哲郎	魚又は毒	1962	エッチング・紙	25.9×35.9	1990年度 購入			
37	駒井哲郎	静物	1975	アクリアチント、ソフトグランドエッチング・紙	18.3×15.0	1991年度 購入			
38	駒井哲郎	恩地孝四郎頌	1974	アクリアチント(亜鉛版)・紙	20.7×10.0	1991年度 購入			
39	土屋幸夫	箱根 '71	1971	水彩・紙	29.9×31.6	2010年度 高橋裕美氏 寄贈			
40	土屋幸夫	晩夏	制作年不詳	水彩、クレヨン・紙	34.8×41.0	2010年度 高橋裕美氏 寄贈			
41	土屋幸夫	山	制作年不詳	水彩、クレヨン・紙	55.0×38.3	2010年度 高橋裕美氏 寄贈			
42	田淵安一	影の通り道	1959	油彩・キャンバス	160.3×90.4	1985年度 購入			
43	堂本尚郎	コンポジション	1959	油彩・キャンバス	114.3×162.2	1986年度 購入			
44	堀浩哉	風の声—14	1989	和紙、アクリル、墨、岩絵具・キャンバス	227.3×546.0(各227.0(中央のみ226.7)×182.0×3.8)	1990年度 購入			
45-54	加納光於	『塩の柱、あるいは舞台衣装のための CODEX』 block notes III	1978	カラーインタリオ・紙	各頁34.8×20.0 (見開き34.8×100.0)	1983年度 購入			
3 光の中で									
55	赤穴宏	静物・スイカ	1991	油彩・キャンバス	112.1×162.1	1991年度 赤穴宏氏 寄贈			
56	太田喜二郎	風景	1908-13	油彩・キャンバス	65.2×50.1	1995年度 購入			
57	斎藤豊作	羊飼いの	1906-12	油彩・キャンバス	45.6×38.0	1983年度 購入			
58	武内鶴之助	風景	1910-12年頃	パステル・紙	29.5×42.3	1984年度 武内豊彦氏 寄贈			
59	武内鶴之助	雲	1910-12年頃	パステル・紙	17.6×25.5	1984年度 購入			
60	武内鶴之助	風景	1910-12年頃	パステル・紙	12.6×17.8	1984年度 武内豊彦氏 寄贈			
61	武内鶴之助	風景	1910-12年頃	パステル・紙	18.4×25.4	1984年度 武内豊彦氏 寄贈			
62	武内鶴之助	夕景	制作年不詳	パステル・紙	18.4×25.4	1984年度 武内豊彦氏 寄贈			
63	武内鶴之助	風景	1910-12年頃	パステル・紙	18.2×24.3	1984年度 武内豊彦氏 寄贈			
64	長谷川潔	コップのダリア	1930	メソチント・紙	23.8×18.7	1986年度 購入			
4 笑いとユーモア、そして遊び									
65-72	浜田知明	銅版画集『見える人』		エッチング、アクリアチント、雁皮刷・紙		1982年度 購入			
65	孤独なやつ 1974 20.3×21.6	66	顔 1974 21.2×15.5	67	情報過多の人間 1975 22.3×14.5				
68	男 1975 25.8×14.9	69	顔 1975 22.6×17.8	70	顔 1975 22.6×16.8				
71	顔 1975 19.3×19.3	72	顔 1975 24.4×21.5						

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	取得情報
73	浜田知明	地方名士	1958	エッチング、アクアチント・紙	36.1×13.0	1993年度 購入
74	秋岡芳夫	蝶の集みつけたよ	1954	着彩・紙	55.7×70.0	2009年度 秋岡陽氏 寄贈
75	秋岡芳夫	(水族館)	1950	着彩・紙	35.5×47.3	2011年度 秋岡陽氏 寄贈
76-89		『東京バック』原画集				1981年度 購入
76	池田永治	与えよの合奏 1929 墨、水彩・紙 26.5×19.8				
77	岡本唐貴	先端にたつ女三態 1930 水彩・紙 26.0×19.6				
78	池田永治	スキーの焦点 1929 墨、水彩・紙 21.4×20.0				
79	池田永治	政治はスポーツだ 1932 墨、水彩・紙 23.9×22.3				
80	池田永治	我利我利でアタマが一杯につまっている御用議員 1920 墨・紙 24.1×21.1				
81	池田永治	五月晴 1931 墨、水彩・紙 22.6×20.3				
82	下川四天	銀座はうつる 1929 墨、水彩・紙 21.2×19.7				
83	安本亮一	どっちが幸福? 1928 墨、水彩・紙 21.2×19.6				
84	池部鈞	恋に階級なく、男女に国境なし 1928 墨、水彩・紙 21.7×19.1				
85	池田永治	緊縮時代 1929 墨 ポスターカラー・紙 29.3×21.2				
86	岡本唐貴	都会 1930 水彩・紙 27.9×21.2				
87	池田永治	街恋し、灯恋し 1931 墨、水彩・紙 25.1×19.6				
88	小野佐世男	銀座のはずれ 1929 墨、水彩・紙 26.8×20.8				
89	池田永治	遊びばかりが国際的 1929 墨・紙 24.8×18.8				
90	吉村弘	絵本『森の中でみつけた音』制作年不詳 下絵	4.8×19.6	印刷・紙		2018年度 吉村洋子氏 寄贈
91	吉村弘	缶楽器	制作年不詳	缶	Φ10.2、H14.2	2018年度 吉村洋子氏 寄贈
92	吉村弘	缶楽器	制作年不詳	缶、ビー玉	Φ6.8、H12.8	2018年度 吉村洋子氏 寄贈
93	吉村弘	缶楽器	制作年不詳	缶、ビー玉	Φ6.8、H15.5	2018年度 吉村洋子氏 寄贈
94-97	吉村弘	絵楽譜	制作年不詳	印刷・紙	各21.0×29.7	2018年度 吉村洋子氏 寄贈
98	吉村弘	資料				2018年度 吉村洋子氏 寄贈
参考展示 目黒区美術館トイコレクション 制作:ネフ社 ネフスピール、リグノ、エレメント、オルディノ、カレー、セラ、パウハウス、パウハウスピール、キュービックス、アングーラ						

5 カワイイ

99	駒井哲郎	顔(びっくりしている少女)	1975	アクアチント(亜鉛版)・紙	23.0×21.0	1991年度 購入								
100	駒井哲郎	二つの旗のある風景	1972-73	モノタイプ・紙	19.0×19.6	1991年度 購入								
102	浜口陽三	編み棒	1985	モノチント・紙	24.3×54.6	1988年度 購入								
103	高野三三男	うたたね (ねむる金髪の男の子)	1930-40	油彩・キャンバス	50.0×65.0	1995年度 高野三三男氏 寄贈								
104	高野三三男	黒猫をだく少女	制作年不詳	油彩・キャンバス	64.0×52.0	1995年度 高野三三男氏 寄贈								
105	安本亮一	『東京バック』より「ショウ・ウィ ンドーからぬけて来た女(張 紙細工)」	1928	墨、コラージュ・紙	20.8×19.7	1981年度 購入								
106-109	草間彌生	自己消滅(9点組のうち)	1982	シルクスクリーン、コラージュ・紙		1984年度 購入								
106	南瓜(黄)	15.7×22.7	107 南瓜(黄)	52.2×45.8	108 南瓜(黄)	68.5×55.0	109 南瓜(赤)	59.0×48.8						
110-119	矢柳剛	版画集『愛の動物誌』	1972	シルクスクリーン・紙		1982年度 購入								
110	B	72.8×48.6	111	C	73.0×49.0	112	D	76.4×50.2	113	E	49.3×73.7	114	F	60.3×52.0
115	G	49.0×73.3	116	H	73.5×49.2	117	I	64.5×51.5	118	J	49.1×73.3	119	K	73.3×49.2
120-129	矢柳剛	版画集 『愛の動物誌 第二部』	1973	シルクスクリーン・紙		1982年度 購入								
120	L	73.7×49.5	121	M	49.1×73.6	122	N	73.7×49.2	123	O	49.3×73.7	124	P	72.0×49.0
125	Q	73.5×49.0	126	R	49.5×73.2	127	S	73.5×50.1	128	T	49.0×73.2	129	U	73.8×49.4
130	藤田嗣治	小鳥と少女	制作年不詳	インク・紙	16.5×9.5	1983年度 購入								
131	藤田嗣治	帽子をかぶった少女	制作年不詳	銅版・紙	16.0×11.0	1983年度 購入								
132	藤田嗣治	少年像	1929	銅版・紙	34.5×25.5	1983年度 購入								
133	藤田嗣治	人形	1935(版上 サイン)/1946 (書込サイン)	木版・紙	23.0×17.0	1983年度 購入								

6 僕らはみんな生きている

134	岡田謙三	五人	1949	油彩・キャンバス	202.2×319.2	1990年度 購入
135	荒井能男	過失に於ける欣喜への頌歌	1937	油彩・キャンバス	144.0×87.5	1991年度 購入
136	今井俊満	ゴーゴーガール	1965	塗料、コラーージュ・紙	65.0×50.0	1985年度 購入
137	今井俊満	男	1965	塗料・紙	65.0×50.0	1985年度 購入
138	池田満寿夫	日光浴する貴婦人たち	1962	ドライポイント、アクアチント・紙	36.2×34.5	1991年度 購入
139	黒崎彰	版画集『中国』より「冷たいビールを下さい」	1980	木版9版18色、シルクスクリン・紙(越前特濃奉書紙)	45.4×32.8	1982年度 購入

障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび2021

会期：2021年11月30日(火)～12月19日(日) 18日間

会場：ワークショップ室、エントランスホール

主催：目黒区／(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

入場者数：2,081人

担当学芸員：山田真規子、重田正恵



目黒区内の障害者施設を通じて作品を募集し、171件400点の作品を1階ワークショップ室とエントランス部分で展示。複数出品やグループなどで計上すると117名、11施設の参加となった。区民ギャラリーを会場とした令和元年度の第1回目に続き、2回目の展示となった。

応募点数が多かったため、「くりかえす」、「きる、ちぎる、はる」などカテゴリーに分けた展示とした。仕切り板を三面に仕立て、壁面展示スペースを確保しつつ、車椅子使用など、障がいのある方にもゆったりと鑑賞できるような会場を心がけた。

事前に施設を度々訪問し、調査をすることで、出品につながった作者も多く、前回よりスペースは縮小したにもかかわらず、出品数は増加となった。

前回は会場内撮影不可であったが、応募用紙に撮影同意欄を設け、一部作品を除き、撮影可とした。結果、SNS等でも取り上げられ、関係者以外の周知が広まったようである。

施設ごとでの訪問も多く、2階のコレクション展と同タイトルとし、関連づけたことで、前回の課題であった関係者以外の来場の増加や、出品者の方にコレクション展も鑑賞していただけるという相互性が生まれた。

●記録集

サイズ：A4判

デザイン：井手久美子・河野伊央(idograph)／発行：目黒区

内容：記録集発行によせて／出品作品、展示風景／会期中の関連催事／出品リスト／アドバイザーからのメッセージ／展覧会情報

●広報印刷物

ポスター B2(「目黒区美術館コレクション展 日々のよろこび2021」と合同)／チラシ A4

●関連催事

1. ガラスに「日々のよろこび」を描こう

開催日：展覧会会期中

2. 参加施設による物販

開催日：会期中10:00～11:30(休館日を除く)

●主要関連記事

ケーブルテレビ「地モトNEWS」インフォメーション

2021年12月8日



記録集



A4チラシ

出品リスト

凡例

・作品のデータは、出品番号 | 作品名 | 作者名 | 点数 | 技法・材質 の順に記載した。

No.	作品名	作者名	点数	技法・材質等
1	ビニャータ	向日葵グループ	8	紙、絵具
2	月夜のトイレ	西田和生	1	キャンバス、絵具、粘土
3	カラーワールド	若山年哉汰	5	キャンバス、紙、段ボール、絵具、クレヨン
4	無題	小渡富美	3	紙、絵具、クレヨン(キットパス)
5	イチロー	桜井良一	4	色鉛筆
6	顔	市原章一	1	紙、インク
7	井の頭線	津村井広樹	7	紙、絵具、クレヨン(キットパス)
8	無題	鶴澤直哉	6	紙、絵具
9	無題	佐々木政之	11	紙、インク
10	好きな色	遠藤明日香	10	紙、ダンボール、クレヨン
11	無題	遠藤明日香	3	キャンバス、紙、ダンボール、絵具、クレヨン
12	無題	松永綾郁	66	紙、色鉛筆
13	無題	あや	8	紙、ダンボール、折り紙
14	若い女性	Taka	25	ボール紙、鉛筆
15	お花と猫	桜澤さおり	2	インク、色鉛筆
16	無題	瀬畑晴也	3	紙、鉛筆、色鉛筆
17	Fly Me To the Moon わたしを月に連れてって	そら1グループ	1	ダンボール、紙、テープ
18	ロケット	イワサワタキ夫	2	ボックスティッシュ、折り紙、テープ
19	つなげたよ	小島拓也	1	クリップ
20	和紙アート	芸術クラブ一同	27	和紙、絵具、ラミネート
21	秋の紅葉	田中宏憲	1	キャンバス、水彩絵具
22	ある秋の日	吉田恭佑	1	紙、絵具、葉
23	紅葉の富士山	RJE	1	紙、絵具
24	風景	Taka	1	紙、絵具
25	家の中	Taka	1	紙、水彩絵具
26	青い太陽	子上泰佑	1	紙、絵具
27	行ってみたいな、ハワイへ	SATOMI	1	紙、クレヨン
28	哀しみの雨	山本知宙	1	紙、絵具
29	初夏	中山大輔	1	紙、絵具
30	夏	福永紗奈子	1	紙、絵具
31	晴れの間の新緑	小滝茂子	1	紙、色鉛筆
32	雨上がりのアジサイ	熊木零央	1	紙、絵具
33	あじさい	こうたろう	1	色紙、絵具、コラージュ
34	6月アジサイ	古野雅基	1	紙、絵具
35	発生II	柳沢昌宏	1	キャンバス、油絵具
36	ガーベラ	星野那由多	1	キャンバス、油絵具
37	無題	榎田修己	1	紙、色鉛筆
38	プロッコリー	みーくん	1	紙、インク
39	無題	高橋昌也	1	鉛筆、クレヨン
40	お花畑	ニコちゃん	1	紙、インク
41	無題	佐々木政之	1	紙、クレヨン、インク
42	無題	横山政夫	1	紙、絵具、クレヨン
43	無題	小澤みゆき	4	紙、クレヨン
44	無題	田中大輔	1	紙、鉛筆、クレヨン
45	静物画(果物)〜最後の甘夏と旬の果物	RS	1	紙、色鉛筆
46	無題	大野奨	1	紙、絵具、クレヨン
47	無題	高橋昌也	1	紙、絵具、鉛筆
48	無題	銀目真由美	1	紙、絵具、クレヨン
49	無題	瀧宮桃代	1	紙、絵具、色鉛筆
50	バラとコスモス	宇賀神寿恵	1	紙、コラージュ
51	あやめがすてき	とんちゃん	1	紙、コラージュ
52	コスモス	宇賀神寿恵	1	紙、コラージュ
53	afternoonのマドンナ	井手通子	1	紙、コンテ
54	静物画	まかろん	1	紙、透明水彩

No.	作品名	作者名	点数	技法・材質等
55	岩沢マンション	イワサワタキ夫	6	ティッシュボックス、テープ、アクリル絵具、水彩絵具、折り紙、インク
56	花	三十重	1	折り紙、ワイヤー
57	あふれる思い	東が丘福祉工房一同	3	お花紙、瓶
58	アップルムーン	そら1グループ	1	お花紙
59	せんたく	うみ	1	お花紙
60	マイエコバッグ	西田和生	1	布製バッグ、シルクスクリーン
61	森のトイレ	西田和生	1	粘土、アクリル絵具
62	りんごハウスのトイレ	西田和生	1	粘土、アクリル絵具
63	大根	佐藤友恵	1	紙、コラージュ
64	青首大根	K.Kanako	1	紙、コラージュ
65	青首大根	平野ひろお	1	紙、コラージュ
66	躍動	そら3グループ	9	紙、絵具、テープ
67	無題	みーくん	1	紙、コラージュ
68	きれい	星島希依子	1	紙、セロファン
69	ピンク	重松梨恵子	1	紙、インク(スタンプ)、セロファン
70	キラキラ	半場優太	1	紙、クレヨン、コラージュ
71	ちぎり絵	西村真優子	3	色紙、和紙、鉛筆
72	花火	加藤美里	1	紙、クレヨン、コラージュ
73	花火	榎本佑紀	1	紙、クレヨン、コラージュ
74	花火	sho	1	紙、クレヨン、コラージュ
75	花火	丸山和音	1	紙、クレヨン、コラージュ
76	花火	館野英佑	1	紙、クレヨン、コラージュ
77	花火	安達信彦	1	紙、クレヨン、コラージュ
78	あじさい	畠加奈子	1	紙、コラージュ
79	あじさい	山本奈義	1	紙、コラージュ
80	あじさい	みなみ	1	紙、コラージュ
81	あじさい	ふるゆう	1	紙、コラージュ
82	あじさい	肥後直輝	1	紙、コラージュ
83	花火	T・TAKA	1	紙、コラージュ
84	花火	庄司匠	1	紙、コラージュ
85	花火	まり	1	紙、コラージュ
86	花火	尾島彩花	1	紙、コラージュ
87	花火	山本知宙	1	紙、クレヨン、コラージュ
88	花火	羽野美穂	1	紙、クレヨン、コラージュ
89	花火	Tomo	1	紙、クレヨン、コラージュ
90	花火	R・Y・O	1	紙、クレヨン、コラージュ
91	花火	小古間晴菜	1	紙、クレヨン、コラージュ
92	無題	H.S.	1	紙、インク、クレヨン
93	無題	佃康代	1	紙、絵具、鉛筆、クレヨン
94	無題	小佐野隼	1	紙、絵具
95	無題	平野照朗	1	紙、鉛筆
96	無題	森本広美	1	紙、絵具、色鉛筆
97	無題	鳥越さな子	1	紙、絵具
98	おとうさん・おかあさん	マサ・タナカ	1(両面)	米袋、色鉛筆、インク
99	無題	畠加奈子	3(両面)	紙、クレヨン、色鉛筆
100	無題	白石珠緒	1	絵具、インク、クレヨン
101	深海の神秘	岩下秀之	1	紙、絵具
102	おわった	岸井淑子	1	紙、スタンプ
103	ザ・パソコン	小島拓也	1	ダンボール、紙、インク
104	リンゴ	足立真久	1	紙、インク
105	たのしい	石井翔太郎	1	紙、水性インク
106	HAPPY TRAIN	伊東佑基	1	紙、絵具
107	カフェ	中神克枝	1	紙、色鉛筆
108	color	ニコルス・エドワード・ボクユウ	1	紙、絵具、クレヨン
109	無題	三坂俊平	1	紙、アクリル絵具
110	無題	H.S.	1	紙、クレヨン、絵具
111	おえかき	高坂恵	1	ボール紙、水性インク
112	無題	畠加奈子	2	紙、絵具、クレヨン(キットパス)
113	無題	川又優	1	キャンバス、絵具、クレヨン
114	無題	サニー・ヒルデッシュ・シン	1	紙、絵具

No.	作品名	作者名	点数	技法・材質等
115	無題	中島由利子	1	紙、絵具
116	無題	そら	6	画用紙、絵具
117	無題	水越真佐美	3	ダンボール、絵具、クレヨン
118	HELLO HELLO	照	1	紙、インク
119	無題	成田玲海	1	紙、クレヨン
120	歸りたい	荻田弘昭	1	紙、絵具、クレヨン
121	無題	山下晴子	1	紙、絵具
122	JR東京駅	花火	1	和紙、墨、クレヨン
123	キラキラ玉手箱	そら2,3合作	4	紙、アルミ箔、セロファン、折り紙
124	ウルトラマン7	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
125	うちゅうせんしギヤパン	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
126	キューティーハニー	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
127	カメンライダーRX	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
128	カメンライダーRX	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
129	カメンライダーRX	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
130	なまはげ	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
131	おばけ	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
132	オニかも	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
133	ぼくはつ シュワッ!	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
134	ぼくのかお	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
135	無題	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
136	無題	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
137	ぼくのすきなもの	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
138	にわとり	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
139	むし	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
140	おしりかじりむしとみんな	マサ・タナカ	1	米袋、色鉛筆、インク
141	無題	薄井道広	1	絵具、クレヨン
142	無題	松崎裕史	2	紙、絵具、折り紙、クレヨン
143	無題	大池実	5	紙、絵具
144	マスクした人	マサ・タナカ	5	米袋、色鉛筆、インク
145	はじめてつくったサンタクロース	宇賀神寿恵	1	紙、コラージュ
146	Hansel and Gretel	Toshie & Risa	1	紙、コラージュ、鉛筆、インク
147	かぐやひめ	Toshie & Risa	1	紙、コラージュ、インク
148	シンデレラ	Toshie & Risa	1	紙、コラージュ
149	工房の職員	寿ちゃん	1	スケッチブック、色鉛筆、インク
150	がんばれそうまくん	宇賀神寿恵	1	紙、サインペン
151	人物画	星野那由多	1	紙、鉛筆
152	私となか	杉本奈美	1	紙、インク、セロファン
153	ねじとボンちゃんとさかな	Mさん	1	紙、インク
154	無題	小澤みゆき	2	紙、クレヨン
155	りんごを食べる虫たち	Yokko	1	紙、色鉛筆
156	無題	丸山颯斗	1	紙、絵具、クレヨン
157	無題	柳下瑞奈	1	紙、インク、クレヨン
158	女の子	倉橋はるな	1	インク、色鉛筆
159	ファンキースマイル	尾島彩花	1	紙、絵具
160	ショウガイシャ クルマイス	直子	1	紙、色鉛筆
161	ともだち	じゅんこ	1	紙、インク
162	ともだち	じゅんこ	1	紙、絵具
163	"Fullness" 大好きな実習生の方へ	3.3	1	紙、色鉛筆
164	mama	大満浩彦	1	紙、インク
165	あたま	大満浩彦	1	紙、インク
166	あたま	大満浩彦	1	紙、インク
167	ぼくと犬	柿崎太一	1	紙、絵具
168	くるくる	西村真優子	7	フェルト、糸
169	父親と福島海	岩沢滝夫	1	Tシャツ、イベントカラー
170	STONESあんどSNOWMAN	照	1	Tシャツ、イベントカラー
171	梅雨をイメージして描こうと思ったのですが...	寿恵	1	Tシャツ、イベントカラー
172	無題	Rie	1	Tシャツ、イベントカラー
173	原っぱに虫がいる	Yokko	1	Tシャツ、イベントカラー
174	夏空	西田和生	1	Tシャツ、イベントカラー

めぐろの子どもたち展

会期：2022年1月18日(土)～2月2日(水) 14日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ室、
区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園・こども園長会、目黒区立小学校長会、
目黒区立中学校長会、目黒区立特別支援学級設置校長会、
目黒区教育会、目黒区美術館、目黒区教育委員会

入場者数：10,291人

担当学芸員：重田正恵



目黒区立の幼稚園・こども園、小・中学校の子どもたちの作品を、表現活動の成果として展示する展覧会。本展は教職員によって主導され、子どもたちの鑑賞教育の場として、また保護者や地域の方々が、教育現場における子どもたちの活動を理解する場として長きにわたりその役割を果たしている。前年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となったが、当該年度は再開された。米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展を同時開催した。(作品数：4,278点)

●広報印刷物

ポスター B2／チラシ A4

チラシ裏面内容：ごあいさつ(主催者) | 幼稚園・こども園 | 小学校・図画工作 | 小学校・書写 |
中学校・美術 | 中学校・書写 | 特別支援学級 | 中国北京市東城区児童・生徒
書画展 | 米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展



A4チラシ

木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり

会期：2022年2月19日(土)～3月27日(日) 32日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

後援：公益財団法人 北野生涯教育振興会、

公益社団法人 日本写真家協会、公益社団法人 日本写真協会

企画協力：株式会社クレヴィス

木村伊兵衛作品監修：田沼武能(写真家)

入場者数：10,644人

担当学芸員：菅田あゆみ、山田真規子



報道写真やポートレートの名手として知られる木村伊兵衛が、1954年と55年に、国産のカラーフィルムで撮影したパリの街角のスナップ写真131点と、当館のコレクションより、1900年から50年代にかけてパリ留学を経験した画家たちによる、現地の風物を描いた作品52点をあわせて展示した。木村伊兵衛や画家たちがパリでどのように学び、いかに表現してきたのか、その試行錯誤が作品にも表れており、彼らが異国の地で苦闘したこともありのままに伝えることで、全体を通して親しみやすさを意識した展示構成とした。結果として、幅広い年代のお客様が来館され、コロナ禍で海外旅行が難しい状況のなか、異国の地を旅するように、写真と絵画、異なる技法で表されたパリの情景をご鑑賞いただけた。

●広報印刷物

ポスター B2/チラシ A4

●関連催事

1. ミュージウムコンサート「パリの風薫るマヌーシュ・ジャズの午後」

出演：河野文彦(ギター)、松下幹雄(ギター)、阿部恭平(ベース)、川又瑞代(ヴァイオリン)／開催日：2月23日(水・祝)①13:00～14:30【追加開催】②15:00～16:00／参加者：各回31人

2. 講演会「木村伊兵衛のパリを語る」

講師：田沼武能(写真家/本展監修)／開催日：2月27日(日)／参加者：17人

3. オンラインセミナー「オンラインでパリ観光—芸術家の足跡を巡る旅」

講師：白井智子(姫路日本短期大学客員教授・姫路日仏協会会長・神戸大学研究員)／開催日：3月19日(土)／参加者：45人

4. 大人のための美術カフェ「展覧会の舞台裏と木村伊兵衛のパリについて」

講師：菅田あゆみ(当館学芸員)／開催日：3月26日(土)①14:00～14:30【追加開催】②14:45～15:15／参加者：各回30人

●主要関連記事

1. 朝日新聞全国版『美の履歴書』2022年3月1日

2. ウェブ版『美術手帖』随時

3. ケーブルテレビ『地モトNEWS』インフォメーション 2022年2月17日、18日

4. NHK Eテレ『日曜美術館 アートシーン』2022年3月13日



A4チラシ

出品リスト

凡例

- ・出品作品は、章ごとに分けて記載した。
- ・出品番号Ⅰ-1～Ⅳ-131までの作品は、木村伊兵衛が撮影したオリジナルの写真をデジタルデータ化し、プリントしたもので、作品のデータは、出品番号、作品名、撮影地、撮影年、サイズ(cm)の順に記載した。
- ・出品番号Ⅴ-1～52までの作品は目黒区美術館の所蔵作品で、作品のデータは、出品番号 | 作家名 | 作品名 | 技法・材質 | サイズ(cm) | 取得情報の順に記載した。

No.	作品名, 撮影地, 撮影年	サイズ(cm)	No.	作品名, 撮影地, 撮影年	サイズ(cm)
Ⅰ パリの街角			Ⅱ-42	パリ, 1954-55年	64.5×92.0
Ⅰ-1	ノートル＝ダム寺院, パリ, 1954年	43.2×35.6	Ⅱ-43	パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅰ-2	地下鉄高架, パリ, 1955年	35.6×43.2	Ⅱ-44	パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅰ-3	デュプレクス地下鉄高架駅, パリ, 1955年	35.6×43.2	Ⅱ-45	パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅰ-4	パリ, 1955年	43.2×35.6	Ⅱ-46	シャンゼリゼ通り, パリ, 1954年	43.2×35.6
Ⅰ-5	パリ, 1954年	43.2×35.6	Ⅱ-47	パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅰ-6	パリ, 1955年	43.2×35.6	Ⅱ-48	ムフタル通り, パリ, 1954-55年	130.0×91.5
Ⅰ-7	パリ, 1955年	43.2×35.6	Ⅱ-49	パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅰ-8	レ・ゴブラン地下鉄駅入口, パリ, 1954年	43.2×35.6	Ⅱ-50	パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅰ-9	パリ, 1955年	43.2×35.6	Ⅱ-51	パリ, 1954年	43.2×35.6
Ⅰ-10	パリ, 1954-55年	35.6×43.2	Ⅱ-52	パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅰ-11	パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅱ-53	パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅰ-12	パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅱ-54	パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅰ-13	パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅱ-55	下町のおかみさん, メニルモンタン, パリ, 1955年	130.0×91.5
Ⅰ-14	パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅱ-56	パリ, 1954年	43.2×35.6
Ⅰ-15	パリ, 1954-55年	92.0×64.5	Ⅱ-57	パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅰ-16	パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅱ-58	パリ, 1955年	35.6×43.2
Ⅰ-17	パリ, 1954年	43.2×35.6	Ⅱ-59	パリ, 1955年	35.6×43.2
Ⅰ-18	パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅱ-60	パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅰ-19	パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅱ-61	プロワ, 1954年	43.2×35.6
Ⅰ-20	パリ, 1954-55年	35.6×43.2	Ⅱ-62	パリ, 1954-55年	92.0×64.5
Ⅰ-21	パリ, 1954年	35.6×43.2	Ⅱ-63	焼栗屋, パリ, 1954年	35.6×43.2
Ⅰ-22	パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅱ-64	パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅰ-23	パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅱ-65	パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅰ-24	パリ, 1954年	43.2×35.6	Ⅱ-66	パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅰ-25	パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅱ-67	パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅰ-26	パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅱ-68	パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅰ-27	ブルボ通り, モンマルトル, パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅱ-69	モンマルトル, パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅰ-28	モンマルトル, パリ, 1954-55年	35.6×43.2	Ⅱ-70	パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅰ-29	パリ, 1954年	43.2×35.6	Ⅱ-71	モンマルトル, パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅰ-30	パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅱ-72	パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅰ-31	レ・アル中央市場付近, パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅱ-73	パリ, 1954年	35.6×43.2
Ⅰ-32	古い街, パリ, 1954年	43.2×35.6	Ⅲ 安らぐパリ		
Ⅰ-33	パリ, 1955年	43.2×35.6	Ⅲ-74	パリ, 1954-55年	35.6×43.2
Ⅰ-34	パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅲ-75	ロンシャン競馬場, パリ, 1954年	43.2×35.6
Ⅰ-35	パリ, 1954年	35.6×43.2	Ⅲ-76	ロンシャン競馬場, パリ, 1954年	43.2×35.6
Ⅰ-36	裏通り, メニルモンタン, パリ, 1954年	35.6×43.2	Ⅲ-77	ロンシャン競馬場, パリ, 1954年	130.0×91.5
Ⅰ-37	エトワール広場, パリ, 1955年	91.5×130.0	Ⅲ-78	ロンシャン競馬場, パリ, 1954年	35.6×43.2
Ⅱ 素顔のパリっ子			Ⅲ-79	ロンシャン競馬場, パリ, 1954年	43.2×35.6
Ⅱ-38	ミラボー橋, パリ, 1955年	35.6×43.2	Ⅲ-80	カフェにて, パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅱ-39	パリ, 1954年	43.2×35.6	Ⅲ-81	パリの女, シャンゼリゼ通り, パリ, 1955年	92.0×64.5
Ⅱ-40	シャンゼリゼ通り, パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅲ-82	パリの女, シャンゼリゼ通り, パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅱ-41	パリ, 1955年	43.2×35.6	Ⅲ-83	パリ, 1955年	43.2×35.6

No.	作品名, 撮影地, 撮影年	サイズ(cm)	No.	作品名, 撮影地, 撮影年	サイズ(cm)
Ⅲ-84	カフェのバンド, パリ, 1954年	91.5×130	Ⅲ-109	パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅲ-85	パリ, 1954-55年	35.6×43.2	Ⅲ-110	職人町のパリ祭, メニルモンタン, パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅲ-86	パリ, 1955年	35.6×43.2	Ⅲ-111	職人町のパリ祭, メニルモンタン, パリ, 1955年	35.6×43.2
Ⅲ-87	パリ, 1954年	35.6×43.2	Ⅲ-112	職人町のパリ祭, メニルモンタン, パリ, 1955年	35.6×43.2
Ⅲ-88	セーヌ河岸の古本屋, パリ, 1954年	35.6×43.2			
Ⅲ-89	モンパルナス墓地, パリ, 1954年	43.2×35.6	Ⅳ 華やぐパリ		
Ⅲ-90	パリ, 1954-55年	43.2×35.6	Ⅳ-113	霧の夜, パルザックの銅像, モンパルナス, パリ, 1954年	43.2×35.6
Ⅲ-91	リュクサンブール公園にて, パリ, 1954年	35.6×43.2	Ⅳ-114	霧の日, パリ, 1954-55年	43.2×35.6
Ⅲ-92	チュイルリー公園にて, パリ, 1955年	43.2×35.6	Ⅳ-115	雑誌スタンドのおばさん, パリ, 1954年	43.2×35.6
Ⅲ-93	チュイルリー公園にて, パリ, 1955年	43.2×35.6	Ⅳ-116	パリ, 1954-55年	35.6×43.2
Ⅲ-94	リュクサンブール公園にて, パリ, 1954年	43.2×35.6	Ⅳ-117	パリ, 1954-55年	35.6×43.2
Ⅲ-95	リュクサンブール公園にて, パリ, 1954年	43.2×35.6	Ⅳ-118	夕暮れのコンコルド広場, パリ, 1954年	35.6×43.2
Ⅲ-96	パリ, 1954-55年	35.6×43.2	Ⅳ-119	パリ, 1954-55年	35.6×43.2
Ⅲ-97	霧の森, シャンボール, 1954年	64.5×92.0	Ⅳ-120	パリ, 1954-55年	35.6×43.2
Ⅲ-98	シャンボール, 1954年	35.6×43.2	Ⅳ-121	霧の夜, モンパルナス, パリ, 1954年	43.2×35.6
Ⅲ-99	パリからブロワへむかう途上で, 1954年	35.6×43.2	Ⅳ-122	赤い霧, モンパルナス, パリ, 1954年	43.2×35.6
Ⅲ-100	パリからブロワへむかう途上で, 1954年	43.2×35.6	Ⅳ-123	帽子をかぶるマヌカン, パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅲ-101	マルヌ河畔, パリ郊外, 1954年	64.5×92.0	Ⅳ-124	ジョアンビル撮影所のミシェル・モルガン, パリ郊外, 1955年	43.2×35.6
Ⅲ-102	マルヌ河畔, パリ郊外, 1954年	35.6×43.2	Ⅳ-125	手鏡, パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅲ-103	マルヌ河畔, パリ郊外, 1954年	35.6×43.2	Ⅳ-126	マヌカン, パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅲ-104	マルヌ河畔, パリ郊外, 1954年	43.2×35.6	Ⅳ-127	ファッションショー, パリ, 1954年	43.2×35.6
Ⅲ-105	マルヌ河畔, パリ郊外, 1954年	35.6×43.2	Ⅳ-128	マヌカン, パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅲ-106	サン・マルタン運河, パリ, 1955年	43.2×35.6	Ⅳ-129	マヌカン, パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅲ-107	サン・マルタン運河, パリ, 1955年	43.2×35.6	Ⅳ-130	ジバンシーのコレクション会場, パリ, 1955年	43.2×35.6
Ⅲ-108	パリ, 1954-55年	35.6×43.2	Ⅳ-131	ジバンシーのコレクション会場, パリ, 1955年	91.5×130.0

資料等

- ・『木村伊兵衛 外遊写真集』朝日新聞社、1955年
- ・『木村伊兵衛 第2回外遊写真集』朝日新聞社、1956年
- ・『アサヒカメラ』朝日新聞社、1955年4月号
- ・『日本カメラ』日本カメラ社、1956年1月号
- ・『アサヒカメラ』朝日新聞社、1956年4月号
- ・『アサヒカメラ 木村伊兵衛の世界』朝日新聞社、1974年8月増刊号
- ・FUJICOLOR FILM(模型)
- ・ライカM3(当時、木村伊兵衛がヨーロッパ取材で使用了ものと同じモデルの色違い)

No.	作家名	制作年	作品名	技法・材質	サイズ(cm)	取得情報
Ⅴ 目黒区美術館コレクション「私のパリ」						
V-1	荻須高徳	1931	パリのカフェ	油彩・キャンバス	60.6×72.7	1992年度 購入
V-2	庵子木孟郎	1916-17	アブニューオッシュ	油彩・キャンバス	50.1×61.0	1983年度 購入
V-3	安井曾太郎	1911	パリの公園	油彩・キャンバス	33.2×41.0	1983年度 購入
V-4	梅原龍三郎	1908	パリ市庁	油彩・キャンバス	35.0×43.1	1993年度 購入
V-5	澤部清五郎	1912	セーヌ河岸	油彩・板	15.2×22.0	1984年度 澤部つた氏 寄贈
V-6	澤部清五郎	1913	パリの街角	油彩・板	22.0×15.2	1984年度 澤部つた氏 寄贈
V-7	澤部清五郎	1912	初夏のカフェ	油彩・ボード	32.5×24.7	1984年度 澤部つた氏 寄贈
V-8	澤部清五郎	1912	ルクサンブールの冬	油彩・ボード	35.0×27.0	1984年度 澤部つた氏 寄贈
V-9	澤部清五郎	1912	ムードンの画室街	油彩・ボード	27.0×35.0	1984年度 澤部つた氏 寄贈
V-10	澤部清五郎	1913	パリの朝	油彩・ボード	27.0×35.0	1984年度 澤部つた氏 寄贈
V-11	澤部清五郎	1913	カプリ	油彩・ボード	27.0×35.0	1984年度 澤部つた氏 寄贈

No.	作家名	制作年	作品名	技法・材質	サイズ(cm)	取得情報
V-12	澤部清五郎	1913	ルクサンブールの人形芝居	油彩・ボード	27.0×35.0	1984年度 澤部つた氏 寄贈
V-13	藤田嗣治	1925	カフェ・ラ・ロトンド	銅版・紙	19.0×14.5	1983年度 購入
V-14	藤田嗣治	1948	エッフェル塔	陶器	Φ30.5	1983年度 購入
V-15	岡田謙三	1936	セーヌ河	油彩・キャンバス	46.0×61.0	1994年度 購入
V-16	辻永	1921	セーヌ川	油彩・キャンバス	41.2×53.3	1982年度 購入
V-17	青山義雄	1933	リュクサンブール公園	油彩・キャンバス	45.4×37.8	1983年度 購入
V-18	大橋了介	1927-33	町外れの家	油彩・キャンバス	60.6×73.3	1984年度 購入
V-19	島村三七雄	1929-36	セーヌの釣り	油彩・キャンバス	53.0×65.2	1983年度 購入
V-20	山口薫	1930	巴里の屋根	油彩・キャンバス	45.6×37.7	1983年度 購入
V-21	山口薫	1932	パリ、アレジアの教会	油彩・キャンバス	61.0×72.0	1989年度 水上 明氏・多津子氏 寄贈
V-22	山口薫	1930	クルニー美術館の裏庭	油彩・キャンバス	49.0×59.0	1989年度 萩原昌子氏 寄贈
V-23	荒井達男	1935	プラスサンミッシェル	油彩・綿布	60.6×50.1	1982年度 購入
V-24	角浩	1938	パリの屋根	油彩・キャンバス	80.7×100.2	1984年度 購入
V-25	角浩	1938	リュクサンブール公園	油彩・キャンバス	50.3×65.0	1984年度 作者寄贈
V-26	矢橋六郎	1931	ポン・サン・ミッシェル	油彩・キャンバス	80.4×100.0	1983年度 購入
V-27	矢橋六郎	1931	風景 ミュゼ クリニー パリ	油彩・板	24.0×33.0	1984年度 作者寄贈
V-28	矢橋六郎	1930	風景 パリ ルーブルにて	油彩・板	23.9×33.1	1984年度 作者寄贈
V-29	矢橋六郎	1930	風景 トロカデロ	油彩・板	32.8×40.7	1984年度 作者寄贈
V-30	高島達四郎	1927	食卓	油彩・キャンバス	80.9×99.8	1985年度 購入
V-31	猪俣弦一郎	1938-39	ノートル・ダム	油彩・キャンバス	81.2×54.3	1986年度 購入
V-32	山尾鶴明	1933	夜のノートル・ダム	油彩・キャンバス	81.1×53.1	1984年度 作者寄贈
V-33	荻須高德	1960	サンマルタン通り	水彩・紙	32.0×50.0	2003年度 所管 皆(目黒区2001年度 プリエの会より寄贈)
V-34	野見山曉治	1953	パリの郊外	インク、グアッシュ・紙	32.0×50.0	1986年度 購入
V-35	浜口陽三	1956	パリの屋根	カラーメゾチント・紙	37.5×51.5	1986年度 購入
V-36	小川千麿	1913	滞欧期スケッチブック 1	鉛筆ほか・紙	14.8×19.9	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-37	小川千麿	1913	滞欧期スケッチブック 2	鉛筆ほか・紙	10.5×18.0	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-38	小川千麿	1913	滞欧期スケッチブック 3	鉛筆ほか・紙	13.4×10.5	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-39	小川千麿	1913	滞欧期スケッチブック 4	鉛筆ほか・紙	15.5×12.2	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-40	小川千麿	1913	滞欧期スケッチブック 5	鉛筆ほか・紙	9.2×13.8	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-41	小川千麿	1913	滞欧期スケッチブック 6	鉛筆ほか・紙	16.0×10.5	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-42	小川千麿	1913	滞欧期スケッチブック 7	鉛筆ほか・紙	17.2×11.5	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-43	小川千麿	1913	滞欧期スケッチブック 8	鉛筆ほか・紙	17.5×11.0	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-44	小川千麿	1913	滞欧期スケッチブック 9	鉛筆ほか・紙	17.4×11.0	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-45	小川千麿	1913	滞欧期スケッチブック 10	鉛筆ほか・紙	13.9×8.9	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-46	小川千麿	1913	滞欧期スケッチブック 11	鉛筆ほか・紙	10.9×16.4	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-47	小川千麿	1913	ルーブルのほとり	水彩・紙	26.0×19.9	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-48	小川千麿	1913	セーヌ河畔	水彩・紙	22.8×14.6	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-49	小川千麿	1913	巴里、オデッサホテルの客室	水彩・紙	22.8×14.6	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-50	小川千麿	1913	セーヌ川	水彩・紙	16.3×14.2	2011年度 小川三郎氏 寄贈
V-51	近藤吾朗	1957	サン・ミッシェル通り	油彩・キャンバス	72.7×116.5	1984年度 東江道夫氏 寄贈
V-52	井手宣通	1955	モンマルトル(巴里)	油彩・キャンバス	46.3×55.0	1994年度 井手潔子氏 寄贈

東京・区立美術館ネットワーク連携事業 「東京の猫たち」

会期：2022年4月23日(土)～6月12日(日) 44日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

入場者数：9,600人

担当学芸員：山田真規子、菅田あゆみ



2018年に、東京都内の区立美術館11館で結成した「東京・区立美術館ネットワーク」の連携事業として、コレクションを有する10館からの出品による展覧会を開催した。

どの美術館からも出品できるテーマとして「猫」を取り上げたが、油彩、版画、素描、彫刻、掛軸から工芸まで、参加館のコレクションの特徴を反映した多彩な作品が集まった。

来館者にとっては、親しみやすい「猫」の作品を楽しみながら、普段あまり知られていない都内の区立美術館の活動を知っていただく好機ともなった。

●ブックレット

サイズ：15.0×10.1cm

デザイン：青木泰美(AOKI COBO DESIGN OFFICE)

内容：ポストカード10枚、解説書2枚、箱入り

●広報印刷物

ポスター B2／チラシ A4／ハガキ

●関連催事

大人のための美術カフェ番外編「猫でつなぐリレートーク」

①「ミステリアスな猫の魅力」

ナビゲーター：西美弥子(渋谷区立松濤美術館 学芸員)、真子みほ(練馬区立美術館 学芸員)、小林未央子(豊島区文化商工部文化デザイン課芸術文化推進グループ 学芸員)、菅田あゆみ(当館学芸員)／開催日：5月14日(土)／参加者：24人

②「猫を愛した芸術家：朝倉文夫、熊谷守一、稲垣知雄」

ナビゲーター：戸張泰子(台東区立朝倉彫塑館 学芸員)、三木啓介(世田谷美術館 学芸員)、高橋真樹(豊島区立熊谷守一美術館 学芸員)／開催日：5月22日(日)／参加者：35人

③「今年は寅年、虎と猫」

ナビゲーター：植松有希(板橋区立美術館 学芸員)、千葉椎奈(すみだ北斎美術館 学芸員)、木村拓也(大田区立龍子記念館 学芸員)／開催日：6月5日(日)／参加者：23人

●主要関連記事

1. NHK Eテレ『ねこの目美術館』2022年5月26日
2. MXテレビ『わたしの芸術劇場』2022年6月10日
3. テレ朝動画『Musée du ももクロ』(有料配信) 2022年6月3日



ブックレット



A4チラシ

出品リスト

凡例

・作品のデータは、出品番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ(cm) | 所蔵者の順に記載した。

・出品番号No. 16~24のサイズ「半紙本」は、概寸22.0×15.0cm。

・一部の作品は期間中展示替えを行った。[前期:4月23日(土)~5月22日(日)、後期:5月24日(火)~6月12日(日)]

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵者	
1	秋山泰計	夢の旅Ⅱ(部分)	1985	木版・墨・紙	91.0×60.0	渋谷区立松涛美術館	
2	秋山泰計	夢の旅Ⅱ B猫(部分)	1985	木版・墨・紙	51.4×72.6	渋谷区立松涛美術館	
3	朝倉文夫	吊された猫	1909	ブロンズ	51.0×32.0×25.0	台東区立朝倉彫塑館	
4	朝倉文夫	はるか	1918頃	ブロンズ	21.0×25.8×16.6	台東区立朝倉彫塑館	
5	朝倉文夫	たま(好日)	1930	ブロンズ	45.5×37.7×19.0	台東区立朝倉彫塑館	
6	朝倉文夫	仔猫の群	1927	ブロンズ	大:18.0×26.3×30.7 小:11.1×11.4×21.7	台東区立朝倉彫塑館	
7	朝倉文夫	よく獲たり	1946	ブロンズ	51.0×53.0×33.5	台東区立朝倉彫塑館	
8	朝倉文夫	眠り	1945	ブロンズ	13.0×37.7×34.7	台東区立朝倉彫塑館	
9	高山良策	盛りあがる海	1980	油彩・キャンバス	96.5×130.5	練馬区立美術館	
10	中川紀元	女と猫	1920	油彩・キャンバス	143.8×59.2	目黒区美術館	
11	今井俊満	黒猫と少女	1965	コラージュ・塗料・紙	65.0×50.0	目黒区美術館	
12	高野三三男	赤と黒のエチュード	1977	油彩・キャンバス	91.0×65.0	目黒区美術館	
13	高野三三男	黒猫をかく少女	制作年不詳	油彩・キャンバス	64.0×52.0	目黒区美術館	
14	石川寅治	仔猫	1927	油彩・キャンバス	100.0×80.3	板橋区立美術館	
15	山本日子士良	猫を抱く女	1986	油彩・キャンバス	194.0×130.5	板橋区立美術館	
16	葛飾北斎	伝神開手 一筆画譜(廿六丁)	制作年不詳	版本	24.0×16.0	すみだ北斎美術館	*前期
17	葛飾北斎	三体画譜(廿七丁)	制作年不詳	版本	半紙本	すみだ北斎美術館	*後期
18	葛飾北斎	北斎漫画 十四編(十五丁)	制作年不詳	版本	半紙本	すみだ北斎美術館	*前期
19	二代葛飾敏十	万職図考 二編(廿八丁)	制作年不詳	版本	半紙本	すみだ北斎美術館	*後期
20	魚屋北溪	酔竹進 狂歌歌七題七評合	制作年不詳	版本	半紙本	すみだ北斎美術館	*後期
21	柳川重信	日用心法鈔 後編上(五十八丁)	制作年不詳	版本	半紙本	すみだ北斎美術館	*前期
22	葛飾北斎	北斎漫画 十三編(廿丁~廿一丁)	制作年不詳	版本	半紙本	すみだ北斎美術館	*後期
23	葛飾北斎	絵本漢楚軍談 二編 六(十五~十六丁)	制作年不詳	版本	半紙本	すみだ北斎美術館	*前期
24	葛飾北斎	新編水滸画伝 九編 四十三(三~四丁)	制作年不詳	版本	半紙本	すみだ北斎美術館	*後期
25	葛飾北斎	唐子と川を渡る虎	制作年不詳	摺物	14.4×19.0	すみだ北斎美術館	*前期
26	葛飾北斎	八番つゝき 置こたつ	制作年不詳	版画	14.0×18.4	すみだ北斎美術館	*後期
27	市川甘斎	葛飾真草画譜 上	制作年不詳	画帖	24.2×33.6	すみだ北斎美術館	*前期
28	柴田是真	猫鼠を覗う図	1884	絹本着色	132.1×42.3	板橋区立美術館	
29	椿椿山	君子長命図	1837(天保8)	絹本着色	108.7×44.3	板橋区立美術館	
30	源鸞卿	鳳竹虎図	1806(文化3)	絹本着色	99.0×29.5	板橋区立美術館	
31	島琴陵	龍虎図	1847(弘化4)	絹本着色	各104.4×42.1	板橋区立美術館	
32	川端龍子	眠猫	1933	絹本彩色	66.5×85.8	大田区立龍子記念館	
33	川端龍子	虎の間	1947	紙本彩色	245.4×727.2 (六枚一面)	大田区立龍子記念館	
34	熊谷守一	猫	制作年不詳	木版・紙	44.4×36.3	すみだ北斎美術館	*前期
35	熊谷守一	すわる猫	制作年不詳	墨・紙	47.0×35.0	豊島区立熊谷守一美術館	
36	藤田嗣治	陶器 猫とねずみ	1948	陶器	33.0×20.0×6.0	目黒区美術館	
37	藤田嗣治	猫	制作年不詳	水彩・紙	17.0×13.0	目黒区美術館	
38	藤田嗣治	二匹の猫	1931	リトグラフ・紙	27.0×37.5	目黒区美術館	
39	藤田嗣治	裸婦と猫	1920-29	カルコグラフィー・紙	34.5×44.5	目黒区美術館	
40	藤田嗣治	猫のいる自画像	1926	ドライポイント・紙	32.5×24.5	目黒区美術館	
41	藤田嗣治	自画像	1927	カルコグラフィー・紙	44.4×34.0	目黒区美術館	
42	稲垣知雄	猫の化粧(C)	1955	木版・紙	46.0×32.0	世田谷美術館	
43	稲垣知雄	イスの猫	1951	木版・紙	53.5×41.0	世田谷美術館	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵者
44	稲垣知雄	猫の顔(7)	1967	木版・紙	53.5×40.4	世田谷美術館
45	稲垣知雄	猫の争い	1966	木版・紙	55.0×30.4	世田谷美術館
46	稲垣知雄	子猫の群像	1975	木版・紙	51.4×40.0	世田谷美術館
47	稲垣知雄	夕焼けの猫	1969	木版・紙	53.5×40.8	世田谷美術館
48	稲垣知雄	娘猫	1961	木版・紙	57.5×32.4	世田谷美術館
49	稲垣知雄	猫の親子	1969	木版・紙	34.5×24.8	世田谷美術館
50	稲垣知雄	黒猫	1974	木版・紙	8.2×11.5	世田谷美術館
51	稲垣知雄	深夜(月夜の猫(小))	1949	木版・紙	28.4×19.2	世田谷美術館
52	稲垣知雄	猫のアパート	1959	木版・紙	73.0×48.0	世田谷美術館
53	稲垣知雄	猫とコスモス	1974	木版・紙	15.0×10.0	世田谷美術館
54	稲垣知雄	箱入り猫	1970	木版・紙	15.0×10.0	世田谷美術館
55	稲垣知雄	猫面A	1974	木版・紙	15.0×10.0	世田谷美術館
56	稲垣知雄	猫の群像(4)	1975	木版・紙	39.0×46.5	世田谷美術館
57	稲垣知雄	猫の広場(夜)	1970	木版・紙	40.8×53.3	世田谷美術館
58	稲垣知雄	あうんの猫(あ)	1969	木版・紙	36.5×25.5	世田谷美術館
59	稲垣知雄	あうんの猫(うん)	1969	木版・紙	36.5×25.5	世田谷美術館
60	稲垣知雄	ボス猫(ア)	1972	木版・紙	53.0×43.0	世田谷美術館
61	稲垣知雄	猫の群歩	1960	木版・紙	43.6×58.0	世田谷美術館
62	竹原嘲風	猫 写生	1921	墨・紙	30.0×45.6	練馬区立美術館
63	竹原嘲風	猫 写生	1927	墨・紙	24.5×35.1	練馬区立美術館
64	オルネオーレ・メテッリ	猫のいる静物	1937	油彩・厚紙	41.0×56.5	世田谷美術館
65	オルネオーレ・メテッリ	楽師と猫	1937	油彩・キャンバス	75.0×55.0	世田谷美術館
66	フェルディナン・デスノス	猫(ミスキー、オーネ、トートー)	1948	油彩・キャンバス	55.9×38.2	世田谷美術館
67	木下晋	シロ	1988	鉛筆・ケント紙	50.0×99.8	目黒区美術館
68	ペリクレ・ファッツィーニ	猫	1946	ブロンズ	37.5×82.2×29.5	世田谷美術館
69	土方久功	小猫習作	1973	ブロンズ	7.5×44.5×19.0	世田谷美術館
70	中野素昂	猫	制作年不詳	石膏	0.0×23.0×30.0	豊島区
71-82	小野木学	「ねこの王様」挿絵原画	制作年不詳	アクリル・キャンバスボード	31.0×40.9ほか	練馬区立美術館
83	麻生三郎	猫(キイ)	1950年代	インク、水彩・紙	23.0×35.0	世田谷美術館
84	駒井哲郎	人のような猫	1961	ディープエッチング・紙	16.3×8.2	世田谷美術館
85	小熊秀雄	猫	1930年代	水彩、インク・紙	25.5×38.2	豊島区
86	加藤清美	闇の劇場 幕間	1990	リトグラフ・紙	34.3×45.0	練馬区美術館
87	笠原可雄	ねこ	1963	顔料・紙	52.4×44.0	豊島区
88	山下菊二	そこあざり	1955	油彩・キャンバス	80.2×64.3	豊島区

目黒区美術館開館35周年記念展 美術館はおもちゃ箱・道具箱

会期:2022年7月9日(土)~8月28日(日) 44日間
 会場:展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール
 主催:(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
 協賛:公益財団法人 北野生涯教育振興会
 協力:アトリエ ニキティキ
 入場者数:4,704人
 担当学芸員:重田正恵、佐川夕子



当館では美術作品のほかに、教材や資料にもいち早く目を向け積極的に収集し、教育普及だけでなく展示にも展開することで、人と作品との距離を一步近づけ、人と美術をつなぐものへと広げてきた。

本展は開館35周年を記念し、美術館を大切な収蔵品をいれる大きな箱と見立て、今では当館の活動になくてはならないツールとなっている「トイコレクション」「画家の画材・道具」「画材と素材の引き出し博物館」を中心に、当館のユニークな教材・資料のコレクションを紹介した。

展示構成は、「画家の画材・道具」、「画材と素材の引き出し博物館」、「トイコレクション」の3部立てとしたが、会場では、「画材と素材の引き出し博物館」が「画家の画材・道具」や、「トイコレクション」のコーナーに入り込むような展示を試み、来場者が自由に道具や画材、木製玩具を鑑賞しながら、その素材の特徴や構造がわかる実物見本を見られるようにした。

また、当館が収蔵する教材・資料を本展のように一堂に展示したのは初めてで、当館が教育普及活動を行う上で大事にしている美術作品と「能動的に関わる」ことへとつながる第一歩になった。

●カタログ

サイズ:22.1×22.1cm / 25ページ、図版カード18枚、シール1枚

デザイン・制作:アトリエタイク

内容:①ブックレット(目次:ごあいさつ/教材・資料のコレクションの成り立ち/〈リスト編〉1 トイコレクション・ワークショップコレクション/2 画家の画材・道具/3 画材と素材の引き出し博物館) ②図版カード:18枚 ③みつめてくんシール

●広報印刷物

ポスター B2/チラシ A3二つ折り

●関連催事

1. トイプレイコーナー

ナビゲーター:トイコレクションボランティアチーム/開催期間:会期中の土・日・祝日 13:00~16:00/参加人数:1,157人

2. 講演会「手と目で考える―目黒区美術館のユニークな教材」

講師:降旗千賀子(&4+do)/開催日:7月10日(日)/参加人数:33人

3. 講演会「画材の博物館―アトリエの画材」

講師:森田恒之(国立民族学博物館名誉教授)/開催日:7月23日(土)/参加人数:31人

4. 講演会「日本のキャンバス考」

講師:船岡廣正(元フナオカ・キャンバス製造元)、渡邊郁夫(修復研究所21所長)/開催日:7月30日(土)/参加人数:34人

●主要関連記事

1. 読売新聞『都内版』紹介記事 2022年8月15日
2. WEB『ウェブ版 美術手帖』展覧会レポート 2022年8月13日
3. ケーブルテレビ『地モトNEWS』学芸員作品紹介(動画) 2022年8月10日
4. FM サルース『トピック情報コーナー』2022年7月17日



カタログ



A3チラシ

出品リスト

凡例

- ・画材・道具の情報は、資料番号 | 資料名 | 材質の順に記載した。
- ・作品のデータは、出品番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ(cm) の順に記載した。
- ・全て目黒区美術館蔵。

●イーゼル(アトリエ用画架)

- 1 伊原宇三郎旧蔵 | 木製
- 2 成井弘旧蔵 | 木製
- 3 若山為三 | 木製
- 4 古沢岩美旧蔵 | 木製
- 5 伊原宇三郎旧蔵 | 木製

●アトリエキャビネット

アトリエ用絵具箱 伊原宇三郎旧蔵 | 木製

●伊原宇三郎旧蔵

- IU-001 パレット | 木製
 IU-002 パレット | 木製
 IU-003 パレット | 木製
 IU-004 パレット | 木製
 IU-005 スケッチ箱 | 木製、金具、金属の取っ手
 IU-006 スケッチ箱 | 木製、金具、金属の取っ手
 IU-007 スケッチ箱[河内洋画材料店製] | 木製、金具
 IU-008 スケッチ箱[文房堂製] | 木製、金具、革の取っ手
 IU-009 スケッチ箱[文房堂製] | 木製、金具、革の取っ手
 IU-010 スケッチ板携帯箱(板2枚用) | 木製、金具、金属の取っ手 / 板2枚
 IU-011 スケッチ板携帯箱(板3枚差し用) | 木製、金具、革の取っ手
 IU-012 スケッチ板携帯用木枠(板2枚用) | 木製、金具、金属の取っ手 / 板2枚
 IU-013 スケッチ板携帯箱(板16枚差し用)[文房堂製] | 木製、金具、革の取っ手 / 板15枚
 IU-014 スケッチ板携帯箱(板8枚差し用)[文房堂製] | 木製、金具、金属の取っ手 / 板8枚
 IU-015 スケッチ板携帯箱(板3枚差し用)[文房堂製] | 木製、金具、革の取っ手 / 板3枚
 IU-016 スケッチ板携帯用木枠(板2枚用) | 木製、金具
 IU-017 脚付きスケッチ箱 | 木製、金具
 IU-018 卓上イーゼル | 木製、金具
 IU-019 オーバル型キャンバス用木枠 | 木
 -020
 IU-025 画溶液
 -029
 IU-025 ワニス Lefranc製
 IU-026 ポピーオイル Van Gogh製
 IU-027 ワニス Lefranc製
 IU-028 ワニス Lefranc製
 IU-029 シッカチーフ(乾燥促進剤) Lefranc製
 IU-030 筆[127本]
 IU-031 筆立て(ガラス)[6個] | ガラス
 IU-032 ペインティングナイフ[18本] | 金属、木
 IU-033 絵具 チューブ入り
 IU-034 ペン、竹ペンなど | 竹、木、金属
 -038
 IU-039 キャンバスクリップ、クリップなど | 金属、木
 IU-040 パステル 木箱入り(大)
 IU-041 パステル 木箱入り[4個]
 -044
 IU-045 コンテ ケース入り
 IU-046 木炭、擦筆など
 IU-047 色見本[2種] (1) 厚紙、絵具 (2) キャンバス、絵具
 -048
 IU-049 キャンバス用木枠 | 木
 IU-050 キャンバスボード、画板など
 参考出品 ・木炭ばさみ ・長い筆(2種) ・腕鎮
 ・コンパス ・キャンバス地(ロール)

●岡田謙三旧蔵

- OK-001 パレット | 木製
 OK-002 スケッチ箱(折り畳み式/パレット付き) | 木製、金具
 OK-003 水彩パレット(小型) 金属ケース入り
 OK-004 筆[57本]
 OK-005 筆立て(段ボール箱製) | 段ボール紙
 OK-006 刷毛[6本]

OK-007 絵具皿[8個] | 金属(缶の蓋)

OK-008 絵筆の代わりに使ったもの(木片、紙片、ペインティングナイフ、ヘラ、ローラー) | 木、紙など
-016

OK-017 パイプ(アトリエ関連小物) | 木製、金属

OK-018 針のオブジェ1-5
-022

1:まち針19本、画紙2本、ピン2本、木の板

2:三角筆の木と針19本、ボード

3:紡錘形の木と針15本、ボード

4:丸い木と針18本、ボード

5:小さい丸い木と針16本、ボード

OK-023 小さい人形のオブジェ(アトリエ関連小物) | 人形、針金、板

●川村清雄旧蔵

KK-001 T型定規[4本] | 木製 | ①160.0×47.0×1.4 ②90.8×31.6×1.4 ③76.0×28.2×1.3 ④56.8×26.8×1.3

KK-002 定規[2本] | 木製 | ①136.0×7.8×0.6 ②30.3×4.0×0.4

KK-003 雲形定規[4個] | 木製 | ①44.4×4.5×0.2 ②12.0×5.0×0.2 ③9.3×4.0×0.2 ④12.5×4.3×0.2

KK-004 パレット | 木製 | 33.5×24.0

KK-005 スケッチ箱 | 木製、金具、革の取っ手付き | 36.5×26.5×7.6(金具等含まず)

KK-006 絵具[5個]チューブ入り

●高野三三男旧蔵

KM-001 スケッチ箱 | 木製、金具、金属の取っ手付き

●里見勝蔵旧蔵

SK-001 六角形のパレット | 木、紐

SK-002 筆・ペインティングナイフなど[17本]

SK-003 ペンキ缶(筆立て) | 金属

SK-004 オブジェ(紙の家) | 紙、彩色

SK-005 オブジェ(木) | 木、彩色

●田中佐一郎旧蔵

TS-001 折り畳み式パレット | 木製、金具

TS-002 パレット | 木製

TS-003 筆・刷毛・ペインティングナイフ[30本]
-005

TS-006 筆立て(ガラス) | ガラス

TS-007 スケッチ箱(板絵1枚付き) | 木製、金具、革の取っ手

●中村義夫旧蔵

NY-001 パレット | 木製

NY-002 筆[40本]各種40本

●森田恒友旧蔵

MT-001 スケッチ板携帯箱(板6枚差し用) | 木製、金具、革の取っ手 / 板2枚

MT-002 折りたたみ式椅子[2種] | (1)金属、布 (2)木、革
-003MT-004 溶液入れ[2種] | 金属
-005MT-006 キャンバス携帯ベルト[2個]
-007

●トランク(旅行鞆)

1-6 伊原宇三郎 旧蔵

7 中村義夫 旧蔵

8 中村義夫 旧蔵

9 伊原宇三郎 旧蔵

■目黒区美術館 所蔵作品より

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
作品1	岡田謙三	三つの四角形	1970	油彩・キャンバス	206.5×132.0
作品2	岡田謙三	エスキース	制作年不詳	コラージュ	①151.5×111.3×6.6 ②56.3×81.2×5.9 ③56.3×115.2×6.1 ④141.4×161.4×7.6
作品3	中村義夫	手押し車	1921-26年頃	油彩・キャンバス	54.6×46.4
作品4	田中佐一郎	静物	1932-33	油彩・キャンバス	38.0×45.5
作品5	田中佐一郎	人物	1932-33	油彩・キャンバス	45.5×53.0
作品6	里見勝蔵	少年	1920-30年頃	油彩・キャンバス	80.6×65.4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
作品7	高野三三男	花と鉢【未完】	制作年不詳	油彩・キャンバス	41.8×27.0
作品8	高野三三男	静物	制作年不詳	油彩・キャンバス	41.0×32.0
作品9	高野三三男	道化師 H	制作年不詳	油彩・ボード	45.5×37.8
作品10	藤田嗣治	家族	1948	油彩・キャンバス	45.0×37.0
作品11	藤田嗣治	人形	1935(版上サイン)/1946(書込サイン)	木版・紙	23.0×17.0
作品12	藤田嗣治	円形テーブル	1920年代	象版、木	H.50.5, φ60.0
作品13	伊原宇三郎	アヴィニオンの廃跡	1926年頃	油彩・キャンバス	54.2×65.0
作品14	森田恒友	風景	1915	油彩・キャンバス	45.6×54.9
作品15	川村清雄	ベネチア風景	1920-34年頃	油彩、水性絵具・板	38.3×121.8×2.8
作品16	川村清雄	まな・あらな	1912-26	油彩・絹本	36.3×72.7
作品17	川村清雄	水差し	1875	鉛筆、黒鉛・紙	29.5×48.0
作品18	武内鶴之助	雲	1910-12年頃	パステル・紙	24.5×33.0
作品19	小川千夏	セーブルの風景	1913	水彩・紙	35.2×20.2

【画材と素材の引き出し博物館】

凡例

- ・資料のデータは、資料番号 | 資料名の順に記載した。
- ・「画材の引き出し博物館」のうち、通し番号1,2,3,4,5,7,11,12 のタイトルを2020年に改訂した。資料名の後の()内に旧名称を付した。
- ・本リストは、本展で展示していない引き出しも含めて記載した。
- ・情報末尾に「*」印をつけた引き出しは、「さわれる実物資料」として制作されたものである。
- ・全て目黒区美術館蔵。

画材の引き出し博物館

- 日本の色材—天平の色 (旧タイトル:天然顔料[天平の色・日本画])
 - 日本画の色材—天然岩絵具(粒子径の違い) (旧タイトル:天然顔料[現代の天然岩絵具・日本画])
 - 西洋の色材—14・15世紀イタリアの色 (旧タイトル:天然顔料[西洋画])
 - 日本画の色材—新岩絵具 (旧タイトル:人工顔料[新岩絵具・日本画])
 - 現代の色材—合成顔料他 (旧タイトル:人工顔料[西洋画])
 - 練り剤による色味の違い
 - 日本画の色材—絵具 (旧タイトル:絵具[日本画])
 - 油絵具の昔と今[油彩画]
 - にかわ
 - 画用液
 - 水彩絵具 (旧タイトル:絵具[水彩画])
 - 合成樹脂絵具 (旧タイトル:絵具[合成樹脂絵具])
 - 木炭・コンテ
 - 鉛筆
 - パステル
 - クレヨン・オイルパステル
 - 色鉛筆
 - 筆の原料
 - 筆[日本画]
 - 刷毛[日本画]
 - 筆[西洋画]
 - 刷毛[西洋画]
 - 支持体[日本画]
 - 支持体[フレスコ画]
 - 支持体[テンペラ画]
 - 支持体[油彩画]
 - 水彩画用紙
 - パステル画用紙
 - 顔料から絵具へ[西洋画]
- 【参考出品】
 [色材になる鉱物]
 藍銅鉱(アズライト)、孔雀石(マラカイト)

素材の引き出し博物館-木

- 木の表情—日本の木
- 木の表情—世界の木

- 3 木の表情—時の刻印1
- 4 木の表情—時の刻印2
- 5 木からモノへ—木からとれる色
- 6 木からモノへ—樹皮
- 7 木からモノへ—木肌と仕上げ
- 8 木からモノへ—繊維特性 ※本展では展示せず(修理中)
- 9 木のモノ—食
- 10 木のモノ—遊
- 11 さまざまな木*
- 12 不思議な木の玉*
- 13 樹皮のついた木片* ※本展では展示せず
- 14 木挽の工程* ※本展では展示せず
- 15 ツゲ櫛の工程* ※本展では展示せず
- 16 キリ下駄の工程* ※本展では展示せず

素材の引き出し博物館-紙

- 1 紙以前—パピルス・バイラーン
- 2 紙以前—パーチメント(羊皮紙)
- 3 紙以前—アマテ紙
- 4 紙以前—タパ
- 5 日本の手すき紙—こうぞ紙
- 6 日本の手すき紙—みつまた紙
- 7 日本の手すき紙—がんび紙
- 8 世界の手すき紙—中国
- 9 世界の手すき紙—韓国
- 10 世界の手すき紙—ネパール・インド
- 11 世界の手すき紙—イタリア
- 12 世界の手すき紙—フランス
- 13 機械すき紙—洋紙の原料
- 14 機械すき紙—型押し
- 15 紙の表情—すき込み
- 16 紙の表情—透かし
- 17 紙の表情—和紙の形1
- 18 紙の表情—和紙の形2
- 19 紙の表情—洋紙の形1
- 20 紙の表情—洋紙の形2
- 21 日本の手すき紙* ※本展では展示せず

素材の引き出し博物館-金属

- 1 いろいろな金属—鉱石と金属1
- 2 いろいろな金属—鉱石と金属2
- 3 金属の表情—表面処理1
- 4 金属の表情—表面処理2
- 5 金属の特性—展延性1
- 6 金属の特性—展延性2
- 7 金属の特性—熱・電気伝導性
- 8 金工技法1—接合と切断
- 9 金工技法2—彫金
- 10 金工技法3—鍍金
- 11 金工技法4—鍛金
- 12 金工技法5—鍛造
- 13 金属のモノ1遊* ※本展では展示せず
- 14 金属のモノ2 音* ※本展では展示せず
- 15 金属のモノ3* ※本展では展示せず

【トイコレクション・ワークショップコレクション】

凡例

・資料のデータは、資料番号 | 資料名 | 作家名(個人) | 制作(団体) | 制作年 の順に記載した。

・資料番号は、受け入れ順を基にした本資料の整理番号を記載した。

・作家名(個人)は、オリジナルを制作したデザイナー名を、制作(団体)は、商品化、製品化に当たった団体名を、受け入れた時点での名称で記した。また、海外のものは()内に国名を記載した。

・制作年は、プロダクト製品の場合は販売開始年を記載した。デザインされた年が異なる場合は / の後に併記した。

- 1 ネフスピール | クルト・ネフ | Naef AG / ネフ(スイス) | 1958/1956 | 木(カエデ)
- 2 リグノ | ベーター・シュミット | Naef AG / ネフ(スイス) | 1962/1958 | 木(カエデ)
- 3 ムルティウリ | ヨハネス・シャルフエンシュタイン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1974 | 木(カエデ)
- 4 アニマルバズル | フーバー・奨 | Naef AG / ネフ(スイス) | 1981/1966 | 木(ブナ)
- 5 ワンウェイバズル | ヘンリ・アダムス | Naef AG / ネフ(スイス) | 1981 | 木
- 6 セラ | ペア・クラーセン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1980/1967 | 木(カエデ)
- 7 キュービックス | ペア・クラーセン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1968/1965 | 木(カエデ)
- 8 ダイアモンド | ペア・クラーセン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1981/1966 | 木(カエデ)
- 9 ロンバス3 | ペア・クラーセン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1982/1967 | 木
- 10 アンゲラ | ペア・クラーセン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1970/1965 | 木(カエデ)
- 11 オルディノ | ペア・クラーセン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1970/1969 | 木
- 12 イクス | ペア・クラーセン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1976/1975 | 木(ブナ)
- 13 モデュロン | ヨー・ニーマイヤー | Naef AG / ネフ(スイス) | 1985 | 木
- 14 バウハウス バウスピール | アルマ・ジートホフ・ブッシュャー | Naef AG / ネフ(スイス) | 1977/1923 | 木
- 15 カスカド | ウルリッヒ・ナミスロウ | Naef AG / ネフ(スイス) | 1985 | 木
- 16 モザイク | カトリーン・キーナー | Naef AG / ネフ(スイス) | 1987 | 木(カエデ)
- 17 オルナボ | フーベルト・ツィマーマン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1966 | 木(カエデ)
- 18 タリス | ペア・クラーセン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1983/1972 | 木(ブナ)
- 19 モッティーボ | フーバー・奨 | Naef AG / ネフ(スイス) | 1979 | 木(ブナ)
- 20 ペンタルビ | エム・グベリ | Naef AG / ネフ(スイス) | 1980 | 木(カエデ)
- 21 コロリ | マルセル・アッシュヴァンテン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1978 | 木、金属
- 22 クニフ | マンフレッド・ツィプフェル、コルデュラ・フォン・テッタウ | Naef AG / ネフ(スイス) | 1980 | 木
- 23 ジェミニ | 別宮利昭 | Naef AG / ネフ(スイス) | 1981 | 木(トチ)
- 24 マナゴン | ヨースト・ハニー | Naef AG / ネフ(スイス) | 1974 | 木(クルミ、カエデ)
- 27 コンツラ | マンフレッド・ツィプフェル、コルデュラ・フォン・テッタウ | Naef AG / ネフ(スイス) | 1979 | 木(カエデ)
- 28 イゾラ | クリステル・ホルムグレン、クリスター・ホルムグレン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1982 | 木
- 29 プラニモ | ゲルハルト・ファン・シュトラーテン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1975 | 木、紙
- 30 カンパニール | マンフレッド・ツィプフェル、コルデュラ・フォン・テッタウ | Naef AG / ネフ(スイス) | 1979 | 木(カエデ、ブナ)
- 31 オクタゾン | ペア・クラーセン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1984/1971 | 木
- 32 バウハウス コマ・チェス盤 | ヨーゼフ・ハルトヴィック | Naef AG / ネフ(スイス) | 1981/1923 | 木
- 33 ひもとおしらぐだ、ライオン、ボニー、羊 | フレド・シャプール | Naef AG / ネフ(スイス) | 1970頃 | 木、紐
- 34 タッチテスト | クルト・ネフ | Naef AG / ネフ(スイス) | 1970頃 | 木、紙、その他
- 35 ネフ 玉の塔 | ハンスペーター・ルティ | Naef AG / ネフ(スイス) | 1976 | 木(ブナ)、ガラス玉
- 36 ロールバーン | ロジャー・リムブリック、マイク・アイレス | Naef AG / ネフ(スイス) | 1978 | 木
- 37 人形の家 | ペア・クラーセン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1972/1962 | 木(カエデ)
- 38 人形の家 家具(居間、食堂、寝室、風呂) | ペア・クラーセン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1972/1964 | 木(カエデ)
- 39 ホルツドミノ | 不明 | Naef AG / ネフ(スイス) | 1985 | 木
- 40 コ・オルディ | ハンスペーター・ルティ | Naef AG / ネフ(スイス) | 1977 | 木
- 41 サーベンティーノ | フレド・シャプール | Naef AG / ネフ(スイス) | 1981 | 木(合板)、コルク、ガラス
- 42 パンタオ | ペア・クラーセン | Naef AG / ネフ(スイス) | 1974/1972 | 木
- 43 ニック | オットリノ・モナスティーレ | Naef AG / ネフ(スイス) | 1970頃 | 木
- 44 チタ | ザビエル・デ・クリップレー | Naef AG / ネフ(スイス) | 1985 | プラスチック
- 45 ヨーヨーブティック | 田尻裕敏 | Naef AG / ネフ(スイス) | 1984 | 木、紐
- 46 触察ボードA | 小黒三郎 | 遊プラン | 1978 | 木(ボード・箱: シナ合板、ブロック: カバザクラ)
- 47 触察ボードB | 小黒三郎 | 遊プラン | 1978 | 木(ボード・箱: シナ合板、ブロック: カバザクラ)
- 48 触察ボードC | 小黒三郎 | 遊プラン | 1978 | 木(ボード・箱: シナ合板、ブロック: カバザクラ)
- 49 4つの箱のキューブ | 小黒三郎 | 遊プラン | 1981 | 木(箱: ヒノキ、ブロック: ナラ)
- 50 銀杏びな2段飾り | 小黒三郎 | 遊プラン | 1984 | 木(ナラ)
- 51 ダイスボックス | 加藤裕三 | 遊プラン | 1983 | 木(ナラ)
- 52 5匹の仔ブタ | 小黒三郎 | 遊プラン | 1979 | 木(ナラ)
- 53 ネコの家族 | 小黒三郎 | 遊プラン | 1979 | 木(ナラ)
- 54 3頭のライオン | 小黒三郎 | 遊プラン | 1976 | 木(ナラ)
- 55 30の動物 | 小黒三郎 | 遊プラン | 1978 | 木(ナラ)
- 56 動物バズル(汽車) | 小黒三郎 | 遊プラン | 1977 | 木(シナ合板)
- 57 動物バズル(汽船) | 小黒三郎 | 遊プラン | 1977 | 木(シナ合板)
- 58 くるっくろん | 水上喜行 | 遊プラン | 1985 | 木、ガラスの玉
- 59 木の動物たち | ハンス・ユルゲン・ジーバース | Spiel Form / スピール フォーム(ドイツ) | 1964 | 木

- 60 街の小さな建築家 | Dusyma KG / デュシマ(ドイツ) | 1975 | 木(ブナ)
- 61 不思議なモザイク | ヨハネス・シャルフェンシュタイン | Dusyma KG / デュシマ(ドイツ) | 1972 | 木(ブナ)
- 62 みんなともだち | ブルーノ・ムナリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1983 | 紙
- 63 童話あそび | エンツォ・マリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1965 | 紙
- 64 16の動物 | エンツォ・マリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1957 | プラスチック(オリジナルは木)
- 65 16の魚 | エンツォ・マリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1974 | プラスチック(オリジナルは木)
- 66 お絵描きカード | エンツォ・マリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1978 | 紙
- 67 パノラマ構成 | ジョバンニ・ベルグラーノ | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1974 | 木
- 68 葉っぱをつけよう(木) | ブルーノ・ムナリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1975 | 紙、ゴム
- 69 葉っぱをつけよう(つた) | ブルーノ・ムナリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1975 | 紙、ゴム
- 70 ABCを組み立てよう | ブルーノ・ムナリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1960 | 塩化ビニール
- 71 カード遊び | ブルーノ・ムナリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1968 | 紙
- 72 迷路遊び | ブルーノ・ムナリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1973 | 紙
- 73 プラス・マイナス | ブルーノ・ムナリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1970 | 塩化ビニール
- 74 スライド | ブルーノ・ムナリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1959 | セロハン、塩化ビニール
- 75 構成 | ブルーノ・ムナリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1972 | 紙
- 76 変化 | ブルーノ・ムナリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1975 | 紙
- 77 実物像 | ブルーノ・ムナリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1976 | 紙
- 78 あてっこしよう | ブルーノ・ムナリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1979 | 紙
- 79 本に出会う前の本 | ブルーノ・ムナリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1979 | 木、紙、布、ビニール
- 80 ハードツリー | 福田繁雄 | 1965 | 木(カツラ)
- 81 ホーム | 福田繁雄 | 1967 | 木(カツラ)
- 82 卵の中の6羽の鳥 | 福田繁雄 | 1966 | 木(カツラ)
- 83 陶器のバズル 立方体 | 有岡進 | 1986 | 陶土
- 84 陶器のバズル 円錐 | 有岡進 | 1986 | 陶土
- 85 キュービック アニマル くま | 梅田素博 | 1983 | 木、布
- 86 キュービック アニマル だちよう | 梅田素博 | 1983 | 木、布
- 87 テラノザウルス | 平野友一 | 1985 | 合成紙(ユボ紙)
- 88 プロトケラトプス | 平野友一 | 1985 | 合成紙(ユボ紙)
- 89 プテラノドン | 平野友一 | 1985 | 合成紙(ユボ紙)
- 90 ひなとたまご | 中川久嗣 | 1985 | 木(たまご: セン、ひな: チーク、パンゼールローズ)
- 91 引き出し自動車 | 中川久嗣 | 1985 | 木(チーク)
- 92 トレーラーと組立て家屋 | 中川久嗣 | 1985 | 木(チーク、セン、ヒノキ、ケヤキ、ペイマツ、ウォールナット)
- 93 デコイ | 中川久嗣 | 1985 | 木
- 94 ミゼット | 中川久嗣 | 1985 | 木(チーク)
- 95 チューリップ | 古渡章 | 1988 | 木(ヒバ)
- 96 K30(大) | 遠藤裕 | きずな工房 | 1984 | 木(シナ合板)、紐
- 97 K30(小) | 遠藤裕 | きずな工房 | 1984 | 木(シナ合板)、紐
- 98 雪の結晶 | 遠藤裕 | きずな工房 | 1984 | 木(シナ合板)、紐
- 99 ランビック アニマルズ | 遠藤裕 | きずな工房 | 1983 | 木(セン、タモ、チーク)、紐
- 100 ジグワールド | 飛山裕幸 | 1986 | 木(カバザクラ)
- 101 すとん | 飛山裕幸 | 1988 | 木(チーク、カバ、カキ、パドック、クルミ、ニヤトー)
- 102 根っこの樹 | 吉崎元造 | 1982 | 紙
- 103 コントラクツリー | 吉崎元造 | 1982 | 紙
- 104 ジャンゴの城 | 吉崎元造 | 1990 | 紙
- 105 自由への目論見 | 菅沼緑 | 1988 | 木(カシ、コクタン、パドック、チーク、ウェンジ、カリン)
- 106 自由の種類 | 菅沼緑 | 1988 | 木(ナラ、カシ、サクラ、クワ、カエデ、コクタン、パドック、チーク、ブラックウォールナット)
- 107 吉本直貴の立方体-1 | 吉本直貴 | 1971 | プラスチック
- 108 吉本直貴の立方体-2 | 吉本直貴 | 1971 | プラスチック
- 109 吉本直貴の立方体-3 | 吉本直貴 | 1971 | プラスチック
- 110 51本 組木 | 山中成夫 | 山中組木工房 | 1966 | 木(ホウノキ)
- 111 19本 組木 | 山中成夫 | 山中組木工房 | 1966 | 木(ホウノキ)
- 112 6本 組木 | 山中成夫 | 山中組木工房 | 1960 | 木(ホウノキ)
- 113 赤玉 | 山中成夫 | 山中組木工房 | 1960 | 木(ホウノキ)
- 114 オリマルズ | 田代耕司 | 1980 | 紙
- 115 キャンディシップ | 広井敏通 | 1985 | 紙
- 116 鳩笛 | 柳宗理 | 柳工業デザイン研究会 | 1968 | 木(カエデ)
- 117 かめ | 柳宗理 | 柳工業デザイン研究会 | 1965 | 木(カエデ)
- 118 樹々のつみ木 | 海馬室内木地製作所 | 1978 | 木(イチイ、トドマツ、エゾマツ、カラマツ、オニグルミ、シラカバ、マカンバ、ミズナラ、ハルニレ、カツラ、ホオノキ、キハダ、イタヤカエデ、ハンノキ、セン、ヤチダモ、シナノキ、イヌエンジュ)
- 119 イタヤキツネ | 秋田県角館町 | 木(イタヤカエデ)
- 120 カラーフォーム | Colorforms / カラーフォーム(アメリカ) | 1951 | 紙、ビニール
- 121 カードの家 | チャールズ&レイ・イームズ | ニューヨーク近代美術館 | 1952 | 紙
- 122 シーソー | エンツォ・マリー | Danese / ダネーゼ(イタリア) | 1961 | 紙
- 123 トラック | Schleich / シュライヒ(ドイツ) | プラスチック
- 124 スポーツワーゲン | Schleich / シュライヒ(ドイツ) | プラスチック

- 125 エアプレーン|Schleich / シュライヒ(ドイツ)|プラスチック
- 126 オート三輪|Schleich / シュライヒ(ドイツ)|プラスチック
- 127 幌付きカー|Schleich / シュライヒ(ドイツ)|プラスチック
- 128 ミニエアプレーン|Schleich / シュライヒ(ドイツ)|プラスチック
- 129 サイドカー|Schleich / シュライヒ(ドイツ)|プラスチック
- 130 ワーゲン|Schleich / シュライヒ(ドイツ)|プラスチック
- 131 鳥の親子|アントニオ・ヴィターリ|Schaaf Spielzeug / シャーフ(ドイツ)|1984-1993|木(マツ)
- 132 あひるの車|アントニオ・ヴィターリ|Schaaf Spielzeug / シャーフ(ドイツ)|1984-1993|木
- 133 羊|アントニオ・ヴィターリ|Schaaf Spielzeug / シャーフ(ドイツ)|1984-1993|木(ブナ)
- 134 子羊|アントニオ・ヴィターリ|Schaaf Spielzeug / シャーフ(ドイツ)|1984-1993|木(ブナ)
- 135 とり|アントニオ・ヴィターリ|Schaaf Spielzeug / シャーフ(ドイツ)|1984-1993|木(ブナ)
- 136 さかな|アントニオ・ヴィターリ|Schaaf Spielzeug / シャーフ(ドイツ)|1984-1993|木(ブナ)
- 137 木のお城|マリオ・フィスター|M&E Pfister / フィスター(スイス)|1984-1993|木(トネリコ)
- 138 ビラニア|遠藤裕|きずな工房|木
- 139 きずな 多面体|遠藤裕|きずな工房|木
- 140 紫陽花|遠藤裕|きずな工房|1993|木
- 141 ディアボ|フレッド・ボス|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|1995|木
- 142 パウハウス カラーコマ|ルートヴィヒ・ヒルシュフェルト・マック|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|1977/1924|木、紙、金属
- 143 アークレインボウ|ハイコ・ヒリック|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|1996|木(カエデ合板)
- 144 エレメント|田松昌三|Chelona Ltd. / チェローナ(ギリシャ)|木
- 145 トライアングル|田松昌三|Chelona Ltd. / チェローナ(ギリシャ)|木(合板)
- 146 ムンツの積み木|マティアス・ムンツ|E.W.Munz & Co. / ムンツ(ドイツ)|1970|木(ブナ)
- 147 フレーベル積み木|フリードリヒ・フレーベル|Dusyma KG / デュシマ(ドイツ)|1952|木(ブナ)
- 148 キュービクス1968-1993|ベア・クラーセン|Teunen & Teunen / トイネントイネン(ドイツ)|1968/1965|木、石、布
- 149 プリスマ|ベア・クラーセン|Naef AG / ネフ(スイス)|1969/1963|木
- 150 クアドラ|ベア・クラーセン|Naef AG / ネフ(スイス)|1969/1963|木
- 151 オルディノ(旧タイプ)|ベア・クラーセン|Naef AG / ネフ(スイス)|1970頃/1969|木
- 152 プレスス 21/Q acr|ベア・クラーセン|株式会社アウラ(日本)|2004/1992|木(ウエンジ)、アクリル
- 153 ポスター krist ist kristall stall tel all|ベア・クラーセン|1988|版画、紙
- 154 フリックスケープ S-601|矢萩喜徳郎|idic co.,Ltd.japan|紙
- 155 積木C|Renate Gerbitz GmbH / レナーテ(ドイツ)|1995|石
- 156 アンカー積木 No. 6|Anker Steinbaukasten / アンカー(ドイツ)|1995|石
- 157 農家|アントニオ・ヴィターリ|Ravensburger / ラベンスバーガー(ドイツ)|1956|木
- 158 ビルディング ブロックス|アントニオ・ヴィターリ|Naef AG / ネフ(スイス)|1961|木
- 159 バッタ引き車|ALBISBRUNN / アルビスブラン(スイス)|木(カエデ)
- 160 キュボロ スタンダード|CUBORO / キュボロ(スイス)|1985|木
- 161 ジュバ|ザビエル・デ・クリップレー|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|1983|木(カエデ)、樹脂、ゴム
- 162 チョーブ|ハイコ・ヒリック|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|1998|木(カエデ)
- 163 ウォッシュボード|クリステル・ホルムグレン、クリスター・ホルムグレン|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|1979|木(カエデ)、繊維(ヒモ)
- 164 エリブソ|ザビエル・デ・クリップレー|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|1983|木(カエデ)、樹脂
- 165 ひもともしもむし 青|BREITSCHWERDT HOLZSPIELZEUG / ブライトシュ ペルツ(ドイツ)|木、ゴム
- 166 ヘキサグラム|ウルリッヒ・ナミスロウ|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|1990|木
- 167 たま|フーゴ・キューケルハウス|MEISTERGILDE / マイスターギルデ社(ドイツ)|木
- 168 M-I|フーゴ・キューケルハウス|MEISTERGILDE / マイスターギルデ社(ドイツ)|木
- 169 わ・A|フーゴ・キューケルハウス|MEISTERGILDE / マイスターギルデ社(ドイツ)|木
- 170 わ・C|フーゴ・キューケルハウス|MEISTERGILDE / マイスターギルデ社(ドイツ)|木
- 171 サーキューブス|ウルリッヒ・ナミスロウ|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|1986|木
- 172 カレー|ベア・クラーセン|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|1987/1967|木
- 173 MUGEN TSUMIKI|ニチガン(日本)|1987|木
- 174 いぬ(引き車)|アントニオ・ヴィターリ|Schaaf Spielzeug / シャーフ(スイス)|1984|木、ひも
- 175 コマ・オプトリック|ハイコ・ヒリック|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|2000|木
- 176 木のコマ|ユルグ・ネフ|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|木(洋ナシ・カエデ・サクラ・クルミ・スモモ)
- 177 イカモ|ハイコ・ヒリック|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|2002|木
- 178 イマーゴ|ハイコ・ヒリック|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|1999|木
- 179 クアドリゴ|ジャン・フィリップ・ロッシネリ|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|1991|木
- 180 テクタス|ヨー・ニーマイヤー|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|2008/1996|木
- 181 パウハウススティックスピール|パウハウス|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|1996/1926-1930|木、金属
- 182 マグネフ|オミリ・ロスチャイルド|Naef Spiele AG / ネフ(スイス)|1989|樹脂、鉄、磁石

コレクション解体新書Ⅰ フジタが目黒にやって来た—作品収集のあゆみ—

会期：2022年10月8日(土)～11月20日(日) 38日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

入場者数：6,429人

担当学芸員：菅田あゆみ、山田真規子



開館35周年を記念し、長年にわたる当館の作品収集の歴史を振り返った。1981年度第1回資料収集委員会で収得が承認された藤田嗣治《動物群》を本展のメインビジュアルに据え、展覧会タイトルには、本作を皮切りに当館のコレクション形成が始まったという意味を込めた。

現在約2,500点に上る収蔵作品より、当館の収集方針に沿った代表的な作品や、展覧会の開催を機に収集に至った作品を中心に展示した。あわせて、そもそも美術館の収蔵品とは何か、作品はどのように収集されるのかといった、コレクション形成の仕組みについても解説パネルで紹介した。

展示を鑑賞する中で、作家や作品についてのみならず、美術館の舞台裏や当館のこれまで歩んできた道のりも知っていただける内容の展示となった。

●広報印刷物

ポスター B2／チラシ A4

●関連催事

1. ミュージアムコンサート「パリを歩くavec Fujita—

出演：村田正樹(タップダンサー)、菅野淳史(トランペット)、オオサキゲンタ(ギター)、白石美徳(ドラム)／開催日：11月6日(日)

①13:00～14:00 ②15:00～16:00／参加人数：①35人、②36人

2. 大人のための美術カフェ「コレクション解体新書Ⅰフジタが目黒にやってきた—作品収集のあゆみ—」

ナビゲーター：菅田あゆみ(当館学芸員)／開催日：11月19日(土)／参加者：28人

●主要関連記事

1. 産経新聞「東京プラス」2022年10月21日

2. 読売新聞「TOKYO ウィークエンド」2022年10月28日

3. じゃらんnet、JR他各WEB サイト「おでかけ情報」2022年9月14日公開

4. 美術展ナビ ぴあアプリ(WEB) 2022年10月5日公開



A4チラシ

出品リスト

凡例

・出品作品は、章ごとに分けて記載した。

・作品のデータは、出品番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ(cm) | 取得情報の順に記載した。

・全て目黒区美術館蔵。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	取得情報
第1章 フジタが目黒にやって来た(1981~1986年)						
1-1	藤田嗣治	動物群	1924	油彩・キャンバス	120.7×169.8	1981年度 購入
1-2	太田三郎	カナベに凭る	1928	油彩・キャンバス	74.5×87.0	1982年度 購入
1-3	田中保	金髪の裸婦	1920-30年頃	油彩・キャンバス	107.0×109.9	1982年度 購入
1-4	鈴木誠	室内群像	1930	油彩・キャンバス	166.0×198.0	1983年度 鈴木正治氏 寄贈
1-5	安井曾太郎	パリの公園	1911	油彩・キャンバス	47.0×54.8	1983年度 購入
1-6	中村茂夫	雨仏	1921-26年頃	油彩・キャンバス	104.8×89.8	1983年度 中村一雄氏 寄贈
1-7	栗原忠二	ロンドン国会議事堂	1926年頃	油彩・キャンバス	101.2×121.9	1982年度 購入
1-8	大久保作次郎	マンドリンを弾く少女	1927	油彩・キャンバス	120.0×100.6	1983年度 購入
1-9	北道蔵	コンセルジュ	1929	油彩・キャンバス	159.5×128.0	1983年度 購入
1-10	鈴木良三	クラマールの寺院	1931	油彩・キャンバス	99.4×83.5	1983年度 購入
1-11	溝谷國四郎	ブルターニュ	1913	油彩・キャンバス	66.0×75.0	1982年度 購入
1-13	坂田一男	浴室の二人の女	1928	油彩・キャンバス	102.2×83.0	1984年度 購入
1-14	澤部清五郎	アトリエにて	1912	油彩・キャンバス	61.0×50.5	1984年度 澤部つた氏 寄贈
1-15	国松桂溪	静物	1920-24年頃	油彩・キャンバスボード	40.8×45.8	1984年度 購入
1-16	大橋了介	町外れの家	1927-33	油彩・キャンバス	73.8×85.8	1984年度 購入
1-17	角浩	サンスの寺院	1939	油彩・キャンバス	65.0×53.0	1984年度 購入
1-18	近藤吾朗	キヤーニュ・シュール・メールの家	1957	油彩・キャンバス	93.2×118.5	1984年度 東江道夫氏 寄贈
1-19	岡鹿之助	信号台	1926	油彩・キャンバス	65.5×73.2	1985年度 購入
1-20	村井正誠	アラブの店	1929	油彩・キャンバス	102.6×82.8	1984年度 購入
1-21	藤田嗣治	シャーマン氏像	1947	水彩・紙	30.0×20.0	1983年度 購入 旧シャーマン・コレクション
1-22	藤田嗣治	君代のプロフィール	1938年頃	水彩・紙	23.0×18.5	1983年度 購入 旧シャーマン・コレクション
1-23	藤田嗣治	自画像	1934年頃	木版・紙	21.5×15.5	1983年度 購入 旧シャーマン・コレクション
1-24	藤田嗣治	殉教者	1934	水彩・金箔・紙	82.8×62.2	1983年度 購入 旧シャーマン・コレクション
1-25	藤田嗣治	メキシコの少年	1933	水彩・紙	93.5×61.0	1983年度 購入 旧シャーマン・コレクション
1-27	藤田嗣治	赤毛の女	1917	水彩・紙	26.5×20.0	1983年度 購入 旧シャーマン・コレクション
1-28	藤田嗣治	静物(糸巻)	1926-29年頃	銅版・紙	57.0×63.1	1983年度 購入 旧シャーマン・コレクション
1-29	藤田嗣治	鶴	1918年頃	水彩・金箔・紙	42.5×40.8	1983年度 購入 旧シャーマン・コレクション
1-30	藤田嗣治	苦悶(フランク・シャーマン宛) 16点	1949	インク、色鉛筆、水彩・紙	1983年度 購入	旧シャーマン・コレクション 1949年3月15日(便箋1枚・裏) 21.2×14.0 / 1949年3月22日(便箋1枚) 21.4×27.7 / 1949年3月31日(便箋1枚) 20.0×25.0 / 1949年4月3日(便箋1枚) 21.2×27.5 / 1949年4月10日(便箋1枚) 12.8×20.0 / 1949年4月11日(2枚組の1枚目) 12.8×20.0 / 1949年4月11日(2枚組の2枚目) 12.8×17.0 / 1949年4月14日(便箋1枚) 21.2×27.5 / 1949年4月17日(便箋1枚) 19.8×22.2 / 1949年4月18日(2枚組の1枚目) 22.8×23.5 / 1949年4月20日(便箋1枚) 10.5×25.0 / 1949年5月5日(2枚組の1枚目) 27.0×17.0 / 1949年5月5日(2枚組の2枚目) 27.0×18.0 / 1949年5月12日(便箋1枚・裏) 25.0×20.0 / 1949年5月21日(便箋1枚) 25.0×20.0 / 日付不詳 3(便箋1枚) 12.5×20.0
1-31	藤田嗣治	陶器 燭台女	1948年頃	陶器	Φ15.5×H25.5	1983年度 購入 旧シャーマン・コレクション
1-32	藤田嗣治	キス・ミー	1946	彩色・木	16.0×4.5×24.5	1983年度 購入 旧シャーマン・コレクション

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	取得情報
第2章 個性的な展覧会と地域へのまなざし(1987~1997年)						
2-1	岡田謙三	静合	1938	油彩・キャンバス	130.8×97.3	1988年度 購入
2-2	安原喜明	五人の少女	1962	陶土	Φ11.0~14.0× H50.0~51.0	1988年度 安原春氏 寄贈
2-3	高野三三男	デコちゃん(高峰秀子)	1953	油彩・キャンバス	145.2×112.1	1997年度 購入
2-4	井手宣通	冬のモンパルナス通り	1955年頃	油彩・キャンバス	62.3×71.4	1994年度 井手潔子氏 寄贈
2-5	古茂田守介	踊り子達	1946	油彩・キャンバス	114.8×148.1	1990年度 古茂田美津子氏 寄贈
2-6	成井弘	静物	1951	油彩・キャンバス	46.0×53.2	1995年度 購入
2-7	宮田武彦	柿の木坂風景	1944	油彩・キャンバス	51.0×39.5	1991年度 宮田園氏 寄贈
2-8	赤穴宏	目黒駅	1950	油彩・キャンバス	60.5×72.5	1991年度 購入
2-9	飯田善國	目黒川夜景2	1950	油彩・キャンバス	45.8×60.5	1988年度 作者寄贈
2-10	住川忠夫	線形成 I~III (3点)	1974	アクリル・キャンバス	各32.0×180.0	1991年度 住川忠太郎氏 寄贈
2-11	山中信夫	東京の太陽3	1980-81	ピンホール写真・紙	30.5×25.4	1988年度 購入
2-12	山中信夫	東京の太陽 4	1980-81	ピンホール写真・紙	25.4×30.5	1988年度 購入
2-13	山中信夫	東京の太陽 8	1980-81	ピンホール写真・紙	25.4×30.5	1988年度 購入
2-14	山中信夫	東京の太陽12	1980-81	ピンホール写真・紙	25.5×30.4	1988年度 購入
2-15	山中信夫	東京の太陽15	1980-81	ピンホール写真・紙	30.5×25.3	1988年度 購入
2-16	三上誠	無題	1968年頃	顔料・紙	140.3×110.3	1991年度 購入
2-17	星野真吾	表中の作品(碧)	1965	紙本墨彩	187.6×127.1	1993年度 作者寄贈
2-18	磯辺行久	作品65-40	1965	ミクストメディア	124.0×122.0	1991年度 作者寄贈
2-19	井高婦山(初代)	鏡蓋経筒水指	1953	磁器	Φ12.3×H21.5	1988年度 購入
2-20	井高婦山(二代)	白高麗陽刻梅文水指	1988	磁器	Φ15.0×H14.0	1988年度 購入
2-21	香取正彦	鷹銀蝶文花器	制作年不詳	鑄造	Φ22.5×H24.0	1988年度 購入
2-22	槻尾宗一	ユニット花器	1955	鉄	10ピース 各32.9×18.8 組上がり高さ129.6	1995年度 槻尾あさ子氏 寄贈
2-23	高島野十郎	百合とヴァイオリン	1921-26年頃	油彩・キャンバス	41.1×53.2	1989年度 購入
2-24	高島野十郎	牡丹花	1926年頃	油彩・キャンバス	53.3×45.8	1989年度 購入
2-25	木下晋	無一 I	1992	鉛筆・ケント紙	175.1×109.0	1992年度 購入
2-26	木下晋	無一 II	1992	鉛筆・ケント紙	175.1×109.1	1992年度 購入

第3章 新たな地平へ:生活芸術と素材・画材へのアプローチ(1998~2007年)

3-1	伊砂利彦	スクリヤーピン作曲「焰に向かって」のイメージより	1990年頃	絹・型染	身丈165.0 桁丈66.0	1999年度 作者寄贈
3-2	三浦景生	布象嵌 サクラノボ 貝文	1994	布象嵌・染・顔料・絹布・額装(仕立て)	40.0×31.0	1998年度 作者寄贈
3-3	川村清雄	高砂	1920-34年頃	油彩・銀箔・絹	63.8×157.8	2003年度 吹野トミ子氏 寄贈
3-5	川村清雄	いにしへの奈良の都	1920-34年頃	油彩・銀箔・板(絹)	Φ42.0×1.4	2003年度 吹野トミ子氏 寄贈
3-6	麻田修二	偶	1982	型染・布	110.7×154.3	1998年度 作者寄贈
3-8	栗辻博	フリーフォームチェア「縞柄」	1968 (2000年再制作)	綿布(ブラウン)	サイズ不定	2000年度 栗辻早重氏 寄贈
3-9	山田光	銀泥 矩形とパイプ	1995	陶土・銀泥	56.5×38.5×8.0	2000年度 作者寄贈
3-10	山田光	白青磁筒香炉	1985	白青磁	H10.2×D10.4	2000年度 作者寄贈
3-11	山田光	白青磁香合(大)	1985	白青磁	H4.8×D7.5	2000年度 作者寄贈
3-12	山田光	白青磁香合(小)	1985	白青磁	H4.8×D6.5	2000年度 作者寄贈
3-13-1	松田千草	絵手紙(1999年12月20日付)	1999	インク・パステル・紙	便箋7枚 各32.0×21.0	2000年度 作者寄贈
3-13-2	松田千草	絵手紙(2000年1月7日付)	2000	インク・パステル・紙	便箋3枚 各32.0×21.0	2000年度 作者寄贈
3-14	藤田嗣治	葉書(澤壁治宛)12点	1905-06	水彩・紙	1983年度 購入	

1905年3月23日 | 14.2×9.2 / 1905年6月4日 | 14.2×9.0 / 1905年6月11日 | 14.0×9.0 / 1905年6月15日 | 14.1×9.2 / 1905年6月18日 | 14.1×9.0 / 1905年6月26日 | 14.2×9.1 / 1905年9月10日 | 14.2×9.1 / 1905年9月17日 | 14.1×9.1

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	取得情報
3-15	関野準一郎	年賀状	14点	1970-86	木版・紙	2000年度 関根勝子氏 寄贈
	(1)	1971年・年賀状(亥) 1970 9.5×14.0				
	(2)	1972年・年賀状(子) 1971 14.0×9.0				
	(3)	1974年・年賀状(寅) 1973 9.5×14.0				
	(4)	1975年・年賀状(卯) 1974 14.0×9.0				
	(5)	1976年・年賀状(辰) 1975 14.0×9.0				
	(6)	1977年・年賀状(巳) 1976 14.0×9.0				
	(7)	1978年・年賀状(午) 1977 9.5×14.0				
	(8)	1981年・年賀状(酉) 1980 9.5×14.0				
	(9)	1982年・年賀状(戌・重ね重ね笑う) 1981 14.0×9.0				
	(10)	1982年・年賀状(戌) 1981 14.0×9.0				
	(11)	1984年・年賀状(子) 1983 14.0×9.0				
	(12)	1985年・年賀状(丑) 1984 14.0×9.0				
	(13)	1986年・年賀状(寅・虎の門) 1985 14.0×9.0				
	(14)	1987年・年賀状(卯) 1986 14.0×9.0				

第4章 目黒区美術館の新たなレガシー(2008~2018年)

4-1	篠田敦夫	海辺の断崖2	2003-07	鉛筆、消しゴム、水彩・紙	65.0×48.0	2009年度 購入
4-2	篠田敦夫	海辺の断崖	2000-02	鉛筆、水彩・紙	40.0×68.0	2018年度 菊池祥夫氏 寄贈 菊池由佳コレクション
4-3	寺崎百合子	ボルゲーゼ公園	1992	黒色鉛筆・紙	54.5×76.5	2010年度 購入
4-4	寺崎百合子	オペラ座(L'Opéra)	1992	黒色鉛筆・紙	57.6×76.6	2010年度 購入
4-5	寺崎武男	ヴェニス サンマルコ寺院	1908-16	パステル・紙	43.5×28.8	2018年度 寺崎裕則氏 寄贈
4-6	寺崎武男	イタリア 風景	1908-16	パステル・紙	32.5×23.4	2018年度 寺崎裕則氏 寄贈
4-7	寺崎武男	帆船船図	1920年代	パステル・紙	53.0×43.1	2018年度 寺崎裕則氏 寄贈
4-8	武内鶴之助	冬の小川	1918	パステル・紙	45.3×33.3	2018年度 木村悦雄・正子氏 寄贈
4-9	武内鶴之助	雷鳴	制作年不詳	パステル・紙	38.0×45.5	2018年度 木村悦雄・正子氏 寄贈
4-10	武内鶴之助	秋の風景	制作年不詳	パステル・紙	22.0×27.0	2018年度 木村悦雄・正子氏 寄贈
4-11	武内鶴之助	ぼら	制作年不詳	パステル・紙	27.0×22.0	2018年度 木村悦雄・正子氏 寄贈
4-12	鈴木省三	森Ⅱ	1983	油彩、オイルスティック・ ゴムボード	120.0×70.0	2018年度 小島静二氏 寄贈
4-13	鈴木省三	静かな呼吸Ⅰ	1994-95	油彩、オイルスティック、 リキッドゴム・キャンバス、 パネル	180.0×130.0	2014年度 小島静二氏 寄託
4-14	鈴木省三	地面からの空Ⅳ	1997	油彩、オイルスティック、 リキッドゴム・キャンバス、 パネル	180.0×130.0	2014年度 小島静二氏 寄託
4-15	都島英喜	ヴィラローツバリ宿舍	1920	油彩・キャンバス	72.2×61.3	2018年度 都島進一氏 寄贈
4-16	都島英喜	巴里河畔上流(モンティニー)	1919	油彩・板	23.8×32.8	2018年度 都島進一氏 寄贈
4-17	都島英喜	花	制作年不詳	油彩・キャンバス	45.5×38.0	2018年度 都島進一氏 寄贈
4-18	秋岡芳夫	夜の楽士達	1953	メゾチント・紙	12.2×17.5	2011年度 秋岡陽氏 寄贈
4-19	秋岡芳夫	赤い家	1948	着彩・紙	20.5×35.0	2018年度 秋岡陽氏 寄贈
4-20	秋岡芳夫	静物	1950年代	油彩・キャンバス	73.0×106.5	2018年度 秋岡陽氏 寄贈
4-22	秋岡芳夫	KAK+佐藤電気産業株式会社 クライスラーキャビネットMS-300	1958	木、プラスチック、ネット		2018年度 秋岡陽氏 寄贈
4-23	秋岡芳夫	KAK+佐藤電気産業株式会社 クライスラーキャビネットMS-200	1956	木、プラスチック、金属		2018年度 秋岡陽氏 寄贈
4-24	土屋幸夫	パッサージュ	1959	油彩・キャンバス	191.0×252.5	2010年度 高橋裕美氏 寄贈
4-26	藤田嗣治	馬図	1930	紙本墨画・二曲一隻	171.5×173.5	2010年度 中村家 寄贈
4-27	藤田嗣治	鯉と蛙の図	制作年不詳	紙本墨画・二曲一隻	63.5×163.2	2010年度 中村家 寄贈
4-28	藤田嗣治	10人の子どもたち	1924	油彩・キャンバス	114.4×144.3	2009年度 購入

めぐろの子どもたち展

会期：2023年1月18日(水)～2月2日(日) 14日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ室、
区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園・こども園長会、目黒区立小学校長会、
目黒区立中学校長会、目黒区立特別支援学級設置校長会、
目黒区教育会、目黒区美術館、目黒区教育委員会

入場者数：10,575人

担当学芸員：重田正恵



目黒区立の幼稚園・こども園、小・中学校の子どもたちの作品を、表現活動の成果として展示する展覧会。本展は教職員によって主導され、子どもたちの鑑賞教育の場として、また保護者や地域の人々が、教育現場における子どもたちの活動を理解する場として長きにわたりその役割を果たしている。「米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展」と「中国北京市東城区児童・生徒書画展」の同時開催を予定していたが、後者については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中国からの作品の輸送ができなくなったため中止となった。(作品数：3,982点)

●広報印刷物

ポスター B2／チラシ A4

チラシ裏面内容：ごあいさつ(主催者) | 幼稚園・こども園 | 小学校・図画工作 | 小学校・書写 | 中学校・美術 | 中学校・書写 | 特別支援学級 | 中国北京市東城区児童・生徒書画展 | 米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展



A4チラシ

コレクション解体新書Ⅱ 1970年代以降の作品を中心に

会期：2023年2月18日(土)～3月26日(日) 32日間
 会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール
 主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
 入場者数：2,339人
 担当学芸員：佐川タ子、重田正恵



当該年度は、開館35周年を記念し、「コレクション解体新書」と名付けて、前年秋とこの度の二期に分けて作品収集のあゆみを紹介する展覧会を企画。本展はその後半で、1970年代以降の現代美術に焦点をあてた。

現代美術は、現代を生きる私たちが抱える問題や価値観などを色濃く反映しながら、展開してきた。そうした作家や作品を取り上げてきた当館の活動も、同様のことが言えるだろう。本展では、当館の誕生と成長の時代を共にした1970年代以降の美術作品を、収集経緯やエピソードをまじえながら紹介した。

当館が誇る版画集コレクション、近年当館で開催した個展が好評だった村上友晴の作品のほか、宇佐美圭司の「プロフィール(顔)」シリーズや川俣正のインスタレーション・プロジェクトのマケットなど複数で構成される作品を久しぶりに一堂に展示した。さらに、高松次郎が写真をテーマにした唯一のシリーズ《写真の写真》(45点組)は他の公立美術館には収蔵されていない貴重な作品であるが、本展では当館の現代美術のコレクションも秀逸なものでもあることを示す機会となった。

●広報印刷物

ポスター B2／チラシ A4／ハガキ

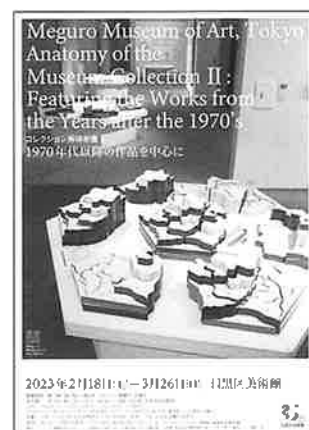
●関連催事

講演会「宇佐美圭司の横顔(プロフィール)」

講師：松沢寿重(新潟市新津美術館 館長)／開催日：3月4日(土)／参加人数：20人

●主要関連記事

1. 読売新聞「都内版」紹介記事 2023年3月17日
2. WEB「Fashion Press」紹介記事 2023年1月31日
3. 雑誌「月刊ギャラリー」紹介記事 2023年2月1日号



A4チラシ

出品リスト

凡例

・作品のデータは、最初に、版画集またはシリーズ作品に共通する出品番号 | 作家名 | 作品名 | 制作・発行年 | 発行者(版画集の場合) | 技法・材質 | サイズ(cm) | エディション等作品に付随する情報 | 取得情報を順に記載し、続いて、個々の作品名と付随する情報を記載した。インスタレーション作品については、サイズを割愛した。
・全て目黒区美術館蔵。

1. 木村茂 | 版画集『木林そして森』 | 1971年 | 発行:大阪フォルム画廊 | エッチング・紙 | 紙寸各33.0×25.0 | 刷:版画工房KEN(山村素夫) ed.:H.C./60 A.P.10
詞:長谷川公之(各作品に対して) | 1982年度 購入
けやき/からまつ/プラタナス/いちよう/ボプラ/老木/凍田/雪林/早春/初冬/山道/白樺/雪の道/雪ぐれ/馴れ木(全15点)
2. 李禹煥 | 版画集『点より・線より』 | 1977年 | 発行:シロタ画廊 | リトグラフ(2版2色)・アルシュ紙 | 紙寸各50.0×65.8 | 刷:尾崎正志、長尾正昭 ed.:36/50 A.P.10 文:小川正隆「存在の真実—李禹煥の石版画連作によせて—」 | 1982年度 購入
点より1/点より2/点より3/点より4/線より1/線より2/線より3/線より4(全8点)
3. 李禹煥 | 版画集『FROM LINE』 | 1981年 | 発行:康画廊 | ドライポイント・アルシュ紙 | 紙寸各46.0×56.0 | 刷:林グラフィック ed.:8/50 A.P.10 | 1983年度 購入
(1)~(12)(全12点)
4. 保田春彦 | 版画集『ΥΠΟΓΕΙΟΝ (IPOGEION)』 | 1975年 | 発行:南画廊 | シルクスクリーン、エンボス・紙 | 紙寸各25.0×25.0 | ed.:1/35 | 1983年度 雅陶堂 寄贈
(1)~(5)(全5点)
5. 日和崎琢夫 | 詩画集『卵』 | 1970年 | 発行:シロタ画廊 | 木口木版・越前和井鳥ノ子紙 | 紙寸各42.0×68.0 | ed.:29/50 A.P.6 詩:嶋岡晨 | 1982年度 購入
(1)~(8)(全8点)
6. 吉田克朗 | 版画集『LONDON II』 | 1975年 | 発行:吉田克朗 | フォトエッチング・紙 | 紙寸各31.0×43.5 | ed.:8/20 A.P.3 | 1984年度 購入
Kensington Church Street / Eaton Gate / Fleet Street / Trafalgar Square / Lincoln's Inn Fields / St. Martin in the Fields / Regent St. / Lower Marsh / Wild St. / North End Way / Gt. Marlborough St. / Fitzmaurise Place(全12点)
7. 高松次郎 | 写真の写真 | 1973-91年 | 制作協力:渡辺洋美 | ゼラチンシルバープリント | 各45.5×55.7 | 45点組 ed.:1/10 | 1991年度 購入
8. 川俣正 | プロジェクト〈ビーブルズ・ガーデン〉、ドクメンタIX、カッセル 1992 | 1992年 | 木・写真・インク他 | 1993年度 購入
マケット/写真ドキュメント1-6/ワーキングノート/カラー写真パネル
9. 宇佐美圭司 | 版画集『Profile(顔)』 | 1973-74年 | 発行:南画廊 | シルクスクリーン・紙 | 紙寸各74.5×55.3 | 点数:7点(多色) ed.:14/50 文:宇佐美圭司 | 1984年度 購入
プロセス I, II, III, IV / プロセス V, VI / プロセス VII - I / プロセス VII - II / プロセス VII - III / プロセス VIII, IV / プロセス X(全7点)
10. 宇佐美圭司 | ゴースト・プラン・イン・プロセス:プロフィール | 1972年 | 木、アクリル塗料 | 1991年度 購入
プロセス I | 68.5×208.0×240.0 / プロセス II | 88.0×208.5×240.0 / プロセス III | 65.0×156.5×180.0 / プロセス IV | 64.5×156.5×180.0
11. 宇佐美圭司 | プロフィールのこだま:積層 | 1976年 | 油彩・キャンバス | 214.0×196.0 | 1991年度 購入
12. 村上友晴 | 無題 | 1980-82年 | 油彩・キャンバス | 162.0×130.0 | 1992年度 購入
13. 村上友晴 | 無題 | 1985-87年 | 油彩・キャンバス | 162.0×130.0 | 1992年度 購入
14. 村上友晴 | 無題 | 1984年 | 油彩、アクリル・紙 | 59.0×47.2 | 1992年度 作者寄贈
15. 村上友晴 | 無題 | 1984年 | 油彩、アクリル・紙 | 59.0×47.2 | 1992年度 作者寄贈
16. 村上友晴 | 版画集『psalm I(詩篇1)』 | 1979年 | 発行:雅陶堂ギャラリー | ドライポイント・紙 | 紙寸各30.5×24.5 | ed.:5/10 | 1983年度 購入
(1)~(8)(全8点)
17. 村上友晴 | 版画集『十字架の道』 | 2001年 | 発行:株式会社横田茂 | ドライポイント、ニードル・紙 | 紙寸各22.0×15.3 | ed.:1/7 | 2009年度 購入
(1)~(14)(全14点)

ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる

会期：2023年4月29日(土・祝)～6月18日(日) 44日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：ベルギーと日本展実行委員会、

(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

助成：(一財)地域創造

後援：ベルギー大使館

入場者数：6,879人

担当学芸員：山田真規子

巡回：高梁市成羽美術館(2023年7月8日～8月27日)

新潟県立近代美術館(2023年9月16日～11月12日)



戦前、芸術家の主な留学先はフランスであったのに対し、ベルギーを選んだ画家の太田喜二郎と児島虎次郎、彫刻家の武石弘三郎。当館は滞欧米期の画家の作品を収集方針として太田の作品を収蔵している。巡回先の高梁市成羽美術館は地元出身の画家である児島を顕彰し、新潟県立近代美術館は郷土作家として武石を収蔵作家としている。

戦前の日本におけるベルギー美術の受容を紹介する本展は、この3館が連携し、この分野における各館の作品収集、調査・研究の成果を展覧会として構成し開催した。普段知る機会の少ないベルギー美術と日本の関係について、解説を読みながら、じっくり観賞する来館者の姿が印象的であった。

●カタログ

サイズ：25.7×18.2cm / 167ページ

デザイン：酒井田成之(酒井田デザイン事務所)

内容：ごあいさつ/ 目次/ 戦前の日本における近代ベルギー美術の受容 [山田真規子]/ 第1章 光を描く：ベルギーの印象派絵画と日本/ 1 白馬会とウィットマン/ 2 太田喜二郎と児島虎次郎のベルギー留学 [1] ベルギーの画家たち/ [2] 太田喜二郎のベルギー留学/ [3] 児島虎次郎のベルギー留学/ 3 日本の印象派 [1] 外光派と印象派/ [2] 帰国後の児島虎次郎/ [3] 帰国後の太田喜二郎/ [4] 斎藤豊作と吉田苞/ 第2章 命をかたどる：ベルギーの彫刻と日本/ 1 武石弘三郎のベルギー留学/ 2 コンスタンタン・ムーニエの衝撃 [1] コンスタンタン・ムーニエ/ [2] ムーニエに影響を受けた日本の彫刻家/ 第3章 伝える・もたらす：ベルギー美術の紹介/ 1 児島虎次郎によるベルギー美術の紹介/ 2 ベルギーと日本の友好の証：戦災と震災のチャリティー展 [1] 第一次世界大戦の戦禍のベルギーを救え「恤兵美術展覧会」/ [2] 第一次世界大戦の戦禍のベルギーを救え「欧州大家絵画博覧会」/ [3] 関東大震災とベルギー大使ド・パッソンビエール/ 3 フェリシアン・ロップス：官能と諧謔/ 4 滝口修造とルネ・マグリット/ 武石弘三郎のベルギー [伊澤朋美]/ コンスタンタン・ムーニエと日本 [迫内祐司]/ 児島虎次郎と太田喜二郎 [古尾梨加]/ 作家解説/ 戦前の日本におけるベルギー美術の受容年表/ 戦後の主要参考文献/ 作品リスト

●広報印刷物

ポスター B2/チラシ A4

●関連催事

1. リレートーク「つながる!太田君と児島君と武石君」

講師：古尾梨加(高梁市成羽美術館 学芸員)、伊澤朋美(新潟県立近代美術館 学芸員)、山田真規子(当館学芸員)/

開催日：4月29日(土・祝)/参加人数：32人

2. 大人の遠足「武石弘三郎のブロンズ彫刻を観るツアーとレクチャー」

ナビゲーター：本橋浩介(佐倉市立美術館 学芸員)、山田真規子(当館学芸員)/開催日：5月4日(木・祝)/参加人数：16人

3. ミュージアムコンサート「ベルギー生まれの楽器、サクソフォンを聴く」

出演者：Avant-Première(アヴァンプレミエ)鈴木広志、東涼太、上邇天淳市/開催日：6月3日(土) ①14:00～15:00

②16:00～17:00 参加人数：①31人、②38人

4. 講演会「コンスタンタン・ムーニエと日本」

講師：迫内祐司(小杉放菴記念日光美術館 学芸員)/開催日：6月10日(土)/参加人数：25人

5. 大人ののための美術カフェ

ナビゲーター：山田真規子(当館学芸員)/開催日：6月18日(日)/参加人数：30人

●主要関連記事

1. NHK E-テレ「日曜美術館 アートシーン」2023年5月28日、6月4日(再放送)

2. 読売新聞朝刊「都内イベント情報欄」(カラー画像2枚)2023年6月9日

3. 埼玉新聞「首都圏アートナビ」紹介記事2023年6月13日

出品リスト

凡例

・出品作品は、章ごとに分けて記載した。

・作品のデータは、図録掲載の作品番号 | 作家名 | 作品・資料名 | 制作・発行年 | 技法・材質・形状 | サイズ(cm) | 所蔵者 | 展示期間 の順に記載をした。

・作品・資料名のうち、本展主催者による仮題のものには、※印を付した。

・展示期間が限定されるものは、展示期間の欄に具体的な期間を記した。

No.	作家名	作品・資料名	制作・発行年	技法・材質・形状	サイズ(cm)	所蔵者	展示期間
第1章 光をえがく：ベルギーの印象派絵画と日本							
1. 白馬会とウィッツマン							
1	中沢弘光(原作：ロドルフ・ウィッツマン)	風景	制作年不詳	油彩・キャンバス	80.2×100.1	東京藝術大学	
2	ロドルフ・ウィッツマン	水汲み婦、ブラバンの夕暮れ	19世紀	油彩・キャンバス	78.4×98.3	東京国立博物館	5/23～6/18
3	ロドルフ・ウィッツマン	風景	制作年不詳	油彩・キャンバス	100.0×80.3	東京藝術大学	
4	ロドルフ・ウィッツマン	水に映ずる家	制作年不詳	油彩・キャンバス	81.9×66.1	石綿財団 アーティゾン美術館	
2. 太田喜二郎と児島虎次郎のベルギー留学							
(1) ベルギーの画家たち							
5	ジャン＝ジョセフ・デルヴァン	漁鳥	制作年不詳	油彩・キャンバス	81.5×110.5	大原美術館	
6	エミール・クラウス	レイエ川の水飲み場	1897(明治30)年	油彩・キャンバス	90.5×117.0	姫路市立美術館	
7	エミール・クラウス	ブランドル地方の収穫	1904(明治37)年頃	油彩・キャンバス	200.0×220.0	姫路市立美術館	
8	エミール・クラウス	冬の果樹園	1911(明治44)年	油彩・キャンバス	89.3×116.3	大原美術館	
9	ヴィクトール・ド・ビュット	太田喜二郎の肖像	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	73.3×50.0	京都府(京都文化博物館管理)	5/23～6/18
(2) 太田喜二郎のベルギー留学							
10	太田喜二郎	エスコエ河岸	1909-1910 (明治42-43)年	油彩・キャンバス	52.0×73.0	高梁市成羽美術館	
11	太田喜二郎	雪の朝	1910-1911 (明治43-44)年	油彩・キャンバス	74.2×50.0	目黒区美術館	
12	太田喜二郎	樹陰	1911(明治44)年	油彩・キャンバス	89.0×115.0	京都市美術館	
13	太田喜二郎	乳屋の娘	1911(明治44)年	油彩・キャンバス	101.0×75.0	京都国立近代美術館	
14	太田喜二郎	少女	1911(明治44)年	油彩・キャンバス	100.0×80.0	京都府(京都文化博物館管理)	5/23～6/18
15	太田喜二郎	窓辺の婦人像	1911-1912(明治44- 明治45・大正元)年	油彩・キャンバス	131.0×97.0	京都府(京都文化博物館管理)	4/29～5/21
16	太田喜二郎	風景	1908-1913 (明治41-大正2)年	油彩・キャンバス	65.2×50.1	目黒区美術館	
17	太田喜二郎	赤い日傘	1912(大正元)年	油彩・キャンバス	162.0×130.0	新潟大学	
(3) 児島虎次郎のベルギー留学							
18	児島虎次郎	川辺の風景	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	32.0×40.0	高梁市成羽美術館	
19	児島虎次郎	ランプと暖炉	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	81.0×64.7	高梁市成羽美術館	
20	児島虎次郎	和服を着たベルギーの婦人	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	81.0×64.5	高梁市成羽美術館	
21	児島虎次郎	和服を着たベルギーの少女	1910(明治43)年	油彩・キャンバス	116.0×89.5	高梁市成羽美術館	
22	児島虎次郎	家族	1910(明治43)年	油彩・キャンバス	114.0×162.0	高梁市成羽美術館	
23	児島虎次郎	男の裸像(1)	1909(明治42)年頃	油彩・キャンバス	73.3×55.0	高梁市成羽美術館	
24	児島虎次郎	※太田喜二郎旧蔵の板絵(和服を着たベルギーの少女【小さな隣人】)	制作年不詳	油彩・板33.0×24.0	個人蔵		
25	児島虎次郎	※太田喜二郎旧蔵の板絵(緑陰)	制作年不詳	油彩・板	23.0×32.5	個人蔵	
26-1		※『太田喜二郎旧蔵の生命と光(Vie et Lumière)1911年第7回展の目録』	1911(明治41)年	冊子	18.2×12.3	個人蔵	
26-2		※太田の留学中の名刺	制作年不詳	名刺	5.0×8.8	個人蔵	
27-1	児島虎次郎	※止宿先の公園にて太田喜二郎と虎次郎	1909(明治42)年頃	写真	17.5×13.0	個人蔵	
27-2	児島虎次郎	※太田喜二郎のモデル	1909(明治42)年頃	写真	9.0×12.0	個人蔵	
27-3	児島虎次郎	※虎次郎撮影のジャン＝ジョセフ・デルヴァン	1909-1912 (明治42-45)年	写真	17.5×13.0	個人蔵	

No.	作家名	作品・資料名	制作・発行年	技法・材質・形状	サイズ(cm)	所蔵者	展示期間
27-4	児島虎次郎	※虎次郎撮影のエミール・クラウス	1910(明治43)年4月	写真	12.0×9.0	個人蔵	
27-5	武石弘三郎	※弘三郎撮影のエミール・クラウス	制作年不詳	写真	9.0×12.0	個人蔵	
27-6		※武石弘三郎下宿ユッケルのリゲール邸に集う、武石、太田、リゲール夫妻	1908(明治41)年6月	絵葉書	8.8×13.8	個人蔵	

3. 日本の印象派

(1)外光派と印象派

28	黒田清輝	昼寝	1894(明治27)年	油彩・キャンバス	49.8×61.0	東京国立博物館	4/29~5/21
29	久米桂一郎	夏の夕(鎌倉)	1894(明治27)年	油彩・キャンバス	42.3×55.0	東京藝術大学	

(2)帰国後の児島虎次郎

30	児島虎次郎	花鉄を持つ婦人	1913(大正2)年	油彩・キャンバス	161.0×116.0	高梁市成羽美術館	
31	児島虎次郎	酒津の農夫	1914(大正3)年	油彩・キャンバス	162.0×114.5	高梁市成羽美術館	
32	児島虎次郎	親牛仔牛	1916(大正5)年	油彩・キャンバス	111.0×90.0	高梁市成羽美術館	
33	児島虎次郎	酒津の秋	1917(大正6)年	油彩・キャンバス	87.5×115.0	高梁市成羽美術館	
34	児島虎次郎	ブリューシュ舟宿	1920(大正9)年	油彩・キャンバス	130.0×162.5	高梁市成羽美術館	

(3)帰国後の太田喜二郎

35	太田喜二郎	麦秋	1914(大正3)年	油彩・キャンバス	162.0×130.0	高梁市成羽美術館	
36	太田喜二郎	暖かき日	1915(大正4)年	油彩・キャンバス	116.0×90.0	高梁市成羽美術館	

(4)斎藤豊作と吉田苞

37	斎藤豊作	フランス風景Ⅲ	1910(明治43)年頃	油彩・キャンバス	41.0×47.0	埼玉県立近代美術館	
38	斎藤豊作	羊飼い	1906-1912(明治39-明治45/大正元)年	油彩・キャンバス	45.3×38.0	目黒区美術館	
39	吉田苞	朝のマロニへの道(ベルギー・ブルージュ)	1921(大正10)年頃	油彩・キャンバス	100.0×80.5	個人蔵(岡山県立美術館寄託)	
40	吉田苞	赤い支那傘	1926(大正15)年	油彩・キャンバス	91.0×116.8	岡山県立美術館	
41	吉田苞	初秋	1926(大正15)年	油彩・キャンバス	112.5×146.0	株式会社天満屋	
42	吉田苞	酒津の庭	1927(昭和2)年	油彩・キャンバス	117.0×94.0	岡山県立美術館	

第2章 命をかたどる:ベルギーの彫刻と日本

1. 武石弘三郎のベルギー留学

43	藤島武二	T氏肖像	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	35.0×26.0	神奈川県立近代美術館	
44	武石弘三郎	婦人像	1907-1911(明治40-44)年	大理石	45.0×48.0×24.0	神奈川県立近代美術館	
45	武石弘三郎	長女萬里子の像	制作年不詳	大理石	41.0×31.7×28.0	神奈川県立近代美術館	
46	武石弘三郎	母	1917(大正6)年	ブロンズ	35.0×20.5×25.5	新潟県立近代美術館・万代島美術館	
47	武石弘三郎	滝	1928(昭和3)年	大理石	145.0×62.0×19.0~38.5	神奈川県立近代美術館寄託	
48	武石弘三郎	裸婦浮彫	1939(昭和14)年	大理石	96.0×75.8×9.0~13.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館	
49		『生活美術』1巻3号、アトリエ社	1941年(昭和16)11月	雑誌	25.8×18.1	新潟県立近代美術館・万代島美術館	
50		※《武石弘三郎絵葉書(加藤恒忠(拓川)関連資料より)》		はがき	各14.0×9.0程度	正岡子規研究所	

50-1 ※武石弘三郎の肖像、ユッケルにて 1908年2月8日

50-2 ※《婦人像》(正面) 1905年4月5日

50-3 ※アトリエで大作を制作中のジュリアン・ディレンス 1904年10月10日

50-4 ※モデルを前に制作中の武石 1904年12月15日

50-5 ※石膏像が陳列された美術学校の廊下 1905年7月13日

50-6 ※武石弘三郎と堀口九萬一・スチナ夫妻、リゲール夫妻、堀口岩 1908年12月2日

50-7 ※リエージュ万国博覧会(Palais des Fêtes) 1905年8月10日

50-8 ※武石弘三郎と野口駿尾、ユッケルにて 1907年5月17日

No.	作家名	作品・資料名	制作・発行年	技法・材質・形状	サイズ(cm)	所蔵者	展示期間
50-10	※ジュリアン・ディレンスの作品	1905年2月13日					
50-11	※ジュリアン・ディレンスのアトリエ	1906年10月10日					
50-12	※自作と並ぶ武石弘三郎	7年10月29日					
50-13	※加藤恒忠に近況を伝える手紙(ヨルダース《酒を飲む王様》)	1908年1月9日					
50-14	※フランス旅行先からの葉書(パリ、アレクサンドル3世通りの景観)	1904年5月18日					
50-15	※自作と並ぶ武石弘三郎	1905年					
50-16	※ユックルでの饗宴	1907年11月21日					
50-17	※ユックルでの会合	1907年8月17日					
50-18	※ジュリアン・ディレンスのアトリエ	1905年2月13日					
50-21	※ミッデルケルケの加藤夫婦に宛てた葉書(アール・ヌーヴォー調のイラスト)	1905年9月22日					
50-22	※武石弘三郎の肖像、ユックルにて	1906年3月14日					
50-25	※イタリア旅行先からの葉書(ボンペイ遺跡)	1909年3月20日					
50-26	※リエージュ万国博覧会(Promenade en gondole)	1905年8月4日					

2. コンスタンタン・ムーニエの衝撃

(1) コンスタンタン・ムーニエ

51	コンスタンタン・ムーニエ	坑夫たち	1890年代	水彩、木炭・紙	30.4×22.8	姫路市立美術館	4/29~5/14
52	コンスタンタン・ムーニエ	炭坑夫の俘	制作年不詳	油彩・キャンバス	50.7×38.2	東京藝術大学	
53	コンスタンタン・ムーニエ	坑夫(平前田中旧蔵)	制作年不詳	ブロンズ	18.3×23.7	東京藝術大学	
54	コンスタンタン・ムーニエ	※坑夫(太田喜二郎旧蔵)	制作年不詳	ブロンズ	19.5×25.2	個人蔵	
55	コンスタンタン・ムーニエ	鍛錬工	制作年不詳	石膏着色	17.7×9.5×6.3	個人蔵	
56		『白樺』1巻5号	1910(明治43)年8月 (1988年の複製版)	雑誌	22.1×15.0	新潟県立近代美術館 館・万代島美術館	
57	武者小路実篤『荒野』	警醒社書店	1908(明治41)年	書籍	19.2×13.0	調布市武者小路実 篤記念館	
58	『學生 世界偉人号』 4巻10号	富山房	1913(大正2)年9月	書籍	22.3×15.0	新潟県立近代美術館 館・万代島美術館	

(2) ムーニエに影響を受けた日本の彫刻家

60	藤井浩祐	トロを待つ坑婦	1914(大正3)年	ブロンズ	113.0×44.0× 26.0	東京国立近代美術館	
61	吉田三郎	老坑夫	1919(大正8)年	ブロンズ	105.0×67.0× 118.0	東京国立近代美術館	
62	吉田三郎	或る坑夫	1942(昭和17)年	ブロンズ	32.0×30.0×34.5	石川県立美術館	
63・64	齋藤素蔵	丹那トンネル殉職慰霊碑レリーフ	1935(昭和10)年	石膏着色		小平市	
		63 左 78.0×107.0					
		64 右 78.0×106.5					
65-68	齋藤素蔵	東京株式取引所本館建築装飾	1931(昭和6)年	ブロンズ		小平市	
		65 農業 61.5×29.0×33.0					
		66 商業 61.5×31.0×31.0					
		67 工業 65.0×31.0×30.0					
		68 交通 64.0×29.0×35.0					
69	浅野孟府	労働者習作	1988(昭和63)年 原型制作 1930(昭和5)年	ブロンズ	41.5×27.5×27.5	国立国際美術館	

第3章 伝える・もたらす:ベルギー美術の紹介

1. 児島虎次郎によるベルギー美術の紹介

70	レオン・フレデリック	花	1920(大正9)年	油彩・キャンバス	74.8×62.5	大原美術館	
71	ウジェーヌ・ラールマン	小径	1918(大正7)年	油彩・キャンバス	141.5×103.0	大原美術館	
72	フランソワ・バイク	※室内風景	1920(大正9)年頃	油彩・板	36.7×38.0	個人蔵	
73	フランソワ・バイク	※古い切妻屋根の家並、ドラブ通り、 デント	1920(大正9)年頃	エッチング・紙	42.0×55.0	個人蔵	
74	児島虎次郎	日記	1922(大正11)年 9月30日	日記	19.0×12.7	個人蔵	
75		『東京府美術館主催泰西美術展覧 會圖録大原孫三郎氏蒐集』	1928(昭和3)年 2月1日発行	冊子	21.0×14.0	高梁市成羽美術館	
76	カール・デ・コック	※ジャン・デルヴァンの肖像	1913(大正2)年	ブロンズ	10.5×15.5×4.5	個人蔵	

No.	作家名	作品・資料名	制作・発行年	技法・材質・形状	サイズ(cm)	所蔵者	展示期間
2. ベルギーと日本の友好の証:戦災と震災のチャリティー展							
(1)第一次世界大戦の戦禍のベルギーを救え「恤兵美術展覧会」							
77		『恤兵美術展覧会目録』	1914(大正3)年12月	冊子	18.5×12.8	久米美術館	
78	ラファエル・コラン	夏の野	1888(明治21)年頃	油彩・キャンバス	46.6×55.6	久米美術館	
79	黒田清輝	繻物	1890(明治23)年	油彩・キャンバス	48.7×59.2	東京国立博物館	5/23~6/18
80	黒田清輝	庭	1890(明治23)年	油彩・キャンバス	47.0×62.0	東京国立博物館	4/29~5/21
81	澤部清五郎	初夏のカフェ	1912(明治45)年	油彩・板	32.5×24.7	目黒区美術館	
(2)第一次世界大戦の戦禍のベルギーを救え「欧州大家絵画展覧会」							
82-1		『三越』8巻6号	1918(大正7)年6月	雑誌	24.7×18.1	株式会社三越伊勢丹	
82-2		『三越』8巻7号	1918(大正7)年7月	雑誌	24.7×18.1	株式会社三越伊勢丹	
83	フランケ・ブランディン	パンを焼く男たち	1908(明治41)年	エッチング・紙	51.2×65.1	東京国立博物館	
(3)関東大震災とベルギー大使ド・パッソンビエール							
86		『ヴァン・ド・レーヌ作品展覧会目録』	1934(昭和9)年12月	冊子	22.9×13.7	個人蔵	
88	ジュール・ヴァン・ド・レーヌ	鏡の前	1952(昭和27)年頃	油彩・キャンバス	90.1×69.9	石橋財団 アーティゾン美術館	
89	ジュール・ヴァン・ド・レーヌ	牡丹	制作年不詳	油彩・板	50.0×60.0	姫路市立美術館	
3. フェリシアン・ロップス:官能と醜態							
90	原比露志	『ロップス研究 匂へる園 臨時増刊』	1932(昭和7)年9月	書籍	26.4×19.3	個人蔵	
91	原浩三	『ロップス画集』	1933(昭和8)年4月	書籍	26.4×19.0	個人蔵	
92	フェリシアン・ロップス	スフィンクス	1884(明治17)年	エリオグラヴィール・ 和紙	16.2×24.0	姫路市立美術館	4/29~5/21
96	フェリシアン・ロップス	誘惑(第2版)	1867(慶応3)年	エッチング、 ドライポイント・紙	7.8×6.3	姫路市立美術館	5/23~6/18
99	フェリシアン・ロップス	カルセルランブに照らされた女	1876(明治9)年	ソフトグーニッシュ・紙	22.8×16.9	姫路市立美術館	4/29~5/21
102	フェリシアン・ロップス	骸骨を見る女と ジャックマールの門番	制作年不詳	エッチング、ソフトグランド エッチング、ドライポ イント・ウォーグ紙	10.5×14.8	姫路市立美術館	5/23~6/18
4. 瀧口修造とルネ・マグリット							
105		『海外超現実主義作品展目録』	1937(昭和12)年6月	冊子	19.0×13.3	個人蔵	
106		『みづゑ 臨時増刊 海外超現実主義 作品集 Album Surréaliste』	1937(昭和12)年5月	雑誌	25.9×19.0	個人蔵	
107	瀧口修造	雑誌『みづゑ』第414号	1939(昭和14)年6月	雑誌	26.0×19.0	個人蔵	
108	ルネ・マグリット	《言葉と絵》『シュールレアリストの 革命』第12号	1929年12月(1975 年の復刻版)	書籍	29.4×21.0	個人蔵	
110	ルネ・マグリット	ジョルジェット	1935(昭和10)年	油彩・キャンバス	65.0×75.5	姫路市立美術館	
111	ルネ・マグリット	再開	1965(昭和40)年	油彩・キャンバス	40.5×33.0	東京富士美術館	



カタログ



A4チラシ

中村直人 モニュメンタル／オリエンタル

会期：2023年7月15日(土)～9月3日(日) 44日間
 会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール
 主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
 協賛：公益財団法人 北野生涯教育振興会
 共同企画：上田市立美術館
 入場者数：3,035人
 担当学芸員：佐川タ子



中村直人は、長野県小県郡神川村(現・上田市)に生まれた芸術家である。戦前は彫刻家として院展で活躍。戦後はパリに移住し、グアッシュ(不透明水彩絵具)作品により好評を博するようになる。帰国後は彫刻、絵画、版画など数多くの作品を手掛け、哀愁漂う女性像や裸婦像によってそのイメージを定着させた。晩年は東京・目黒区にアトリエを構えて、二科展の内閣総理大臣賞を受賞する栄誉を得た。

本展は、中村直人の故郷に所在する上田市立美術館と、晩年を過ごした東京・目黒区に所在する当館との共同企画によるものである。直人の生涯を、彫刻家としての黎明期、従軍した戦時期、フランス時代、帰国後の四つの時期に分けて構成し、作品・資料をはじめ、直人に影響を与えた諸作家の作品もあわせて展示した。

来館者は、直人の生涯や、作品にまつわるエピソードなどの解説にも目を通しながら、時代もジャンルも幅広い作品群をじっくりと鑑賞していた。来館者のアンケートでは、内容に対しての満足度が高いことが印象的であった。これまであまり注目されていなかったこの作家を、生地と没地にある美術館が取り上げ、丁寧に紹介したことが評価された結果であろう。

巡回：上田市立美術館(2023年4月15日～6月11日)

●カタログ

サイズ：25.6×18.2cm / 90ページ

デザイン：相澤徳行(相澤デザイン室)

内容：目次/ 時代の中のナオンド [山極佳子(上田市立美術館)]/ 図版/ 第1章 彫刻家の弟子から院展へ/ 第2章 従軍時代—時代の記念碑として/ 第3章 パリのオリエンタル/ 第4章 帰国後のナオンド/ 中村直人と軍需生産美術推進隊 [迫内祐司(小杉放電記念日光美術館)]/ 離郷の画家—1964年以後の中村直人 [植草学(信濃毎日新聞編集委員)]/ 中村直人略年表/ 出品リスト/ 相場啓介氏寄贈による中村直人関連資料について

●広報印刷物

ポスター B2/チラシ A4(A3二つ折り)

●関連催事

ギャラリートーク

ナビゲーター：山極佳子(上田市立美術館 学芸員)/開催日：7月29日(土)/参加人数：32人

●主要関連記事

- 雑誌「月刊美術」紹介記事 2023年7月20日号
- ケーブルテレビ「地モトNEWS」展覧会紹介 2023年7月20日、8月12日
- 朝日新聞夕刊「美術館・博物館の一覧表」展覧会紹介 2023年7月11日



カタログ



A3チラシ

出品リスト

凡例

・作品データは、図録掲載の作品番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ(cm) | 所蔵者の順に記載した。

・作品名のうち、本展主催者による仮題は[]で記した。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵者
1	中村直人	〔横顔のレリーフ〕	1920(大正9)年	木彫・着色	23.4×17.6×8.5	個人蔵
2	中村直人	聖母子像	1932(昭和7)年	木彫・着色	92.7×23.0×16.6	日本聖公会上田聖ミカエル 及諸天使教会
3	中村直人	女の首(ミスの顔)	1931(昭和6)年	石膏・着色	31.3×18.2×24.0	上田市立美術館
4	中村直人	女子立像	1929(昭和4)年	木彫・着色	117.0×25.0×24.3	上田市立神川小学校
5	中村直人	手品師	1932(昭和7)年	木彫・着色	176.0×57.0×34.5	個人蔵
6	中村直人	父子(兄弟)	1933(昭和8)年	木彫・着色	170.0×37.0×42.0	個人蔵 (青木村郷土美術館寄託)
7	中村直人	雀	制作年不詳	木彫・着色	H17.5	上田市立美術館
8	中村直人	百舌鳥(もず)	1930・40年代	木彫・着色	H32.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
9	吉田白嶺	翡翠(かわせみ)	制作年不詳	ブロンズ	H8.4	東京藝術大学
10	中村直人	翡翠(かわせみ)	1977(昭和52)年	ブロンズ	H18.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
11	吉田白嶺	山の幸	制作年不詳	木彫	H66.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
12	吉田白嶺	万歳楽	制作年不詳	木彫・着色	H43.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
13	中村直人	若衆	1931(昭和6)年	木彫・着色	45.0×12.2×14.8	上田市立美術館
14	吉田白嶺	若衆	1927(昭和2)年	木彫・着色	H44.1	個人蔵 (小杉放電記念日光美術館寄託)
15	中村直人	町娘	昭和初期	木彫・着色	51.0×15.0×14.3	上田市立美術館
16	中村直人	猫	1977(昭和52)年	ブロンズ	H40.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
17	佐藤玄々(朝山) 牝猫		1928(昭和3)年	木彫	37.5×43.0×13.5	福島県立美術館 横井美恵子コレクション
18	中村直人	禿鷲	1951(昭和26)年	木彫	58.0×25.0×16.0	日本芸術院
19	中村直人	鷹	1940(昭和15)年	木彫	52.0×21.5×18.5	小杉放電記念日光美術館
20	中村直人	従軍 絵葉書(14枚)	1938(昭和13)年	はがき	各9.2×14.1	個人蔵
21	中村直人	北支山西省馬頭歌	1937(昭和12)年	墨・紙	47.0×36.0	上田市立美術館
22	中村直人	大同雲崗鎮石仏	1930年代	絹本着色	67.7×51.5	上田市立美術館
23	小杉未醒(放電) 寒山子		1920(大正9)年頃	絹本着色	39.8×50.0	小杉放電記念日光美術館
24	小杉未醒(放電) 雨		1920(大正9)年頃	絹本着色	63.5×71.0	小杉放電記念日光美術館
25	中村直人	素戔鳴命(すさのおのみこと)	昭和初期	木彫・着色	H39.4	上田市立美術館
26	中村直人	支那服の女	1934(昭和9)年	木彫・着色	165.0×45.0×33.0	個人蔵
27	中村直人	姑娘(クーニャン)	1937-38(昭和12-13)年頃	油彩・板	15.5×20.0	小杉放電記念日光美術館
28	中村直人	北京の店	1936(昭和11)年	油彩・カンヴァス	18.5×16.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
29	中村直人	天津の娘	1937(昭和12)年	水彩・紙	33.3×27.0	上田市立美術館
30	中村直人	機次(ゆじ)から来た女	1937(昭和12)年	淡彩・紙	28.0×36.0	上田市立美術館
31	中村直人	神風号飛行士像(塚越機関士)	1937(昭和12)年	石膏・着色	41.6×28.0×24.9	上田市立美術館
32	中村直人	防人(さきもり)	1938(昭和13)年	木彫・彩色	188.0×136.5×46.0	愛知県美術館
33	中村直人	草薙剣(くさなぎのつるぎ)	1941(昭和16)年	木彫	H181.5	静岡市立登呂博物館
34	中村直人	暁の進軍	1938(昭和13)年	石膏・着色	98.0×201.0×20.0	上田市立美術館
35	中村直人	『海軍』挿絵「かきなほしの絵」	1942(昭和17)年	水墨・鉛筆・紙	21.2×27.0	常楽寺美術館
36	中村直人	『海軍』挿絵 第2回	1942(昭和17)年	水墨・鉛筆・紙	21.2×27.0	常楽寺美術館
37	中村直人	『靖國之繪巻』より	1943(昭和18)年	紙・印刷	18.2×25.7	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵者
40	中村直人	裸婦(朝)	1948(昭和23)年	木版・紙	29.0×32.0	上田市立美術館 [森工房コレクション]
41	中村直人	洗濯女(昼)	1948(昭和23)年	木版・紙	22.0×20.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
42	中村直人	裸婦(夜)	1948(昭和23)年	木版・紙	28.0×30.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
43	中村直人	版木《朝》	1948(昭和23)年	木		上田市立美術館
44	中村直人	版木《晝》《夜》	1948(昭和23)年	木		上田市立美術館
45	中村直人	[婦人像]	1950-52(昭和25-27)年頃	石膏	H37.0	個人蔵
46	中村直人	[婦人像]	1950-52(昭和25-27)年頃	石膏	H85.0	個人蔵
47	中村直人	パリのキオスク	1952-64(昭和27-39)年	水彩・紙	62.5×53.5	上田市立美術館 [森工房コレクション]
48	中村直人	鳥獣(いか)	1953(昭和28)年	水墨・紙	54.0×65.5	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
49	中村直人	娘と猫の像	1954(昭和29)年	グアッシュ・紙	62.7×47.8	小杉放菴記念日光美術館
50	中村直人	[母子]	1950年代	グアッシュ・紙	82.0×71.0	個人蔵
51	中村直人	ピエロー家	1954(昭和29)年	グアッシュ・紙	88.0×96.0	株式会社 大丸松坂屋百貨店
52	中村直人	二人の女性(大原女)	1954(昭和29)年	グアッシュ・紙	49.0×60.0	小杉放菴記念日光美術館
53	中村直人	天照(あまてらす)	1953(昭和28)年	グアッシュ・紙	78.0×64.0	個人蔵
54	中村直人	ジャポネーゼ	1950年代	グアッシュ・紙	49.6×61.2	小杉放菴記念日光美術館
55	中村直人	[笛を吹く女]	1952-64(昭和27-39)年	グアッシュ・紙	98.8×48.9	上田市立美術館
56	中村直人	大原女(おはらめ)	1956(昭和31)年	グアッシュ・紙	73.0×53.5	長野県立美術館
57	中村直人	黄色い服を着た子供	1954(昭和29)年	グアッシュ・紙	74.0×60.0	小杉放菴記念日光美術館
58	中村直人	鳥と女	1952-64(昭和27-39)年	グアッシュ・紙	62.0×51.5	上田市立美術館 [森工房コレクション]
59	中村直人	パリのカフェ	1952-64(昭和27-39)年	油彩・カンヴァス	91.0×117.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
60	中村直人	パリ風景	1955(昭和30)年	墨、淡彩・紙	67.0×73.5	小杉放菴記念日光美術館
61	中村直人	教会寺院	1955(昭和30)年頃	グアッシュ・紙	53.0×45.0	小杉放菴記念日光美術館
62	中村直人	裸婦	1955(昭和30)年	グアッシュ・紙	60.0×45.0	小杉放菴記念日光美術館
63	中村直人	少女	1952-64(昭和27-39)年	グアッシュ・紙	100.3×65.5	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
64	藤田嗣治	赤毛の女	1917(大正6)年	水彩・紙	26.5×20.0	目黒区美術館
65	藤田嗣治	横たわる裸婦	1920-29(大正9-昭和4)年頃	銅版・紙	37.0×56.0	目黒区美術館
66	藤田嗣治	人形を持った少女	1951(昭和26)年	水彩・紙	21.5×16.0	目黒区美術館
67	中村直人	裸婦	1952-64(昭和27-39)年	グアッシュ・紙	65.0×54.0	上田市立美術館
68	中村直人	女と猫	1952-64(昭和27-39)年	グアッシュ・紙	61.0×46.8	上田市立美術館
69	中村直人	壇輪	1952-64(昭和27-39)年	グアッシュ・紙	101.5×60.5	上田市立美術館 [森工房コレクション]
70	中村直人	パリ	1952-64(昭和27-39)年	淡彩・紙	55.0×62.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
71	中村直人	オコの像	1952-64(昭和27-39)年	グアッシュ・紙	91.0×72.8	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
72	中村直人	双猫	1952-64(昭和27-39)年	グアッシュ・紙	41.0×58.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
73	中村直人	花	1952-64(昭和27-39)年	グアッシュ・紙	67.5×57.0	上田市立美術館 [森工房コレクション]
74	中村直人	南仏風景	1952-64(昭和27-39)年	淡彩・紙	53.0×39.5	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
75	中村直人	雄鶏	1952-64(昭和27-39)年	グアッシュ・紙	38.2×45.8	上田市立美術館
76	中村直人	居酒屋	制作年不詳	淡彩・紙	53.0×65.5	上田市立美術館
77	中村直人	デッサン 裸婦	1965-81(昭和40-56)年	鉛筆・紙	30.0×38.5	上田市立美術館 [森工房コレクション]

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵者
78	中村直人	デッサン 越生の民家	1967(昭和42)年	コンテ、水彩・紙	36.7×44.8	上田市立美術館
79	中村直人	デッサン 千曲川所見	1967(昭和42)年	コンテ・紙	36.5×45.5	上田市立美術館 [森工房コレクション]
80	中村直人	デッサン 子供	1966(昭和41)年	コンテ・紙	48.2×33.2	上田市立美術館
81	中村直人	デッサン パンテオン	1955(昭和30)年	コンテ・紙	74.0×52.0	上田市立美術館 [森工房コレクション]
82	中村直人	デッサン 老人	1963(昭和38)年	コンテ、水彩・紙	53.2×36.5	上田市立美術館
83	中村直人	デッサン 裸婦	1952-64(昭和27-39)年	パステル・紙	51.5×35.0	上田市立美術館 [森工房コレクション]
84	中村直人	デッサン 裸婦	制作年不詳	コンテ・紙	43.0×33.1	上田市立美術館
85	中村直人	デッサン 少女	制作年不詳	水彩・紙	44.0×32.5	上田市立美術館
86	中村直人	悲しみ	1961(昭和36)年	グアッシュ・紙	39.0×25.0	上田市立美術館
87	中村直人	道化師	1960(昭和35)年	グアッシュ・紙	62.5×52.5	上田市立美術館 [森工房コレクション]
88	中村直人	クルン	1960(昭和35)年	グアッシュ・紙	83.5×83.5	上田市立美術館 [森工房コレクション]
89	中村直人	巴里の白い家	1960(昭和35)年	グアッシュ・紙	53.3×64.3	小杉放蕩記念日光美術館
90	中村直人	桃のある風景	1963(昭和38)年	グアッシュ・紙	65.0×49.0	小杉放蕩記念日光美術館
91	中村直人	狐と女	1962(昭和37)年	グアッシュ・紙	64.0×53.0	信越放送株式会社
92	中村直人	パリの初夏	1964(昭和39)年	グアッシュ・紙	57.0×72.5	小杉放蕩記念日光美術館
93	中村直人	ピエロと鳥	1965(昭和40)年	グアッシュ・紙	61.0×50.0	小杉放蕩記念日光美術館
94	中村直人	クルン	制作年不詳	乾漆	H.51.0	上田市立美術館
95	中村直人	パリ風景	1952-64(昭和27-39)年	淡彩・紙	55.0×63.8	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
96	中村直人	夢	1952-64(昭和27-39)年	ブロンズ	H.56.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
97	中村直人	魔除け	1960(昭和35)年	ブロンズ	H.63.0	上田市立美術館
98	中村直人	土蜘蛛	1952-64(昭和27-39)年	淡彩・紙	90.0×65.0	上田市立美術館
99	中村直人	母の像	制作年不詳	グアッシュ・紙	79.0×65.2	上田市立美術館
100	中村直人	帆船	1952-64(昭和27-39)年	油彩・カンヴァス	81.5×100.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
101	中村直人	パリ風景	1964(昭和39)年	淡彩・紙	67.0×87.0	上田市立美術館
102	中村直人	パリの赤い家	1953(昭和28)年	グアッシュ・紙	65.0×80.0	小杉放蕩記念日光美術館
103	中村直人	赤い屋根の家	制作年不詳	リトグラフ・紙	ed. EA 57.0×68.0	上田市立美術館
104	中村直人	横臥する裸婦	1965(昭和40)年	グアッシュ・紙	167.0×98.5	個人蔵
105	中村直人	泣き虫小僧	1977(昭和52)年	グアッシュ・紙	53.0×46.0	小杉放蕩記念日光美術館
106	中村直人	ケニー	1973(昭和48)年	eリトグラフ・紙	d. 6/50 62.0×43.0	上田市立美術館 [森工房コレクション]
107	中村直人	パリの女	1973(昭和48)年	リトグラフ・紙	66.0×50.3	上田市立美術館
108	中村直人	緑衣の女	1970(昭和45)年	グアッシュ・紙	91.0×58.0	個人蔵
109	中村直人	緑衣の女(5枚組)	1971(昭和46)年	リトグラフ・紙	各45.5×32.0	上田市立美術館
110	中村直人	会合	1980(昭和55)年	グアッシュ・紙	112.0×162.0	長野県立美術館
111	中村直人	ピエロ一家	1976(昭和51)年	グアッシュ・紙	97.0×130.0	小杉放蕩記念日光美術館
112	中村直人	裸婦(やすらぎ)	1971(昭和46)年	グアッシュ・紙	197.0×290.9	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
113	中村直人	かも鹿	1977(昭和52)年	ブロンズ	H.46.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
114	中村直人	雛鶴	1978(昭和53)年	ブロンズ	H.54.0	個人蔵 (上田市立美術館寄託)
115	中村直人	裸婦	1981(昭和56)年	ブロンズ	31.0×18.4×16.0	小杉放蕩記念日光美術館

目黒区美術館コレクション展 版画いろいろ + 特集展示 秋岡芳夫全集6 銅版画

会期：2023年10月7日(土)～11月12日(日) 32日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

入場者数：2,600人

担当学芸員：重田正恵



今回は、当館のコレクションの中に多数収蔵されている版画作品に改めて着目し、版種や作品の形態などに特に焦点を当てた展示とした。

主要な版種の、凸版、凹版、平版、孔版、その他(混合技法、モノタイプ)の分類で展示を構成した。道具や制作プロセスの分かる動画を町田市立国際版画美術館より借用し展示したことで、来館者からは通常は分かりづらい版画の技法が良く理解できたなどの感想が寄せられた。

展示室Bでは特集展示として「秋岡芳夫全集6 銅版画」を開催した。秋岡芳夫は目黒ゆかりの工業デザイナーだが、銅版画を制作していたことはあまり知られていない。1950年前半に制作された、秋岡芳夫と、共に銅版画制作を学んでいた妻の芳子の作品のみならず、試刷りや資料類も展示した。

●広報印刷物

ポスター B2 / チラシ A4(4種)

●関連催事

1. 版画の実験室

講師：目黒区美術館学芸員 他 / 開催日：10月17日(火)～27日(金) / 参加人数：延べ186人

2. 大人ののための美術カフェ

ナビゲーター：重田正恵(当館学芸員) / 開催日：10月21日(土) / 参加人数：25人

3. うちんち! べちゃくちやミュージアム・インスタライブ

ナビゲーター：重田正恵(当館学芸員)、メグロアソビ冒険隊(中村良子、山本桃子、澤村幸子) / 開催日：10月21日(土) / 参加人数：①9:30-32名 ②13:00-26名



A4チラシ

出品リスト

【版画いろいろ】

凡例

・参考資料の一部を除き、全て目黒区美術館蔵。

・作品データは、出品番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ(cm) | エディション情報等作品に付随する情報 | 発行者 の順に記載した。

・Ed=エディション(限定部数)に関する情報

A.P.=Artist Proof[作家保存]

E.P.=Epreuve d'artiste[作家保存]

H.C.=Hors Commerce[非売品]

P.P.=Printer's Proof[工房保存]

B.A.T.=bon à tirer[刷り見本]

T.P.=Trial Proof[試し刷り]

■凸版

- I-1 松原直子 | 秋色(ウォールデン) | 1971 | 木版・紙 | 55.0×52.0 | Ed: A.P.
- I-2 松原直子 | 温室 I | 1962 | 木版・紙 | 63.0×47.5
- I-3 藤田嗣治 | グッドバイ・ニューヨーク | 1950 | 木版、コラージュ・紙 | 21.5×22.0
- I-4-(1)~(14) 関野準一郎 | 年賀状 | 木版・紙
- (1) 1971年・年賀状(亥) | 1970 | 9.5×14.0
 - (2) 1972年・年賀状(子) | 1971 | 14.0×9.0
 - (3) 1974年・年賀状(寅) | 1973 | 9.5×14.0
 - (4) 1975年・年賀状(卯) | 1974 | 14.0×9.0
 - (5) 1976年・年賀状(辰) | 1975 | 14.0×9.0
 - (6) 1977年・年賀状(巳) | 1976 | 14.0×9.0
 - (7) 1978年・年賀状(午) | 1977 | 9.5×14.0
 - (8) 1981年・年賀状(酉) | 1980 | 9.5×14.0
 - (9) 1982年・年賀状(戌・重ね重ね笑う) | 1981 | 14.0×9.0
 - (10) 1982年・年賀状(戌) | 1981 | 14.0×9.0
 - (11) 1984年・年賀状(子) | 1983 | 14.0×9.0
 - (12) 1985年・年賀状(丑) | 1984 | 14.0×9.0
 - (13) 1986年・年賀状(寅・虎の門) | 1985 | 14.0×9.0
 - (14) 1987年・年賀状(卯) | 1986 | 14.0×9.0
- I-5 畦地梅太郎 | 版画集『山の呼ぶ声』 | 1963 | 木版・紙 | 点数:5点+外箱、フロントピース | 紙寸各26.2×19.9 | Ed: A.P. 12/20 ed.100 | 発行:創文社、文:畦地
- (1) 山男/(2) 山の鳥/(3) 雪溪/(4) 雪鳳/(5) 山の呼ぶ声 (全5点)
- I-6 日和崎尊夫 | 版画集『卯』 | 1970 | 小口木版・越前福井島ノ子紙 | 点数:8点+外箱1点+奥付1点 | 紙寸各42.0×68.0 | Ed: 29/50 A.P.6 | 発行:シロタ画廊
- (1) 世界を刺る…/(2) 伐り倒された… (計2点)
- I-7 柄澤齊 | 版画集『燭罪領く七つの大罪による』 | 1974-75 | 小口木版、雁皮刷・アルシュ | 点数:15点+箱表紙1点 | 紙寸各38.3×28.5 | Ed: A.P.8 ed.55 | 発行:シロタ画廊、序文:出口裕弘
- (1) 虚栄 I/(2) 虚栄 II/(3) 貪欲 I/(4) 貪欲 II/(5) 嫉妬 I/(6) 嫉妬 II/(7) 死の舞踏 (計7点)
- I-8 若林哲 | 版画集『余白の浸食』 | 1973 | 亜鉛凸版・印刷局紙 | 点数:5点+表紙 | 紙寸各26.5×35.0 | Ed: H.C.9/10 ed.55 | 発行:林グラフィックプレス
- (1)~(5) (全5点)
- I-9 藤田嗣治 | スパニッシュ I | 制作年不詳 | フロッタージュ・紙 | 13.0×9.5
- I-10 藤田嗣治 | スパニッシュ II | 制作年不詳 | フロッタージュ・紙 | 13.0×9.5
- I-11-(1) 淀井彩子 | コンポジション(2) | 1996 | コラグラフ・紙 | 65.7×51.4
- I-11-(2) 淀井彩子 | コンポジション(4) | 1996 | コラグラフ・紙 | 62.3×51.3

■凹版

- II-1 駒井哲郎 | 夜の中の女 | 1951 | インタリオ・紙 | 23.7×18.7 | Ed: 4/25
- II-2 山本鼎 | フランス風景 | 1913年頃 | エッチング・紙 | 18.0×13.0
- II-3 瑛九 | シグナル A | 1953 | エッチング・紙 | 36.3×26.6 | Ed: 2
- II-4 浜田知明 | 風景 | 1953 | エッチング・紙 | 36.2×29.8 | Ed: 11/50
- II-5 清原啓子 | 雨期 | 1980 | エッチング・紙 | 53.5×43.5 | ※1990年に後刷り
- II-6 清原啓子 | 雨期の後 | 1980 | エッチング・紙 | 53.1×41.5 | ※1990年に後刷り
- II-7 蒲地清爾 | 蟹気楼 | 1987 | エッチング、アクアチント・紙 | 60.2×45.2 | Ed: 41/50
- II-8 長谷川潔 | コップに挿した種子草(秋) | 1931 | ドライポイント・紙 | 24.8×20.7 | Ed: 20/35
- II-9 長谷川潔 | 奇術 | 1925 | ドライポイント・紙 | 11.6×8.0 | Ed: 18/25
- II-10 長谷川潔 | 奇術 | 1925 | ドライポイント、水彩・紙 | 11.6×8.0 | Ed: E.A.
- II-11 麻田浩 | 版画集『地の上で』 | 1978 | エッチング、アクアチント・紙 | 点数:7点(多色) | 紙寸各33.7×25.4 | Ed: 38/60 A.P.13 刷:Leblanc,Paris | 発行:大阪フォルム画廊
- (1)~(4) (計4点)
- II-12 相笠昌義 | 版画集『女・時の過ぎゆくまに』 | 1979 | エッチング、アクアチント・紙 | 点数:8点(単色カラー) | 紙寸各39.5×42.0 | Ed: 69/77 A.P.10 H.C. | 発行:77 ギャラリー
- (1) 舞妓座像図/(2) 髪を結う女/(3) 晩年 (計3点)

- II-13 中林忠良 | 版画集『剥離される日々』 | 1973 | 点数:14点 | 紙寸各45.0×34.2 | Ed: 4/14 AP.5 H.C.3 | 発行:シロタ画廊
 (1) 剥離される風景—花の憂慮 | エッチング、ディープエッチング・紙
 (2) 出港するS.E.A | メゾチント・エッチング・紙
 (3) 囚われる風景—浸食の過程 | エッチング・アクアチント・メゾチント・紙
 (4) 囚われる風景—私眺 | エッチング、メゾチント、アクアチント・紙
 (計4点)
- II-14 国吉康雄 | 一人が眠っている二人の裸婦 | 1916-18 | ドライポイント・紙 | 7.6×10.1 | Ed: 5
- II-15 池田満寿夫 | 節窓の中 | 1963 | ドライポイント、ルーレット・紙 | 39.5×34.5 | Ed: 12/20
- II-16 青木野枝 | 版画集『雲垣』 | 1997 | ドライポイント(1版1色)・紙 | 点数:5点 | 紙寸各52.0×43.0 | 刷:エディション・ワークス | Ed: 25 AP.3 PP.1 BA.T.1 H.C.1
 (1)~(5) (全5点)
- II-17 浜口陽三 | 縮み棒 | 1985 | メゾチント・紙 | 24.3×54.6 | Ed: 71/150
- II-18 秀島由己男 | 版画集『わらべ唄』 | 1972 | メゾチント、雁皮刷・紙 | 点数:6点 | 紙寸各48.0×40.8 | 刷:林健夫 | Ed: 11/60 AP.15 | 発行:南天子画廊
 (1)太郎 (計1点)
- II-19 東貞美 | 版画集『觸視空間』 | 1974-75 | エンゲレーヴィング・BFK 紙 | 点数:10点 | 紙寸各31.5×30.0 | 刷:東貞美 | Ed: A.P./75(特装本10) | 発行:ウナック・トウキョウ
 (1)夕暮れの陥穽/(2) 潜水あるいは浮上 (計2点)
- II-20 久保卓治 | Brazilian Dragonfly | 1988 | エンゲレーヴィング・ハーネミュレ紙 | 15.0×18.0 | Ed: E.A.
- II-21 滝井彩子 | 芭蕉・時間 | 2005 | カーボラダム・紙 | 点数:8点組 | Ed: 6/10
 (1)~(3) (計3点)
- II-22 駒井哲郎 | 版画集『人それと呼んで反歌という』 | 1965 | シュガー・アクアチント、エッチング、ドライポイント、エンゲレーヴィング、ルーレットなど・紙 | 点数:10点(蛇腹折2冊分)(多色) | 紙寸各32.6×50.6 | Ed: 15/60 AP.7 H.C.1 | 発行:青土社 エディション・ワークス

■平版

- III-1 小林幸彦 | Class Room | 1993 | リトグラフ・紙 | 35.0×25.5 | Ed: 7/10
- III-2 郭徳俊 | フォードと郭 | 1974 | リトグラフ・紙 | 57.5×34.0 | Ed: 92/100
- III-3 ロバート・ラウシェンバーク | 版画集『Tribute21』 | 1994 | オフセット、リトグラフ・紙 | 点数:22点 | 各106.0×68.0 | Ed: H.C.19/22 | 発行:株式会社フェリシモ
 (1) 文学 捧げる代表者 トニー・モリソン
 (2) 子供達 捧げる代表者 オードリー・ヘップバーン
 (3) 保健 捧げる代表者 マチルダ・クリム
 (4) 環境 捧げる代表者 アル・ゴア
 (5) 労働 捧げる代表者 レーン・カーグラント
 (6) 平和 捧げる代表者 ミハイル・ゴルバチョフ
 (7) 民族文化 捧げる代表者 グライ・ラマ
 (8) 教育 捧げる代表者 ジム・ヘンソン
 (9) 建築 捧げる代表者 R.バックミンスター・フラー
 (10) 映画 捧げる代表者 スティーブン・スピルバーグ
 (計10点)
- III-4 野中ユリ | 版画集『イリュミナシオン—大洪水の後 | 神秘 | 花々 | 野蠻』 | 1975 | リトグラフ、コロタイプ・紙 | 点数:5点(多色) | 刷:東京写真印刷所、尾崎正志 | Ed: 16/50 H.C.10 | 発行:青画廊
 (1) 神秘/(2) 神秘 (計2点)
- III-5 小作青史 | 版画集『VARIATION A』 | 1974 | リトグラフ・紙 | 点数:25点 | 刷:版画工房KEN | Ed: 13/15 AP.5 H.C.2 | 発行:大阪フォルム画廊
 (1)~(25) (全25点)

■孔版

- IV-1 草間彌生 | 帽子 | 1982 | シルクスクリーン・紙 | 55.4×68.7 | Ed: A.P.
- IV-2 住川忠夫 | 5本の線のために(グレー) | 1982 | シルクスクリーン・紙 | 54.0×48.9 | Ed: 2/25
- IV-3 住川忠夫 | 5本の線のために(ブルー) | 1982 | シルクスクリーン・紙 | 54.0×48.9 | Ed: 4/10
- IV-4 住川忠夫 | 5本の線のために(ワインレッド) | 1982 | シルクスクリーン・紙 | 54.0×48.9 | Ed: 8/10
- IV-5 矢柳剛 | 版画集『愛の動物誌』 | 1972 | シルクスクリーン・紙 | 点数:10点(多色) | 紙寸各54.6×79.0 | 刷:酒寄昭 | Ed: 36/50 | 発行:矢柳剛
 (1) D./ (2) G./ (3) H./ (4) J. (計4点)
- IV-6 矢柳剛 | 版画集『愛の動物誌 第二部』 | 1973 | シルクスクリーン・紙 | 点数:10点(多色) | 紙寸各54.6×79.0 | 刷:酒寄昭、石田了一 | Ed: 29/50 | 発行:矢柳剛
 (1) L./ (2) P./ (3) R. (計3点)

■その他・混合技法

- V-1 深沢幸雄 | 版画集『宮沢賢治「春と修羅」より』 | 1970 | 点数:10点 | 紙寸各29.7×23.7 | Ed: 36/50 AP.5 H.C.5 | 発行:株式会社フジ美術
 (1)「序」 アクアチント、エッチング、マジックインク、メゾチント、ドライポイント、雁皮刷・紙
 (2)「オホーツク挽歌」 アクアチント、ドライポイント、マジックインク、塗り分けによる多色、雁皮刷・紙
 (3)「札幌市」 アクアチント、エッチング、ハンダ、塗り分けによる多色、雁皮刷・紙
 (4)「樺太鉄道」 アクアチント、ハンダ、ドライポイント、塗り分けによる多色、雁皮刷・紙
 (5)「(堅い)環路は…」 エッチング、アクアチント、ドライポイント、ハンダ、塗り分けによる多色、雁皮刷・紙
 (6)「肺炎詩篇より」 エッチング、アクアチント、ドライポイント、ソフトグラウンドエッチング・紙
 (計6点)

- V-2 古茂田守介 | ふたつの壺 | 制作年不詳 | モノタイプ・紙 | 36.0×25.0
- V-3 駒井哲郎 | 二つの旗のある風景 | 1972-73 | モノタイプ・紙 | Bd: 1/1 | 19.0×19.6
- V-4 中西夏之 | 版画集『Arc』 | 1978 | 凸版、エッチング・アルシュ紙 点数: 8点(蛇腹) | 刷・発行: 林グラフィックプレス Ed: 22/80 A.P.8 H.C.5 P.P.1
- V-5 黒崎彰 | 版画集『中国』 | 1980 | 点数: 10点(多色) | 紙寸各56.0×43.0 | 刷: 内山宗平、黒崎彰 Ed: 69/75 A.P.8 | 発行: シロタ画廊
(1) 京劇 | 木版15版22色、シルクスクリーン・紙
(2) 上海算盤 | 木版9版17色、シルクスクリーン・紙
(計2点)
- V-6 井田照一 | 版画集『Surface is the Between -Lotus Sutra-』 | 1979 | 点数: 11点 刷: リトグラフ・下岡由明、シルクスクリーン・墨田豊司、エッチング・加藤史郎
Ed: 12/100 A.P.10 T.P.10 | 発行: スタジオ風、墨田スクリーンプリントスタジオ
(1) 紙とインクの間に金網 No.2 | シルクスクリーン、墨インク、油絵具・ファブリアーノ紙
(2) 掻ききざと掻く事の間に紙 No.6 | リトグラフ、エッチング(亜鉛板、銅板)、墨インク、2版2度両面刷り・岐阜騰写版原紙、ファブリアーノ紙
(3) 鉄板の上に砂鉄 | シルクスクリーン、砂鉄に樹脂性接着剤、鉄板・ファブリアーノ紙
(4) 落下と水平 リトグラフ(亜鉛板)、墨インク、2版2度両面刷り・美濃緒薄紙、ファブリアーノ紙
(5) 落下のしみと広がるしみの間に紙 フォトシルクスクリーン、墨インク、2版2度両面刷り・堀井天平紙、ファブリアーノ紙
(6) 墨インクの中の紗 シルクスクリーン、墨インク・紗、ファブリアーノ紙
(計6点)

参考資料

1. 日和崎尊夫『版画集『卵』』 版木に使用された同じ木からとられた木口板(ツバキ)
2. 樹皮のついた木片(目黒区美術館「素材の引き出し博物館—木」より)
3. 版画の道具(町田市立国際版画美術館 所蔵)

木版画[凸版]制作の道具

- ・版木、摺り見本[板目木版]
- ・ばれん
- ・刷毛[手刷毛、丸刷毛]
- ・彫刻刀[切り出し、丸刀、平刀]

銅版画[凹版]制作の道具

- ・下絵
- ・グラウンド引き(防蝕)された銅板に描画した版
- ・銅版原版、刷り見本[エンゲレーヴィング]
- ・銅版原版、刷り見本[エッチング]
- ・銅版原版、刷り見本[アクアチント]
- ・銅版原版、刷り見本[メゾチント]
- ・ビュラン、ニードル、パニッシャー、スクレーパー

リトグラフ[平版]制作の道具

- ・刷り見本[エゲンラッカー版+主版+手書き版] ※3版刷り重ねたもの
- ・原版、刷り見本[エゲンラッカー版]
- ・原版、刷り見本[主版]
- ・アラビアゴム[固形、液体]
- ・版制作の描画材[リトクレヨン、紙巻ペン、解き墨]
- ・ゴムローラー ※目黒区美術館所蔵

シルクスクリーン[孔版]制作の道具

- ・刷り見本[刷り見本[黒い紙版+アンバーフィルム版+手描き版] ※3版刷り重ねたもの
- ・アンバーフィルムで制作した版
- ・原稿、刷り見本[黒い紙]
- ・原稿、刷り見本[アンバーフィルム]
- ・原稿、刷り見本[手描き]
- ・版制作の描画材[製図用墨、オペークインク、オペークペン、顔料系ペン]
- ・スキージ

【秋岡芳夫全集 6 銅版画】

凡例

- ・作品のデータは、出品番号 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ(cm) | 所蔵者の順に記載した。
- ・タイトルが不明な作品は「無題」と表記した。
- ・制作のための資料は、予想としての試し刷り順に展示した。
- ・作家名の記載がないものは全て秋岡芳夫作品。
- ・所蔵者の記載がないものは全て目黒区美術館蔵。

1. 無題 | 1950年代前半 | アクアチント、エッチング・紙 | 14.7×17.6 | 個人蔵
制作のための資料5点
 - (1) 墨、ホワイテ・紙 | 15.2×21.2
 - (2) 墨、ホワイテ・紙 | 14.3×19.0
 - (3) 墨、鉛筆、ホワイテ・紙 | 15.1×19.9
 - (4) 墨、鉛筆、ホワイテ・紙 | 16.4×19.5
 - (5) アクアチント、エッチング・紙 | 14.8×18.0

2. 無題 | 1950年代前半 | アクアチント、エッチング・紙 | 14.7×17.6 | 個人蔵
制作のための資料12点、原版1点
 - (1) アクアチント、エッチング、鉛筆・紙 | 13.7×19.4
 - (2) アクアチント、エッチング・紙 | 15.2×19.0
 - (3) アクアチント、エッチング、鉛筆、ホワイト・紙 | 15.2×19.0
 - (4) アクアチント、エッチング、鉛筆、ホワイト・紙 | 14.6×18.2
 - (5) アクアチント、エッチング・紙 | 15.2×19.0
 - (6) アクアチント、エッチング・紙 | 15.2×19.0
 - (7) アクアチント、エッチング・紙 | 15.0×18.4
 - (8) アクアチント、エッチング・紙 | 15.2×19.0
 - (9) アクアチント、エッチング・紙 | 15.2×19.0
 - (10) アクアチント、エッチング・紙 | 15.2×19.0
 - (11) アクアチント、エッチング・紙 | 14.8×17.6
 - (12) アクアチント、エッチング、鉛筆・紙 | 14.8×17.6
 - (13) 原版 | 真鍮 | 15.2×19.2
3. 夜の楽士達 | 1953年 | メゾチント・紙 | 12.2×17.5 | 個人蔵
制作のための資料12点、原版1点
 - (1) メゾチント、ホワイト・紙 | 12.3×17.8
 - (2) メゾチント・紙 | 12.6×16.6
 - (3) メゾチント・紙 | 12.5×17.6
 - (4) メゾチント、鉛筆・紙 | 12.5×17.7
 - (5) メゾチント・紙 | 12.4×17.9
 - (6) メゾチント・紙 | 12.3×17.5
 - (7) メゾチント・紙 | 12.4×17.9
 - (8) メゾチント・紙 | 12.5×17.7
 - (9) メゾチント・紙 | 12.5×17.6
 - (10) メゾチント・紙 | 12.5×17.6
 - (11) メゾチント・紙 | 12.3×17.5
 - (12) メゾチント・紙 | 12.3×17.3
 - (13) 原版 | 銅 | 12.6×18.1
4. 分裂現象 | 1954年 | アクアチント、ドライポイント・紙 | 12.4×21.8 | 個人蔵
制作のための資料5点、原版1点
 - (1) インク、墨、ホワイト、鉛筆・紙 | 12.8×22.5
 - (2) エッチング・紙 | 12.5×21.7
 - (3) エッチング・アクアチント・紙 | 12.5×21.7
 - (4) エッチング・アクアチント・紙 | 12.5×19.4
 - (5) 墨、ホワイト・紙 | 9.5×18.0
 - (6) 原版 | 真鍮 | 12.6×22.3
5. 現代人 | 1953年 | メゾチント、エッチング・紙 | 17.0×16.8 | 個人蔵
制作のための資料13点、原版1点
 - (1) メゾチント、エッチング・紙 | 16.7×17.0
 - (2) メゾチント、エッチング・紙 | 16.8×17.1
 - (3) メゾチント、エッチング・紙 | 16.7×17.0
 - (4) メゾチント、エッチング、鉛筆・紙 | 16.7×17.0
 - (5) メゾチント、エッチング、鉛筆・紙 | 16.7×17.0
 - (6) メゾチント、エッチング・紙 | 16.7×17.0
 - (7) メゾチント、エッチング、ホワイト・紙 | 16.9×16.8
 - (8) メゾチント、エッチング、墨、ホワイト・紙 | 16.7×17.0
 - (9) メゾチント、エッチング・紙 | 17.0×17.0
 - (10) メゾチント、エッチング・紙 | 16.8×17.0
 - (11) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 16.8×17.0
 - (12) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 16.8×17.0
 - (13) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 16.8×17.0
 - (14) 原版 | 銅 | 17.0×17.2
6. 無題 | 1952年頃 | メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.7×17.6 | 個人蔵
制作のための資料15点、原版1点
 - (1) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.5×17.7
 - (2) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.5×17.7
 - (3) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.5×17.7
 - (4) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.5×17.7
 - (5) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.5×17.7
 - (6) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.5×17.7
 - (7) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.5×17.7
 - (8) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.5×17.7
 - (9) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.5×17.6
 - (10) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.5×17.6
 - (11) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.5×17.7
 - (12) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.5×17.6
 - (13) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.5×17.6

- (14) メゾチント、エッチング、アクアチント・紙 | 14.5×17.6
- (15) メゾチント、エッチング、アクアチント、墨・紙 | 13.9×16.3
- (16) 原版 | 銅 | 14.6×18.0

7-1. 無題 | 1950年代前半 | エッチング、アクアチント・紙 | 8.2×9.3 | 個人蔵

7-2. 無題 | 1950年代前半 | 凸版・紙 | 8.2×9.3 | 個人蔵

制作のための資料3点、原版1点

- (1) エッチング・紙 | 8.9×9.1
- (2) エッチング・紙 | 8.9×9.1
- (3) エッチング・アクアチント・紙 | 8.8×9.1
- (4) 原版 | 銅 | 9.0×9.0

8. 無題 | 1950年代前半 | エッチング、アクアチント・紙 | 8.8×9.1 | 個人蔵

制作のための資料1点、原版1点

- (1) インク、鉛筆・紙 | 9.4×9.5
- (2) 原版 | 銅 | 9.0×9.0

9. 無題 | 1950年代前半 | エッチング・紙 | 10.4×10.4 | 個人蔵

制作のための資料1点

- (1) インク、鉛筆・紙 | 10.6×10.7

10. 無題 | 1950年代前半 | アクアチント・紙 | 9.5×12.5 | 個人蔵

11. 無題 | 1950年代前半 | エッチング、ドライポイント・紙 | 16.9×10.8 | 個人蔵

12. 無題 | 1950年代前半 | エッチング、アクアチント・紙 | 12.0×8.8 | 個人蔵

13. 無題 | 1950年代前半 | エッチング・紙 | 13.3×9.3 | 個人蔵

14. 無題 | 1950年代前半 | エッチング、アクアチント・紙 | 13.5×10.0 | 個人蔵

15. 無題 | 1950年代前半 | エッチング・紙 | 7.6×12.1 | 個人蔵

16. LIBRARIE YKAUZAK | 1950年代前半 | エッチング・紙 | 7.7×7.4 | 個人蔵

17. 無題 | 1950年代前半 | エッチング・紙 | 8.5×13.0 | 個人蔵

18. 銀河系の住い | 1954年 | アクアチント・紙 | 10.1×10.5 | 個人蔵

制作のための原版1点

- (1) 原版 | 銅 | 10.4×10.6

19. アンドロメダへの旅 | 1954年 | アクアチント・紙 | 16.7×10.8 | 個人蔵

制作のための原版1点

- (1) 原版 | 銅 | 16.8×11.0

20. 壁のある道 | 1954年 | アクアチント・紙 | 17.5×9.1 | 個人蔵

制作のための原版1点

- (1) 原版 | 銅 | 17.6×9.3

21. 人魚姫 | 1953年 | 着彩・紙 | 36.0×51.4

22. ヘリコプター | 1953年 | 着彩・紙 | 36.0×51.0 | 個人蔵

秋岡芳子作品

23. 無題 | 1950年代 | メゾチント・紙 | 18.0×10.5 | 個人蔵

24. 無題 | 1950年代 | メゾチント・紙 | 17.5×12.0 | 個人蔵

参考資料

・昭和28年日本銅版画協会 概要 | 1953年 | 個人蔵

・日本銅版画協会 規約 | 1953年頃 | 個人蔵

・日本版画協会21 回展 出品目録 | 1953年 | 個人蔵

・日本版画協会22 回展 出品目録 | 1954年 | 個人蔵

・「関野準一郎の個展」案内はがき 秋岡芳夫・芳子宛 | 1953年3月6日消印 | 個人蔵

・関野準一郎 | 『版画を築いた人々』 | 1973年 | 美術出版社

めぐろの子どもたち展

会期：2024年1月20日(水)～2月4日(日) 14日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ室、
区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園・こども園長会、目黒区立小学校長会、
目黒区立中学校長会、目黒区立特別支援学級設置校長会、
目黒区教育会、目黒区美術館、目黒区教育委員会

入場者数：11,406人

担当学芸員：重田正恵



目黒区立の幼稚園・こども園、小・中学校の子どもたちの作品を、表現活動の成果として展示する展覧会を開催した。

本展は教職員によって主導され、子どもたちの鑑賞教育の場として、また保護者や地域の人々が、教育現場における子どもたちの活動を理解する場として長きにわたりその役割を果たしている。当該年は、新たに東京都立特別支援学校に通う生徒の作品も展示した。(作品数：4,028点)

●広報印刷物

ポスター B2/チラシ A4

チラシ裏面内容：ごあいさつ(主催者) | 幼稚園・こども園 | 小学校・図画工作 | 小学校・書写 | 中学校・美術 | 中学校・書写 | 特別支援学級 | 米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展



A4チラシ

広がるコラージュ／同時開催 IIDA 101 飯田善國

会期：2024年2月17日(土)～3月24日(日) 32日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

入場者数：3,754人

担当学芸員：菅田あゆみ



コラージュは「糊で貼り付ける」という意味のフランス語(coller)から派生した言葉で、身近にある様々な素材を切り取り、組み合わせる手法である。「広がるコラージュ」展では、所蔵作品からコラージュによる作品や、その発想が読み取れる作品を選定し、多様な展開を紹介した。

また、目黒にゆかりの芸術家・飯田善國(1923-2006)の特集展示を同時開催した。2023年に生誕100周年を迎え、本年は飯田作品を所蔵する美術館が連携する「101年目からの飯田善國プロジェクト」の一環として、当館所蔵の作品・資料を中心に、画家・彫刻家・版画家、そして詩人・評論家として、多彩な足跡を残した同氏の仕事を振り返った。コラージュによる作品のほか、各ジャンルを自在に横断し、組み合わせたような制作スタイルに、このテーマとの関連を見出した。

教育普及事業と連動し、関連催事としてワークショップ等を数多く展開し、作品鑑賞だけでなく、体験をとおしてその手法を掘り下げていただける場を積極的に設けた。

●広報印刷物

ポスター B2／チラシ A4(A3二つ折り)

●関連催事

1. 講演会「飯田善國の野外モニュメントをめぐって」

講師：大久勉(元ナスエンジニアリング株式会社景観部)、山田敦雄(聞き手、当館元学芸員)／開催日：3月9日(土)／参加人数：29人

2. 講演会「飯田善國の詩と音楽の世界」

講師：田中聡(作曲家)、山田敦雄(聞き手、当館元学芸員)／3月10日(日)／参加人数：32人

3. 大人のための美術カフェ

ナビゲーター：菅田あゆみ(当館学芸員)／3月24日(日)／参加人数：25人

●主要関連記事

1. 読売新聞朝刊地域面「都内版」イベント情報 2024年2月23日

2. J-WAVE「GOOD NEIGHBORS」2024年2月27日 13:15～(10分間)

3. 新美術新聞総合・ニュース面展覧会情報寄稿 2024年3月1日

出品リスト

【広がるコラージュ】

凡例

・出品作品は、章ごとに分けて記載した。

・作品データは、出品番号 | 作家名 | 作品・資料名 | 制作・発行年 | 技法・材質等 | サイズ(cm) | 取得情報等の順に記載した。ただし、版画集の場合は、続けて、個々の作品番号 | 作品名 を記載した。

・全て目黒区美術館蔵。

No.	作家名	作品・資料名	制作・発行年	技法・材質等	サイズ(cm)	取得情報等				
第1章 色、かたち、デザイン										
1-1	磯辺行久	鳳シリーズ	1963-64	レリーフプリント、コラージュ・紙	187.0×91.0	1992年度 作者寄贈				
1-2	土屋幸夫	街—ニューヨークにて	1965	油彩、コラージュ・キャンバス	60.6×50.5	2010年度 高橋裕美氏 寄贈				
1-3	土屋幸夫	無題	制作年不詳	カッティングシート・板	61.0×60.5×5.5	2010年度 高橋裕美氏 寄贈				
1-4	土屋幸夫	無題	1970年代	コラージュ(サンドペーパー)・紙	48.4×48.4	2010年度 高橋裕美氏 寄贈				
1-5	土屋幸夫	無題	1994	レコード、差金、紙	51.0×72.8×1.0	2010年度 高橋裕美氏 寄贈				
1-6	安本亮一	『東京バック』1928年8月 (第17巻2号)表紙原画 「ショウ・ウィンドーからぬけ て来た女(張紙細工)」	1928	墨、コラージュ・紙	20.8×19.7	1981年度 購入				
1-7	淀井彩子	コンポジション(5)	1996	コラグラフ・紙	65.8×51.4	2011年度 作者寄贈				
1-8	淀井彩子	コンポジション(1)	1996	コラグラフ・紙	65.5×51.4	2011年度 作者寄贈				
1-9	草間彌生	帽子	1982	シルクスクリーン、コラージュ・紙	15.5×22.7	1984年度 購入				
1-10	草間彌生	南瓜	1982	シルクスクリーン、コラージュ・紙	15.7×22.7	1984年度 購入				
参考展示	ブルーノ・ムナリー	プラス・マイナス	1970	塩化ビニール		トイコレクション				
参考展示	ブルーノ・ムナリー	スライド	1959	セロハン、塩化ビニール		トイコレクション				
参考展示	カラーフォーム	Colorforms / カラーフォーム	1951	紙、ビニール		トイコレクション				
参考展示	ブルーノ・ムナリー	構成	1972	紙		トイコレクション				
資料映像	撮影者:松原諒	目黒区・自由が丘の岡田謙三 のアトリエ(5分44秒)								
1-11	岡田謙三	エスキース 1-4	制作年不詳	コラージュ		1985年度 岡田きみ氏 寄贈				
		エスキース 1 151.5×111.3×6.6 / エスキース 2 56.3×81.2×5.9 / エスキース 3 56.3×115.2×6.1 / エスキース 4 141.4×161.4×7.6								
1-12	岡田謙三	妻と子供	1966	油彩・キャンバス	194.5×126.0	1985年度 購入				
第2章 異質なイメージの組み合わせ										
2-1	ウジェーヌ・アジェ	プチダンケルクの看板のある キャバレー、 コンティ河岸通り3番地	1900	ゼラチンシルバープリント	23.0×17.0	1991年度 ツァイト・フォト寄贈				
2-2	福沢一郎	大砲のある静物	1931	油彩・キャンバス	88.0×115.3	1982年度 購入				
2-3	中林忠良	版画集『剥離される日々』 [14点組より] 3. 鈍色の丘	1973	エッチング、アクアチント、雲母刷・紙 発行: シロタ画廊	45.0×34.2	1982年度 購入				
2-4	秀島由己男	版画集『わらべ唄』[6点組より] 4. かたつむりと花子	1972	メゾチント、雁皮刷・紙	48.0×40.8	1984年度 購入				
2-5~ 2-9	深沢幸雄	版画集『アルチュール・ラン ボー「酔いどれ船」』 [10点組]	1982	メゾチント・紙 刷: 深沢幸雄 発行: 番町画廊	各41.0×32.0	1985年度 作者寄贈				
2-15	今井俊満	ゴーゴーガール	1965	塗料、コラージュ・紙	65.0×50.0	1985年度 購入				
2-16	今井俊満	黒猫と少女	1965	塗料、コラージュ・紙	65.0×50.0	1985年度 購入				
2-17	高野三三男	道化芝居	1950	油彩・キャンバス	161.6×130.5	1995年度 高野耀子氏 寄贈				
2-18~ 2-20	黒崎彰	版画集『AMERICA Love & Peace』[10点組より]	1975	木版5版7色、写真凸版・紙		1983年度 購入				
2-18	サンフランシスコのファンキー・アート 29.9×42.8 /	2-19	リンダ 29.9×42.8 /	2-20	ニューヨークの落書き 42.8×30.0					
2-21	ロバート・ ラウシェンバーク	版画集『トリビュート21』 [21点組より]	1994	オフセット、リトグラフ・紙		1997年度 株式会社フェリシモ 寄贈				
2-21	コミュニケーション	捧げる代表者 テッド・ターナー 106.0×68.0 /	2-22	人権	捧げる代表者 ネルソン・マンデラ 106.0×68.0					
2-23~ 2-27	野中ユリ	版画集『イリュミネーション— 大洪水の後 神秘 花々 野蠻』 [5点組]	1975	リトグラフ、コロタイプ・紙 刷: 株式会社東京写真印刷所、尾崎正志 発行: 青画廊	各59.3×44.1	1984年度 購入				
2-23	大洪水の後 /	2-24	神秘 /	2-25	神秘 /	2-26	花々 /	2-27	野蠻	
2-28	前田常作	人間波動粒子シリーズ 9×9	1971-72	アクリル・キャンバス	130.0×162.0	1990年度購入				
2-29	池田満寿夫	『天使が私を攪乱する』	1969	メゾチント、エッチング、ルーレット、 レリーフ、エッチング・紙	見開き21.5×35.5	1984年度購入				

No.	作家名	作品・資料名	制作・発行年	技法・材質等	サイズ(cm)	取得情報等
参考展示	ブルーノ・ムナリー	変化	1975	紙		トイコレクション
2-30	柄澤 齊	肖像IV アルチュール・ランボー	1982	木口木版、雁皮刷・紙	38.0×28.4	1985年度購入
2-31	柄澤 齊	肖像VI マルセル・ブルースト	1983	木口木版、雁皮刷・紙	28.5×34.8	1985年度購入
2-32	柄澤 齊	肖像VIII ルカス・クラナッハ	1983	木口木版、雁皮刷・紙	38.5×28.0	1985年度購入
2-33	柄澤 齊	肖像IX フランツ・カフカ	1983	木口木版、雁皮刷・紙	37.8×28.5	1985年度購入
2-34	柄澤 齊	肖像XIII エドガー・アラン・ポー	1983	木口木版、雁皮刷・紙	34.9×19.0	1985年度購入

第3章 異質なテクスチュアの組み合わせ

3-1	下村良之介	鳥たちの壁B	1964	紙粘土・顔料・紙・合板	182.0×268.8	1993年度寄贈
参考展示	ブルーノ・ムナリー	本に出会う前の本	1979	木、紙、布、ビニール		トイコレクション
3-2	三上誠	作品 9	1963	顔料、木・板	121.2×60.7	1991年度購入
3-3	三上誠	作品	1964年頃	顔料、木・板	151.6×151.3	1990年度購入
3-4	三上誠	極	1959年頃	顔料、絹・板	121.5×66.9	1991年度購入
3-5	不動茂弥	落ちる文字	1967	岩絵具、顔料、麻紙、コンクリート、 綿壁、和紙、板	162.0×122.0	1992年度寄贈
3-6	不動茂弥	庚神	1966	顔料、麻紙、コンクリート、綿壁、 和紙、板	182.3×130.3	1991年度購入
3-7	工藤哲巳	記憶の独立	1980	木、プラスチック、糸、接着剤、 塗料、他	68.6×50.0×11.0	1986年度購入
3-8	磯辺行久	Work-65	1965	ミクストメディア	182.6×363.2×6.5	1986年度購入
3-9	桂ゆき	ふたつのオレンジ色のかたち	1960	油彩、和紙・キャンバス	152.0×203.0	1989年度購入
3-10	野村耕	パゲ	1964	油彩、カシュー、紙型・ボード	120.0×80.3	1989年度購入
3-11	野村久之	カルマ	1961	顔料、箔、鉄粉・紙	91.0×121.0	1999年度作者寄贈

【IIDA 101 飯田善國】

凡例

・作品データは、出品番号 | 作家名 | 作品名 | 制作・発行年 | 技法・材質等 | サイズ(cm) | 所蔵 の順に記載した。ただし、版画集の場合は、続けて、個々の作品番号 | 作品名 を記載した。

・所蔵先の記載のない作品は目黒区美術館蔵。

No.	作家名	作品・資料名	制作・発行年	技法・材質等	サイズ(cm)	所蔵
4-1	飯田善國	目黒川夜景1	1954	油彩・キャンバス	45.5×60.5	
4-2	飯田善國	目黒川夜景2	1954-55	油彩・キャンバス	45.8×60.5	
4-3	飯田善國	目黒川夜景3	1955	油彩・キャンバス	50.2×65.3	
4-4	飯田善國	目黒川夜景4	1953-55	油彩・キャンバス	45.5×60.8	
4-5	飯田善國	板絵 (雪景色)	制作年不詳	油彩・厚紙(ボード)	27.8×36.7	個人蔵
4-6	飯田善國	栗平駅付近	1951	油彩・板	15.5×22.8	個人蔵
4-7	飯田善國	板絵 (湖畔)	制作年不詳	油彩・厚紙(ボード)	20.5×27.0	個人蔵
資料	飯田善國	『週刊新潮』(第33巻21号、1988年5月発行) 「週刊新潮掲示板」への原稿	1988	ペン・紙		
資料	飯田善國	1954-55年のノート	1954-55	ペン・紙		個人蔵
4-10	飯田善國	戦争Aー鎮魂歌ー思い出す人々	1955	油彩、コラージュ・キャンバス	162.7×130.0	
4-11	飯田善國	戦争Bー文明の没落	1955	油彩、コラージュ・キャンバス	162.7×130.0	
4-12	飯田善國	暗黒星雲と闘うカシオペア	1959	油彩・キャンバス	97.0×131.0	個人蔵
4-13	飯田善國	無限の渚	1959	油彩・キャンバス	80.7×100.4	個人蔵
4-14	飯田善國	HITO No.3	1962	木	H 28.0×W 20.0×D 20.0	個人蔵
4-15	飯田善國	HITO No.7	1962	木	H 60.5×W 29.5×D 11.4cm	個人蔵
4-16～ 35	画:飯田善國、 詩:西脇順三郎	詩画集『Chromatopolema』(18点組)	1972	シルクスクリーン・紙、 透明フィルム		
4-16 フロントピース1 75.0×55.0 / 4-17 フロントピース2 75.0×55.0 / 4-18 1. a pristine 75.0×55.0 / 4-19 2. berenson 75.0×55.0 / 4-20 3. fortune 75.0×55.0 / 4-21 4. vision and 75.0×55.0 / 4-22 5. the fate 55.0×75.0 / 4-23 6. dawns 75.0×55.0 / 4-24 7. a sting of a wasp 55.0×75.0 / 4-25 8. illusory 75.0×55.0 / 4-26 9. flimsy 55.0×75.0 / 4-27 10. stop illusion 55.0×75.0 / 4-28 11. boukolika 55.0×75.0 / 4-29 12. conscience of 55.0×75.0 / 4-30 13. a packet of 55.0×75.0 / 4-31 14. a working at 55.0×75.0 / 4-32 15. lineaments 55.0×75.0 / 4-33 16. the blood of 55.0×75.0 / 4-34 17. a pot of basil 55.0×75.0 / 4-35 18. the medici 55.0×75.0						

No.	作家名	作品・資料名	制作・発行年	技法・材質等	サイズ(cm)	所蔵
4-36	飯田善國	KOSMOS—BLUE	1964	木・塗料	155.4×156.0×6.1	
4-37	飯田善國	KOSMOS—WHITE	1964	木・塗料	150.6×150.2×6.1	
4-38	飯田善國	素描1	1964	インク、フェルトペン・紙	29.8×40.4	
4-39	飯田善國	素描2	1964	インク、フェルトペン・紙	29.8×40.4	
4-40	飯田善國	素描3	1964	インク、フェルトペン、鉛筆・紙	29.8×40.4	
4-41	飯田善國	素描4	1964	インク、鉛筆・紙	29.5×41.6	
4-42	飯田善國	素描5	1966	インク、鉛筆・紙	29.6×41.6	
4-43	飯田善國	マケット1	制作年不詳	ステンレス、ガラス	Φ20.0、H 41.0	個人蔵
4-44	飯田善國	マケット2	制作年不詳	ステンレス、アクリル	Φ15.0、H 37.0	個人蔵
4-45	飯田善國	《ステンレスの林》(1970年)のためのマケット	制作年不詳	ステンレス	台座部分6.5×8.7、H 23.8、W 15.0	個人蔵
4-46	飯田善國	マケット4	制作年不詳	木、針金	台座部分11.5×11.5、H 24.0、W 25.8	個人蔵
4-47	飯田善國	マケット5	制作年不詳	ステンレス	台座部分6.5×8.2、H 32.0、W 15.2	個人蔵
4-48	飯田善國	マケット6	制作年不詳	ステンレス	台座部分15.0×15.0、H 20.0、W 25.5	個人蔵
4-49	飯田善國	マケット7	制作年不詳	ステンレスほか	台座部分15.0×15.0、H 52.0、W 90.2	個人蔵
4-50	飯田善國	マケット8	制作年不詳	ステンレス、鉄	台座部分10.0×58.0、H 82.0、W 72.5	個人蔵
4-51	飯田善國	《時間の風景 No.1》(1969)のエンジニアリングサンプル	制作年不詳	ステンレス、鉄、ワイヤー	台座部分40.5×100.5、H 55.5	個人蔵
4-52	飯田善國	マケット10	制作年不詳	ステンレス	H 9.0-17.3、W 49.5、D 22.0	個人蔵
4-53	飯田善國	マケット11	制作年不詳	ステンレス	Φ13.5、H 37.7、W 29.2cm	個人蔵
4-54	飯田善國	マケット12	制作年不詳	ステンレス	台座部分8.0×9.8、H 25.0、W 30.0	個人蔵
4-55	飯田善國	《不規則なコンストラクション》(1987年)のためのマケット[2点]	制作年不詳	木	各L 51.0×W 42.3×H 40.0	個人蔵
4-56	飯田善國	彫刻のためのドローイング	1995	ペン、鉛筆、色鉛筆、水彩・紙	53.1×47.2	個人蔵
4-57	飯田善國	MARILYN MONROE	1973	ステンレス、ビニールロープ	400.0×143.0	個人蔵
4-58	飯田善國	作品 No.16	1969	ステンレス	Φ70.0×105.0	個人蔵
4-59	飯田善國 鈴木志郎康	「The World of Y. IIDA」(映像作品 約40分)	1980			
4-60	詩:飯田善國 曲:田中聡 「円盤の五月」上演映像(演奏時間 約3時間)	1995 個人蔵	会場:スタジオ錦糸町/日時:1995年5月13日(土)15:00~/出演:吉武由子(ソプラノ)、若林千春(ピアノ)、戸川夏子(スライドプロジェクター操作)/スライド製作:前田敏行/協力:LUNACY/主催・企画構成:メイ オブ ディスクス プランズ[飯田善國、田中聡、山田敦雄]/チキスト監修:飯田善國/企画協力:目黒区美術館			
4-61	詩:飯田善國 曲:田中聡 「飯田善國による三つの詩」(音源 約12分)	1995 個人蔵	会場:すみだトリフォニーホール/日にち:1999年11月25日(木)/出演:吉武由子(ソプラノ)、西沢幸彦(フルート)			
4-62	詩:飯田善國 曲:田中聡 「We are...」(音源 約2分)	2004 個人蔵	会場:公園通りクラシックス/日にち:2013年4月28日(日)/出演:吉川真澄(ソプラノ)、大須賀かおり(ピアノ)			



A3チラシ

II 教育普及事業

* pp.65-74掲載画像、R3-②(下)、R4-①-ア、①-ウ(中、下)、②-イ、R5-①-ウ、②-アの撮影は目黒区美術館。それ以外は岡川純子。

(1) ワークショップ活動

【令和3(2021)年度】

① ワークショップ夏【つつむ】

「包むー日本の伝統パッケージ」展に関連して、コロナ禍であったことから、オンラインによるセミナーとワークショップを開催。セミナーは、〈包む〉コレクションを、より広い視点から捉える試みとし、素材・構造に着目して、建築史家、造形作家、かご制作者の三者三様の講座を企画。ワークショップは、前年度から始めたオンラインワークショップの第三弾として開催した。

ア. オンライン・セミナー 「日本の『住まい(すまい)』を『包む』ー自然素材と建築」

講師：石田潤一郎(京都工芸繊維大学名誉教授)

開催日：8月7日(土)14:00～15:30

対象・定員：どなたでも30名 ※オンライン(Zoomを使用)

参加者：33人

〈包む〉コレクションは主に食料品の包装・容器であるが、より広い観点から、「包む」と「建築」というテーマで、建築史家の石田潤一郎氏にお話し頂いた。私達が包まれている空間、日本の「住まい」を構成する要素の一つ、「屋根」について、使われる自然素材と特徴などの写真図版を示していただき、日本の風土と、日本人の自然の素材に対する態度や工夫に改めて気づかされる講座となった。「建築」と結びつけるという新たな視点は、参加者の興味を引き出し、講座後に行ったアンケートも高評価であった。



R3-①-ア

イ. オンライン・セミナー 「紙を『折る』『包む』ー空間に拡がる光と影」

講師：西村優子(造形作家)

開催日：8月14日(土)14:00～15:30

対象・定員：どなたでも30名 ※オンライン(Zoomを使用)

参加者：32人

〈包む〉コレクションの素材別「紙」のパッケージには、日本人の手技と繊細な感性が感じられる包装が多い。「紙」による制作をされている西村優子氏に、紙の魅力と、紙を折る・紙で包むということについて、ご自身の作品の紹介とともにお話し頂いた。西村氏が作品に用いる「局紙」と、その一枚の紙から立ち現れる造形美、さらに、日本の伝統的な「折形」と向き合うことで新たに生み出される形などを「実演」をまじえてお話し頂いた。山折り・谷折りというシンプルな構造によって、紙の表情や動きが見られたのは、実演ならではの、参加者からは大変好評であった。



R3-①-イ

ウ. オンライン・セミナー 「『包む』を構造から読み解くーバスケットリーの可能性」

講師：関島寿子(バスケットリー作家)

開催日：8月21日(土)14:00～15:30

対象・定員：どなたでも30名 ※オンライン(Zoomを使用)

参加者：44人

木の皮や蔓、植物の葉など、自然の素材と構造の関係を観察し、絡める、結ぶ、組む、もじる、巻く、織るなどの方法で「かご」を作り出しているクリエイティブなバスケットリー作家の関島寿子氏に、〈包む〉コレクションの中から、〈藁つと〉〈寒餅つと〉などを選んでいただき、パッケージとかご作りに共通する素材利用の知恵を読み解いていただいた。WEBカメラで手元を写し、実際に構造を説明しながら行った「実演」は、参加者からも分かりやすいと大変好評であった。



R3-①-ウ

エ. うちんち!ワークショップ

Aコース：わたしのおやつのかみ方/Bコース：みんなのおやつのかみ方

講師：&4+do(降旗千賀子)、メグロアソビ冒険隊(中村良子、山本桃子、澤村幸子)

開催日：8月29日(日)Aコース10:00～11:30/Bコース13:00～14:30

対象・定員：小学1年生以上 各コース8組 ※オンライン(Zoomを使用)

参加者：Aコース10組/Bコース10組



R3-①-エ

「包む—日本の伝統パッケージ」展の出展物からヒントを得て、おうちにある“おやつ”を包んで楽しむプログラムを実施。オンライン講座の為、家族でも大人ひとりでも参加できる気軽さから申込多数となり、抽選となった。参加者には事前に、美術作品の梱包にも用いる「薄葉紙」や、竹皮、紐などを送付。また、開催の2週間前には参加者限定でオンラインによる「包む」展の鑑賞プログラム（「うちんち!べちゃくちゃミュージアム」）を開催し、両コース合わせて10組の参加があった。講座本編でも展示の様子を写真で伝え、誰もが十分に創作を楽しめる内容となり、各グループで創意工夫に富んだオリジナル・パッケージのおやつが出来上がった。A・Bコースともに、進行・制作はほぼ同内容で行った。アンケートは同日中にGoogleフォームを利用しオンラインで行ったが、回答率が高く、6割が当館のワークショップに初参加であった。「分かりやすく楽しかった」という感想が多く、高評価であった。

② ワークショップ春

「木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり」展に関連して、ワークショップを開催。

カラフル・ショートトリップ—色とかたちに出会う街—

講師：メグロアソビ冒険隊(中村良子、山本桃子、澤村幸子)

開催日：令和4(2022)年3月6日(日)10:30～16:30/3月13日(日)10:30～16:30

対象・定員：小学生以上 各日10名

参加者：14人

「木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり」に関連し、色と形に注目した創作ワークショップを実施。感染症対策として、定員を各回10人までに制限し、同内容で2回開催した。子どもから大人まで幅広い年齢層の参加があり、作品を鑑賞することや、創作する楽しさを、世代を超えて体感するプログラムとなった。はじめに木村伊兵衛作品を鑑賞し、印象に残った作品の色や形に注目して記憶し、カラーチップで再現する「残像ゲーム」を行った。もし1950年代のパリへ旅行することができたら、どんなお土産を持ち帰りたいかを考え、クラフト紙や色とりどりのカッティングシート、紙の端切れなどを使用して自分だけのお土産を制作した。出来上がった作品は希望者のみ約1週間ワークショップ室に展示し、一般来館者にも鑑賞してもらった。

【令和4(2022)年度】

① ワークショップ夏【おもちゃ箱・道具箱】

「目黒区美術館開館35周年記念展 美術館はおもちゃ箱・道具箱」に関連したセミナーやワークショップを開催した。

ア. セミナー 「トイロカタツケル」

講師：飯島麻奈美・白田香太(アトリエタイク)

前高西一馬(文化人類学者、日本大学法学部教員)

開催日：7月16日(土)14:00～15:30

対象・定員：高校生以上 35名

参加者：22人

アトリエタイク株式会社のデザイナーであると同時に、郷土玩具の店「アトリエガング」も主宰する飯島氏・白田氏と、全国各地の文化についてフィールドワークを行う文化人類学者の前高西氏より、郷土玩具の特性や、当館の「トイコレクション」との比較、玩具に関する文化や儀礼についてお話しいただいた。玩具の主要な原料である木材をめぐる地域のあり方など、玩具を軸として広く周辺文化を考察し、参加者は熱心にメモを取るなど、充実した時間となった。

イ. オンラインで美術館 「うちんち!べちゃくちゃミュージアム」

講師：メグロアソビ冒険隊(中村良子、山本桃子、澤村幸子)

開催日：①7月31日(日)・②8月28日(日) 各日9:30～10:00

対象・定員：どなたでも 各10名 ※オンライン(Zoomを使用)

参加者：①6人 ②7人

コロナ禍で外出を控える方や、子育てや介護などで出かけることが難しい方が多いことから発案されたオンラインのギャラリーツアー。開館前の展示室を中継するなど、参加者が家にいながらにして美術館を楽しめる内容とした。短時間のプログラムだが、実際



R3-①-エ



R3-②



R4-①-ア



R4-①-イ

に小さな赤ちゃんと一緒に参加する方もいて、アンケートでも外出が難しいためこういった企画が嬉しいという声もあった。

ウ. 画材の実験室

講師：目黒区美術館学芸員 他

開催日：「パステルの日」8月17日(水)、20日(土)

「鉛筆の日」8月16日(火)、18日(木)、19日(金) 各日13:00～16:00

対象・定員：どなたでも 各日当日受付、入退場自由

参加者：延べ152人

展示会場で、当館オリジナルの美術教材「画材と素材の引き出し博物館」を見た後に、実際に画材を「お試し」できるプログラム。鉛筆とパステルを日替わりで5日間用意し、参加者は実際にそれらを使用しながら画材の特性を学んだ。中には2つの画材を体験するリピーターもいた。短時間でお試し程度の方からじっくり1時間以上かけて作品にする方など、自由度が高く参加しやすいプログラムとなった。

エ. ワークショップ 「木っておもしろいぞ 木石をつくろう」

講師：飛山裕幸(デザイナー)

開催日：8月6日(土)、13日(土) 各日10:30～17:00 ※2日間コース

対象・定員：小学3年生以上 10名

参加者：13人

当館開館直後に開催したワークショップで制作され、その後収蔵作品となった《すんとん》の作者の飛山裕幸氏に、作品が収蔵された経緯やその特徴などをお話いただいた。Zoomを使って木材提供の大野木工の職人さんから木のお話も伺った。その後、実際に木を切ったり、削ったりして触り心地の良い石のような木の作品「木石(きせき)」を制作した。ひたすら木を研磨することは相当の集中力を要するため、小学生には難しかったようだが、木種による硬さや香りなど、「木」の魅力を存分に体感する様子が見られた。

オ. ワークショップ 「紙っておもしろいぞ ペーパーファンタジー かめの小箱」

講師：広井敏通(ペーパーアーティスト)

開催日：8月14日(日) 13:00～16:00

対象・定員：小学3年生以上 10名

※講師が新型コロナウイルス陽性者の濃厚接触者となったため中止

カ. ワークショップ 「みんなの箱世界ーいってみよう、つくってみよう、積み木でつながるわたしの風景」

講師：清瀬ゆり亜(ミュージアム・エデュケーター)、川島冬香(アトリエニキティキ)

トイコレクションボランティアチーム

開催日：8月11日(木・祝)/8月12日(金) 各日13:00～16:00 ※1日コース

対象・定員：2歳以上(保護者を含む2名以上1組。一組最大6名程度まで) 各日6組

参加者：延べ32人

自分に見立てた指人形を、行ってみたい場所に連れていくことを想像し、展示会場で作品を鑑賞。その後50cm四方の箱の空間が一つの世界となるように、風景を当館コレクションのトイや木々端で表現した。最後は、全員の箱世界をワークショップ室の備え付け棚を使ってつなげた。年齢によって出来ることが異なったが、それぞれの親子が世界を作る楽しさを味わっていた。当日キャンセルが出たことから開始の対応など苦労もあったが、1日目を踏まえ、2日目は積み木楽しさをより追求した内容となった。

② ワークショップ春【美術の基本】

「美術の基本」を全体のテーマとするのは、2016年度に続き2回目。画材や素材への興味を引き出し、創造へとつなげていく内容や、知っているようで知らない、または知る機会がない「美術」のあれこれを取り上げたセミナーやワークショップを開催した。

ア. ワークショップ 「紙っておもしろいぞ ペーパーファンタジー かめの小箱」

講師：広井敏通(ペーパーアーティスト)

開催日：令和5(2023)年2月19日(日) 11:00～16:30

対象・定員：小学3年生以上 15名

参加者：7人



R4-①-ウ



R4-①-エ



R4-①-カ

当館収蔵品のトイの作者である広井敏通氏をお招きし、「紙」の魅力を感じながら、手のひらサイズのかめの箱を制作するワークショップを開催した。紙は平面から立体へ加工しやすい身近な素材だが、展開図をじっくり考え、紙の特性と向き合ってみる作業は参加者にとって新鮮な作業だったようで、皆熱中して取り組んでいた。ワークショップ【夏】の令和4(2022)年8月14日開催予定で中止となったプログラムを実施した。

イ. 画材の実験室 「すみをさわる、作る、えがく」

講師：目黒区美術館学芸員、メグロアソビ冒険隊(中村良子、山本桃子、澤村幸子)

開催日：「木炭編」令和5(2023)年3月14日(火)、16日(木)、18日(土)

「墨編」3月15日(水)、17日(金)、21日(火・祝)各日13:00~16:00

対象・定員：どなたでも 各日当日受付 入退場自由

参加者：延べ142人

当館オリジナル教材「画材と素材の引き出し博物館」を鑑賞して、実際に画材を「お試し」しできるプログラム。今回は「すみ」にクローズアップし、木炭の日と墨の日を日替わりで5日間設定した。木炭編では、木炭を手作りして木の種類によって違う描き心地や、濃淡のつけ方、消え方などを実験し、墨編では、いろいろな墨色を比べて濃淡やにじみなどの特性を実験した。参加者は実際に手に触れることでそれぞれの画材の特性を学んだ。今回は区内の中学校の美術部や、学童保育クラブ等の団体参加を積極的に呼びかけたことで、より多くの区民の方々に参加いただけた。学校や家では得られない体験の機会を提供できた。

ウ. 画材の実験室:特別編「手作り木炭であそぼう」

講師：森本玄(画家、京都芸術大学教授)

開催日：令和5(2023)年3月19日(日)13:00~16:00

対象・定員：小学1年生以上 15名

参加者：13人

「画材の実験室」で取り上げる「木炭」を作り、木の種類によって異なる描き心地などを、講師と共にじっくり味わうプログラム。手で遊ぶように線を引き、面でぼかして描いた他、向かい合った人の顔を描く「自画像」ならぬ「他画像」にも挑戦。各人の描いた紙をつなげて1本の道を作り、そこから想像する街も描いた。他の木の木炭も試してみたかったという感想も見られ、木炭の魅力に触れた一日となった。

エ. オンラインで美術館 「うちんち!べちゃくちやミュージアム」

講師：メグロアソビ冒険隊(中村良子、山本桃子、澤村幸子)

開催日：令和5年(2023)年①3月11日(土)・②3月12日(日)各日9:30~10:00

対象・定員：小学3年生以上 各10名 ※オンライン(Zoomを使用)

参加者：①6人 ②4人

コロナ禍で外出を控える方や、子育てや介護などで出かけることが難しい方が多いことから発案されたオンラインのギャラリーツアー。今回は、「1970年代以降の作品を中心に」展を鑑賞した。開館前の展示室を中継するなど、参加者が家にいながらにして美術館を楽しめる内容とした。短時間のプログラムだが、アンケートでは開館前の裏側を見ることができて嬉しかったという声もあった。

【令和5(2023)年度】

① ワークショップ夏【画材の実験室 夏休み編】

画材や素材への興味を引き出し、創造へとつなげていく内容や、知っているようで知らない、または知る機会がない「美術」のあれこれを取り上げたセミナーやワークショップを開催した。

ア. ワークショップ 「モニュメンタル・オリエンタル・ものがたる・あくしでんたる」

講師：メグロアソビ冒険隊(中村良子、山本桃子、澤村幸子)

開催日：8月19日(土)、20日(日)各日10:30~16:00 ※2日間コース

対象・定員：小学生以上 20名

参加者：14人



R4-②-ア



R4-②-イ



R4-②-ウ



R4-②-エ



R5-①-ア

「中村直人」展に関連し、遊びの中から偶然生まれた色や形をヒントに創作するワークショップを実施。直人の彫刻作品から着想を得て、スポンジやウレタンなどの柔らかく弾力のある素材を用い、立体作品を作った。複数の企業の協力により、様々なサイズ、色、質感のスポンジ等を大量に提供いただき、充実した内容となった。

初めに、全身を使って素材と遊び、感触を確かめた後、3グループに分かれて構想を練り、創作に取り掛かった。チームごとの講師とともに、それぞれ自由に発想を膨らませながら、和気あいあいと取り組んでいた。最後に、各チームの作品をつなげ、大きな一つの世界を創り上げた。鑑賞会では、参加者一人ひとりが出来上がった作品を解説しながら、全員で鑑賞した。

保護者からは、子どもたちの作品の、全体のスケールの大きさとともに、こだわって作りこまれた細部に対しても、驚きと感動の声が聞かれた。

イ. ワークショップ 「グアッシュの魅力」

講師：山本品(画家)

開催日：8月26日(土) 10:30～17:00

対象・定員：高校生以上 12名

参加者：15人

開催中の「中村直人」展にあわせて、直人が使用したグアッシュ(不透明水彩)の特性や魅力を、レクチャーや実践を通して体感するワークショップを実施。様々な種類の和紙や洋紙を用意し、直人が多用した「もみ紙」をはじめ、色々な塗り方を試しながら、グアッシュならではの鮮やかな色彩や幅広いテクスチャーを体感した。参加者は、水彩画用紙を水張りした後、グアッシュで描いた紙をコラージュしたり、そこからイメージを膨らませてパネルに描いたりした。講師と参加者間だけでなく、参加者同士の間でも活発なコミュニケーションが見られ、和やかな雰囲気の中、それぞれ熱心に集中して取り組んでいる様子だった。最後は、直人の作品を全員で鑑賞した後、自分たちの作品も鑑賞した。本格的な創作と作品の鑑賞によりグアッシュの魅力を堪能する内容が、参加者からは大変好評であった。制作に用いた木製パネルは、マルオカ工業株式会社から提供いただき、産官の連携のプログラムとなった。



R5-①ーイ

ウ. 画材の実験室

講師：目黒区美術館学芸員他

開催日：「もみ紙編」8月1日(火)～5日(土)13:00～16:00

「夏の復習編」8月15日(火)～18日(金)13:00～16:00

対象・定員：どなたでも 各日当日受付、入退場自由

参加者：延べ159人

当館のオリジナル教材「画材と素材の引き出し博物館」を見ながら、作品を支える画材や支持体がどのようにできているか、どんな使い方ができるか、実際に試してその特性や魅力を探るミニ講座。前半の5日間は、「中村直人」展に合わせて、直人の代表的な技法であるグアッシュと和紙を使った「もみ紙」を体験した。参加者からは、画材についてだけでなく、作家の作品への理解も深まったと好評だった。後半の5日間は、前年度に取り上げたパステルや鉛筆、墨や木炭を用意し、体験できるコースとした。短時間で少し試す程度の方もいれば、時間をかけて全ての画材を使い、作品に仕上げる方も見られた。来館者が気軽に立ち寄れ、自由度の高いプログラムとなった。以前に比べ人々が多忙となっている現在の社会状況において、このような実施方法を今後も研究していきたい。



R5-①ーウ

エ. オンラインで美術館 「うちんち!べちゃくちゃミュージアム」

講師：メグロアソビ冒険隊(中村良子、山本桃子、澤村幸子)

開催日：①8月5日(土)・②8月6日(日) 各日9:30～10:00

対象・定員：小学3年生以上 各日10名 ※オンライン(Zoomを使用)

参加者：①10人 ②13人

子育てや介護などで出かけることが難しい方向けに発案されたオンラインのギャラリーツアー。今回は、「中村直人」展を鑑賞した。開館前の展示室を中継するなど、参加者が家にいながらにして美術館を楽しめる内容とした。短時間のプログラムだが、アンケートでは開館前の裏側を見ることができて嬉しかったという感想が寄せられた。



R5-①ーエ

② ワークショップ春【画材の実験室 春休み編】

画材や素材への興味を引き出し、同時開催の展覧会で扱う「コラージュ」の技法に着目したワークショップを開催した。

ア. ワークショップ 「コラージュで自分を読み解く+コラージュの歴史」

講師：つつみひかる（アーティスト）、東海林洋（ポーラ美術館学芸員）

開催日：令和6(2024)年2月25日(日)10:30~17:00

対象・定員：高校生以上 15名

参加者：11人

「広がるコラージュ」展に関連し、コラージュ技法を多用するアーティストを講師に迎え、実際に制作した。また、絵画史から見たコラージュについて、ポーラ美術館学芸員に解説をしていただき、レクチャーの時間も設けた。自分が人間以外の生きものならば何になるかを考えながら、ベースとなる段ボールに着色をした後、参加者同士ペアになり、相手をイメージする色や形を考え、3種の素材を選び、交換することで、異素材を使用したコラージュを効果的に作品に仕上げる事ができた。参加者にとっては徹底的にコラージュと向き合う1日となった。作品は会期終了まで1階エントランスに展示をした。



R5-②-ア

イ. ワークショップ 「切って貼る春、色の地図」

講師：メグロアソビ冒険隊(中村良子、山本桃子、澤村幸子)

開催日：令和6(2024)年3月17日(日)10:30~16:00

対象・定員：新小学1年生以上 20名

参加者：28人

「広がるコラージュ」展、「IIDA 101 飯田善國」展の、色が印象的な作品や、コラージュされた作品をヒントに、多彩な色がある紙見本を使用し、グループに分かれて各自がイメージする色をワークショップ室一面の大きな紙に並べてカラフルな道を作った。その後、地図にあったらよいものをチームで考え、海や花畑、お店など同じく紙見本をベースに平面や立体に仕上げて貼りこんでいった。最後は上半分を天井から吊り下げ、大きな地図を保護者と一緒に鑑賞した。作品は会期終了まで展示を行った。制作に用いた紙見本帳は株式会社竹尾から提供いただき、官民連携のプログラムとなった。



R5-②-イ

ウ. 画材の実験室 「コラージュ編」

講師：目黒区美術館学芸員他

開催日：令和6(2024)年2月27日(火)~3月8日(金)、3月12日(火)~15日(金)

3月19日(火)~23日(土)各日13:00~16:00

対象・定員：どなたでも 各日当日受付、入退場自由

参加者：延べ467人

画材や素材の特性を実際に触れながら体験するミニ講座「画材の実験室」。今回は糊づけするという意味を持つコラージュの技法で自由に制作してもらった。紙や他館のポスター、紐、ボタンなど様々な素材を用意した。自由に素材を組み合わせながら貼り付け、子どもから大人まで幅広い年齢層の参加者が制作を楽しんだ。完成作品は持ち帰るか、1階エントランスに各自展示してもらい、最終日には壁いっぱいコラージュ作品でにぎわった。他の来館者が制作した作品に触発された来館者が、プログラムに連鎖的に参加することで、作品をより深く体感できる機会を広く提供できた。



R5-②-ウ

エ. オンラインで美術館 「うちんち!ぺちゃくちゃミュージアム・インスタライブ」

講師：メグロアソビ冒険隊(中村良子、山本桃子、澤村幸子)、目黒区美術館学芸員

開催日：令和6(2024)年2月23日(金・祝)①9:30~10:00 ②13:00~13:30

対象・定員：どなたでも ※インスタグラムのライブ配信「インスタライブ」を使用

参加者：①38名 ②28名

子育てや介護などで来館できない方々にも美術館を楽しんで頂く機会を提供する目的で始まったオンラインプログラム。インスタグラムのライブ配信、インスタライブを使用し、午前中は開館前の展示室からギャラリーツアーを、午後は画材の実験室の様子を配信した。照明を工夫して作品を鑑賞したり、普段は近寄れない作品のディテールに寄ってみるなど、オンラインならではの鑑賞の楽しみ方を提示した。画材の実験室の中継をしたことで、プログラム内容の周知ができ、実際にインスタライブを視聴して来館したという方もおられ、広報効果も見られた。



R5-②-エ

(2) ギャラリーツアー (主に学校単位での来館事業)

これまで学校単位の受入れにより鑑賞教育を実施してきたが、近年、学校での美術の授業時間の確保が困難となってきたため、実施数が減少していた。そこで令和4(2022)年度より学童保育クラブや美術部などに働きかけ、多くの児童・生徒・教員に来館してもらった。

【令和3(2021)年度】

目黒区美術館コレクション展 日々のごよび2021

- ・下目黒小学校 11月25日(木)、11月26日(金) 6年生 54人
- ※感染症対策から1クラスずつ2日に分けて実施。

【令和4(2022)年度】

東京・区立美術館ネットワーク連携事業 「東京の猫たち」

- ・下目黒小学校 5月6日(金) 5年生 64人

コレクション解体新書 I

フジタが目黒にやって来たー作品収集のあゆみー

- ・めぐろキッズレポーター 10月16日(日) 4～6年生 12人
- ・鳥森小学校 10月25日(火) 3年生 67人
- ・下目黒小学校内学童保育クラブ 令和5(2023)年3月14日(火)、17日(金) 1～3年生 14日:15人、17日:15人
- ・大島中学校美術部 令和5(2023)年3月14日(火) 1～2年生 19人
- ・三田学童保育クラブ 令和5(2023)年3月15日(水) 1～3年生 8人
- ・Dreams 令和5(2023)年3月18日(土) 1～4年生 22人



(2)－R4

【令和5(2023)年度】

「中村直人 モニュメンタル／オリエンタル」「画材の実験室」

- ・府教研 図工美術部(府中市図工美術教員) 8月1日(火) 14人
- ・下目黒小学校内学童保育クラブ 8月3日(木) 1～3年生 26人
- ・下目黒小学校内学童保育クラブ 8月9日(水) 1～3年生 27人
- ・三田学童保育クラブ 8月10日(木) 1～3年生 14人

「中村直人 モニュメンタル／オリエンタル」「ミニワークショップ モニュメンタル・オリエンタル・ものがたる・あくしでんたる」

- ・Dendo Children School 8月27日(日) 1～3年生 12人

「広がるコラージュ／飯田善國 IIDA 101」「画材の実験室」

- ・下目黒小学校内学童保育クラブ 令和6(2024)年3月5日(火) 1～4年生 18人
- ・目黒区立大島中学校美術部 令和6(2024)年3月5日(火) 1～3年生 17人
- ・下目黒小学校内学童保育クラブ 令和6(2024)年3月19日(火) 1～3年生 6人

(3) トイコレクションプログラム

当館の教材トイコレクションをもとに、トイコレクションボランティアチーム(TVT)運営による、美しく造形的な積木での感性教育、造形遊びを養うためのプログラム。

【令和3(2021)年度】

ア.アウトリーチ

当初実施予定時期:5月、11月 ※新型コロナウイルス感染拡大により中止

イ.トイの日「つみきでピクニック」

例年「トイの日」は自由参加としていたが、感染症対策としてグループ毎の申込制とし、3回に分けて開催した。テーマをピクニックに設定し、グループ毎にテントで過ごす状況をイメージし、トイを楽しんだ。部屋の中央にトイを用意し、参加者はそれを自由に選び、グループのテーブルの範囲で遊ぶ時間とした。

進行: TVT

開催日: 令和4(2023)年3月21日(月・祝) ①10:30～11:30、②13:00～14:00、③14:30～15:30

場所: 目黒区美術館ワークショップ室

参加者: 40人

【令和4(2022)年度】

ア.トイの日

前年度に引き続き感染症対策として事前申込で1日3回の時間制とし、マスク着用ができる幼児以上を対象とした。

進行: TVT

開催日: 10月30日(日)、11月3日(木・祝) 各日 ①10:30～12:00、②12:30～14:00、③14:30～16:00

場所: 目黒区美術館ワークショップ室

参加者: 10月30日 ①12組31人、②6組16人、③12組31人
11月3日 ①13組35人、②8組24人、③9組31人

イ.アウトリーチ「作ってみよう、つみきでお気に入り」

進行: TVT

開催日: 令和5(2023)年2月25日(土) 13:00～15:30

場所: 目黒区民センター児童館 幼児遊戯室

参加者: 14組30人

【令和5(2023)年度】

ア.アウトリーチ「どこまでも広がる!トイの凹凸タウン」

進行: メグロアソビ冒険隊(中村良子、山本桃子、澤村幸子)、TVT

開催日: 4月8日(土) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30

場所: 景丘の家(東京都渋谷区恵比寿)

参加者: 子ども15人、保護者14人

イ.トイの日ウィーク

行動制限が緩和された当該年度は前年度2日間程度であった「トイの日」の実施期間を1週間まで拡大して「トイの日ウィーク」とし、参加制限も撤廃した。

進行: TVT

開催日: 8月8日(火)～13日(日) 各日13:00～16:00

場所: 目黒区美術館ワークショップ室

参加者: 延べ274人(8日: 29人、9日: 42人、10日: 51人、11日: 56人、12日: 52人、13日: 44人)

ウ.アウトリーチ「つみきでつくろう たのしいゆうえんち」

進行: TVT

開催日: 11月11日(土) 13:30~15:00

場所: 目黒区民センター児童館 幼児遊戯室

参加者: 40人

エ.ファミリーワークショップ「トイでつくろう! ワクワク王国」

進行: TVT

開催日: 令和6(2024)年2月18日(土) 13:30~15:00

場所: 目黒区美術館ワークショップ室

参加者: 6組12人



(3)ーR5ーエ

(4) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

【共催: 目黒区】

建築家・村野藤吾が昭和41(1966)年に設計した旧千代田生命本社である目黒区総合庁舎のデザイン的な見どころを解説して歩く毎年人気のプログラム。令和3年度は残念ながら中止となったが、令和4年度からツアーを再開した。令和4年度は新型コロナウイルスの感染症対応で行政利用中の「和室」「茶室」など一部の見学ができない代わりに、祝休日は施錠されている「渡り廊下」や、一般の方は普段見られない場所などを全日程でルートに加える工夫をした。令和5年度は「茶室」を見学コースに含むことができるようになった。

令和3年度に耐震補強工事を終えた南口エントランスホールや、照明器具が補修されたらせん階段を中心に、小グループに分かれ当館ボランティア建築班の案内でツアーを行った。催行グループ・定員を絞っての開催となったが、各回定員を大きく上回る応募があった。

【令和3(2021)年度】

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

【令和4(2022)年度】

案内役: 目黒区美術館建築ガイドスタッフ

開催日: 4月29日(金・祝)、5月7日(土)、5月20日(金)

5月28日(土)

時間: 14:00~15:30

参加人数: 延べ89人

【令和5(2023)年度】

案内役: 目黒区美術館建築ガイドスタッフ

開催日: 4月30日(日)、5月12日(金)、5月20日(土)

5月28日(日)

時間: 14:00~15:30

参加人数: 延べ143人



(4)ーR5

(5) デザインキャンプ、デザインキャンププラス

近年人気のプログラムとして定着してきた、デザインキャンプ。令和3年度11回目の開催となるハーマンミラー・ジャパン株式会社との共同企画は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となったが、令和5年度からプラス株式会社ファニチャーカンパニーと当館の協働で、新たなワークショップ「デザインキャンププラス」が立ち上がった。目黒区を中心に近隣の方々へ、デザインを考える・体験する良質な場とつながりを提供するための活動を継続していく試みである。

【令和3(2021)年度】

Design Camp #11

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

【令和4(2022)年度】

開催なし

【令和5(2023)年度】

デザインキャンププラス vol.1「《トーネット》を知っていますか？

ー入門編ー」

講師:

①島崎信(武蔵野美術大学名誉教授/デザイン研究)[監修]

②石田潤(リンク建築設計工房主宰/建築家)[ワークショップ]

開催日: ①12月2日(土)10:30~16:30 ②12月10日(日)

10:30~16:30 ※2日間コース

開催場所: ①目黒区美術館ワークショップ室 ②プラス株式会

社 ファニチャーカンパニー PLUS DESIGN CROSS

対象・定員: 高校生以上・20名

参加者: 12人

2022年に本部拠点を恵比寿に移したプラス株式会社ファニチャーカンパニーと協働で開始したワークショップシリーズの第1弾。同社が、現存する世界最古の家具ブランド「Thonet(トーネット)」の正規代理店であることから、19世紀から今日まで広く愛されているトーネットの椅子をテーマに、創業当時の歴史的背景からその製造のユニークなポイントまでを知ることのできる講座を企画。講師はデザイン研究者の島崎信氏と建築家の石田潤氏で、島崎氏には本講座の監修も務めていただいた。島崎氏のレクチャー(オンライン)、曲木の実験、製品カタログ兼ポスターの熟読、ワイヤーでのミニチュア椅子づくりを、主にグループワークで行った。参加者層は20代から60代で、デザインや椅子に関心のある方が多かった。アンケートは非常に高評価で、トーネットの奥深さを知った、楽しかった、また参加したい、という声を多くいただいた。



(5)－R5

(6) 美術講座

◎館長トーク

インドに留学し、仏教遺跡の現地調査を多数行ってきた秋山館長が、自ら撮影した数々の貴重な画像とともに、仏教関連遺跡や美術について、解りやすく語る館長トークを開催した。



(6)－R5

【令和3(2021)年度】

目黒区美術館館長トークVI「玄奘三蔵とインド旅行」

講師：秋山光文(当館館長)

1. 玄奘三蔵は仏跡で何を見たか？

開催日：10月24日(日)14:00～15:00

2. 大仏の来た道

開催日：10月24日(日)15:15～16:15

対象・定員：高校生以上・40名

参加者：38人

【令和4(2022)年度】

目黒区美術館館長トークVII「インドが目黒にやって来た一発見！

インド仏教美術」

講師：秋山光文(当館館長)

1. 聖獣たちの形アショーカ王柱の諸作例

開催日：10月16日(日)13:30～14:30

2. ブッタの姿が見えない仏伝図ー仏教美術の始まり

開催日：10月16日(日)14:45～15:45

3. 初めて見るブッタ像ー仏像の出現と展開

開催日：10月16日(日)16:00～17:00

対象・定員：高校生以上・35名

参加者：29人

(7) めぐろオータムアート

目黒区との共催事業。めぐろパーシモンホールとの連携事業として、音楽と美術、音楽と建築の融合をテーマにワークショップ等を実施した。

【令和3(2021)年度】

ア. 第9回 音楽と美術のワークショップ「楽器を視る、聴く、描くIIー鉛筆から紡ぎだされる楽器のカタチ」

講師：寺崎百合子(画家)

秋岡陽(音楽史／フェリス学院大学名誉教授)

開催日：①10月9日(土)10:30～17:30 ②10月10日(日)10:30～16:30 ※2日間コース

開催場所：目黒区美術館 展示室A(楽器の観察や講座など)、展示室B(実作業)

対象・定員：高校生以上・12名

参加者：11人

イ. 目黒建築めぐり塾オンライン講座

「駒場キャンパスの歴史資産」

講師：折茂克哉(東京大学教養学部駒場博物館助教)

開催日：10月31日(日)10:30～12:15

開催場所：オンライン(Zoomを使用) 配信場所は目黒区美術館 2階展示ロビー

定員：30名

参加者：22人

【令和4(2022)年度】

ア. 第10回 音楽と美術のワークショップ「音から絵へ、絵から音へー音楽を聴いて大きなキャンパスに絵を描こうー」

講師：榎本寿紀(美術家)、鈴木広志(サクソフォン／作曲家)、田中庸介(ギター／作曲家)、小林武文(ドラム・パーカッション／作曲家)

開催日：10月22日(土)10:00～16:00

開催場所：めぐろパーシモンホール

対象・定員：小学生以上・20名

参加者：22人



(7)－R4－ア

イ. 目黒建築めぐり塾[講演会]「タイルの目線で建築を楽しむー日本のタイル100年の歩き方」

講師：加藤郁美(タイル研究家)

開催日：10月23日(日)14:00～16:00

開催場所：目黒区美術館ワークショップ室

対象・定員：中学生以上・35名

参加者：28人



(7)ーR4ーイ

ウ. 目黒建築めぐり塾[現地見学&レクチャー]

「旧前田家本邸の泰山タイル〜宮内庁御用達の美」

講師: 加藤郁美(タイル研究家)

開催日: 11月12日(土)13:30~15:30

開催場所: 旧前田家本邸 洋館・和館

対象・定員: 中学生以上・15名

参加者: 19人

エ. 見学ツアー「東大駒場キャンパスの歴史を学ぶ+駒場博物館」

講師: 折茂克敬(東京大学大学院教養学部駒場博物館助教)

開催日: 11月5日(土)10:00~12:00

開催場所: 東京大学駒場1キャンパス、東京大学駒場博物館

対象・定員: 中学生以上・20名

参加者: 11人

【令和5(2023)年度】

ア. 見学ツアー「東大駒場キャンパスの歴史を学ぶ+駒場博物館」

講師: 折茂克敬(東京大学大学院教養学部駒場博物館助教)

開催日: 10月14日(土)10:00~12:00

開催場所: 東京大学駒場1キャンパス

対象・定員: 中学生以上・20名

参加者: 16人

イ. 第11回 音楽と美術のワークショップ「生活の中の『ノイズ』
を見つけて展覧会をつくる」

講師: 青山悟(アーティスト)

秋岡陽(音楽史/フェリス女学院学院長)

開催日: ①10月29日(日) 10:30~17:30

②11月4日(土) 10:30~19:30

※2日間コース

開催場所: 目黒区美術館ワークショップ室

対象・定員: 高校生以上でスマートフォンを持参・使える方
・20名

参加者: 11人



(7)ーR5ーイ

ウ. 目黒建築めぐり塾「オンライントークとガイドツアーでめぐる
村野藤吾の建築意匠」

講師: 桃谷和則(尼崎市立歴史博物館)

石立弥生子・佐藤健太郎(関西大学博物館)

小泉悦夫館長、宮坂 睦(八ヶ岳美術館)

ガイドツアー: 目黒区美術館建築ガイドスタッフ

開催日: 11月26日(日)10:30~16:00

開催場所: 目黒区美術館(トーク)

目黒区総合庁舎(ガイドツアー)

対象・定員: 中学生以上・50名

参加者: 41人

(8) 目黒区総合庁舎 西ロビー展示

【令和3(2021)年度・令和4(2022)年度・令和5(2023)年度】

例年、目黒区美術館の立地や収蔵品などの概要、また展覧会事業や教育普及などの活動について、目黒区総合庁舎の西ロビーにパネルを展示し、区民を対象として広報活動を行っている。

※新型コロナウイルス感染拡大のため実施せず。

(9) その他 アウトリーチ

【令和5(2023)年度】

令和6(2024)年度開催予定の「青山悟 刺繍少年フォーエバー」のプレプログラムとして、出品作家の青山が目黒区内の小学校に出向き実施した、今回限定のプログラム

開催日: 9月27日(水)、10月4日(水)、10月11日(水)、

令和6(2024)年1月24日(水) 各日9:20~12:30

講師: 青山悟(アーティスト)

場所: 目黒区立五本木小学校 図工室

参加者: 5年生児童66人

目黒区出身・在住の、刺繍による作品を制作するアーティスト青山悟が、展覧会開催に先駆け、目黒区内の五本木小学校に出向き、美術の授業を実施。子どもたちにとって最も身近な社会問題について考えるきっかけとして「身近なところにいるモンスター」をテーマに取り上げた。青山の制作する作品をプロジェクトで紹介した後に、児童たちに地元目黒について考えてもらうために、目黒とはどんなところか考える「マインドマップ」を大きな紙に書きだした。次に、土台となる目黒区の地図を、カラフルな布で手分けして制作。各自が考える「モンスター」をまずはイラストに描き、その後、針と糸を使ってフェルト等で制作した。最終回では、青山が地図に生徒たちのモンスターを縫い付け仕上げたものを持参して皆で鑑賞した。さらに「普通という価値観を押しつけるモンスターと戦う自分」を制作するという課

題が出され、子どもたちは大人が想像しなかったような戦う自分を表現し制作した。最終的な完成作品は、令和6年度の展覧会で展示する計画である。児童たちは刺繍で制作する青山の作品に感銘を受ける一方、生き生きとカラフルな作品を自由な発想で制作する児童たちからは、青山自身も刺激を受けていた。



(9)－R5

III 新収蔵作品 【平成5(2023)年度】

凡例

- ・令和3(2021)年度～令和5(2023)年度までに目黒区美術館収蔵委員会の承認を得て取得した作品を掲載(寄託作品も含む)。上記の期間、実際に収蔵の行われたのは令和5(2023)年度だけである。
- ・各作品のデータは原則として下記の順に掲載した。
- ・五十音順の分類番号、作家名(和文)、生没年(西暦)、作家名(英文)、材質・技法、寸法(縦×横/cm)、制作年、画面書込、受入方法、備品番号(目黒区が受入時に付与した番号)。署名や年記は書込の位置を示して記し、判読不能箇所は■で記した。
- ・作品名が不明なもの、本人が付けていないと思われるものは〔 〕内に仮題を付した
- ・資料類は一式を1件としたが、一式の後ろの〔 〕内に、内訳の点数を記した。

【令和5(2023)年度】

購入・寄贈:49件/121点

寄託:0件/0点

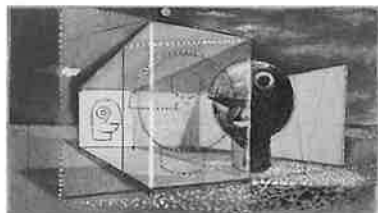


あ021-012-(02)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

分裂現象
Phenomenon of Division

アクアチント、ドライポイント・紙/
12.4×21.8/1954年頃
寄贈 3000066237

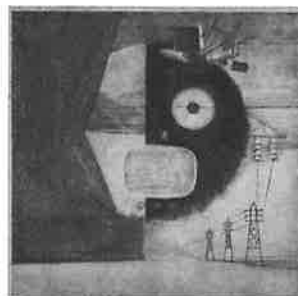


あ021-012-(03)～あ021-012-(08)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

《分裂現象》構想案一式と原版[6点]
A Set of Studies and Plate of
Phenomenon of Division

銅版画等・紙/真鍮/1954年頃
寄贈 3000066238

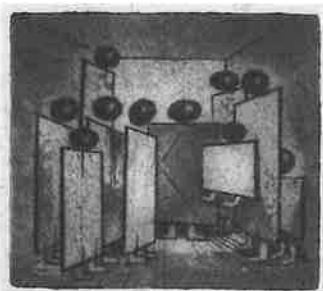


あ021-011-(02)～あ021-011-(15)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

《現代人》構想案一式と原版[14点]
A Set of Studies and Plate of Man of
Today

銅版画等・紙/銅/1953年頃
寄贈 3000066239

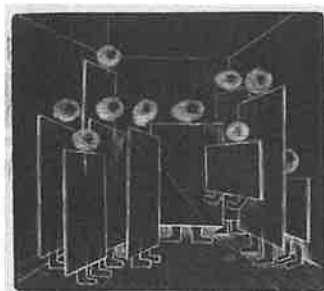


あ021-026-(01)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

〔無題〕
[Untitled]

エッチング、アクアチント・紙/
8.2×9.3/1950年代前半
寄贈 3000066240

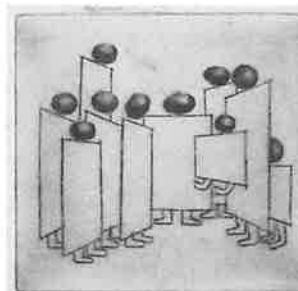


あ021-027

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

〔無題〕
[Untitled]

凸版・紙/8.2×9.3/1950年代前半
寄贈 3000066241



あ021-026-(02)～あ021-026-(05)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

〔無題〕構想案一式と原版[4点]
A Set of Studies and Plate of [Untitled]

銅版画・紙/銅/1950年代前半
寄贈 3000066242

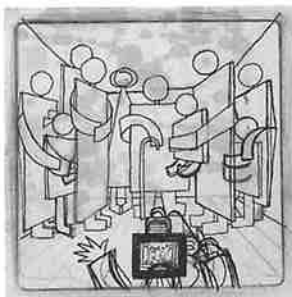


あ021-028-(01)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

[無題]
[Untitled]

エッチング、アクアチント・紙／8.8×9.1／
1950年代前半
寄贈 3000066243

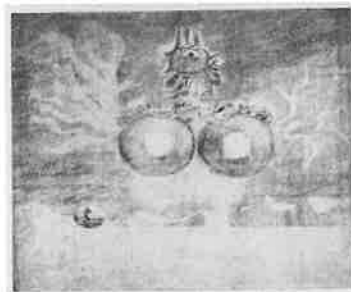


あ021-028-(02)、あ021-028-(03)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

[無題] 構想案と原版[2点]
A Set of Study and Plate of [Untitled]

インク、鉛筆・紙／銅／1950年代前半
寄贈 3000066244



あ021-009-(02)～あ021-009-(18)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

[無題] 構想案一式と原版[17点]
A Set of Studies and Plate of [Untitled]

銅版画等・紙／銅／1952年頃
寄贈 3000066245

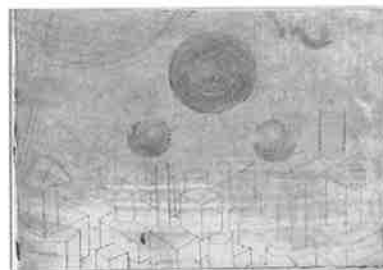


あ021-029-(01)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

[無題]
[Untitled]

アクアチント・エッチング・紙／
15.2×19.0／1950年代前半
寄贈 3000066246



あ021-029-(02)～あ021-029-(14)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

[無題] 構想案一式と原版[13点]
A Set of Studies and Plate of [Untitled]

銅版画等・紙／真鍮／1950年代前半
寄贈 3000066247



あ021-030-(01)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

[無題]
[Untitled]

アクアチント、エッチング・紙／14.7×17.6／
1950年代前半
寄贈 3000066248



あ021-030-(02)～あ021-030-(06)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

[無題] 構想案一式[5点]
A Set of Studies of [Untitled]

銅版画等・紙／1950年代前半
寄贈 3000066249

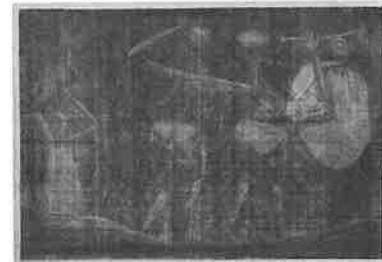


あ021-031

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

[無題]
[Untitled]

アクアチント・紙／9.5×12.5／1950年代前半
寄贈 3000066250



あ021-010-(02)～あ021-010-(14)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

《夜の楽師達》構想案一式と原版[13点]
A Set of Studies and Plate of *Night Musicians*

銅版画等・紙／銅／1953年頃
寄贈 3000066251



あ021-014-(02)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

《銀河系の住い》原版
Plate of *Residence in Galaxy*

銅/10.4×10.6/1954年頃
寄贈 備品番号登録なし



あ021-015-(02)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

《アンドロメダへの旅》原版
Plate of *Journey to Andromeda*

銅/16.7×10.8/1954年頃
寄贈 備品番号登録なし



あ021-013-(02)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

《壁のある道》原版
Plate of *Path with Walls*

銅/17.6×9.3/1954年頃
寄贈 備品番号登録なし

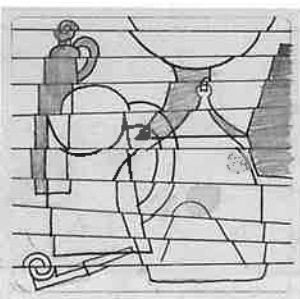


あ021-032-(01)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

〔無題〕
[Untitled]

エッチング・紙/10.4×10.4/
1950年代前半
寄贈 3000066252



あ021-032-(02)

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

〔無題〕構想案
Study of [Untitled]

インク、鉛筆・紙/10.6×10.7/
1950年代前半
寄贈 備品番号登録なし



あ021-033

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

〔無題〕
[Untitled]

エッチング・紙/12.0×8.8/1950年代前半
寄贈 3000066253

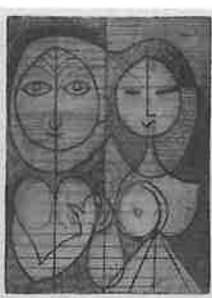


あ021-034

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

〔無題〕
[Untitled]

エッチング、アクアチント・紙/
13.3×9.3/1950年代前半
寄贈 3000066254

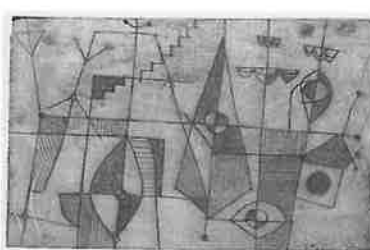


あ021-035

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

〔無題〕
[Untitled]

エッチング、アクアチント・紙/
13.5×10.0/1950年代前半
寄贈 3000066255



あ021-036

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

〔無題〕
[Untitled]

エッチング・紙/7.6×12.1/1950年代前半
寄贈 3000066256



あ021-037

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

LIBRARIE YKAUZAK

エッチング・紙／7.7×7.4／1950年代前半
「LIBRARIE YKAUZAK」(画面右端)
寄贈 3000066257



あ021-038

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

〔無題〕
〔Untitled〕

エッチング・紙／8.5×13.0／1950年代前半
寄贈 3000066258



あ022-003

秋岡芳子 1925-2005
AKIOKA, Yoshiko

〔無題〕
〔Untitled〕

エッチング、ドライポイント・紙／
16.9×10.8／1950年代
寄贈 3000066259



あ022-002

秋岡芳子 1925-2005
AKIOKA, Yoshiko

〔無題〕
〔Untitled〕

メゾチント・紙／18.0×10.5／1954年頃
「54」(画面左下)
寄贈 3000066260



あ022-001

秋岡芳子 1925-2005
AKIOKA, Yoshiko

〔無題〕
〔Untitled〕

メゾチント・紙／17.5×12.0／1953年頃
「Yoshiko '53」(画面左下)
寄贈 3000066261



C002-001

カナレット 1697-1768
Canaletto

河畔の眺め
View from a Town on a River Bank,
from Vedute

エッチング・紙／29.5×43.0／1735-1744年
「A. Canal f.」(画面中央下)、「E. 5」(画面右下)
寄贈 3000066234



C002-002

カナレット 1697-1768
Canaletto

プラート・デッラ・ヴァレのサンタ・
ジュスティーナ聖堂
St. Giustina in Prato della Valle

エッチング・紙／29.5×42.5／1736-1746年頃
「A. Canal f.」(画面左下)、「S. Giustina in Prà
della Vale」(画面中央下)、「E. 2」(画面右下)
寄贈 3000066235



C002-003

カナレット 1697-1768
Canaletto

メストレ(都市景観図シリーズより)
Mestre, from Vedute

エッチング・紙／29.3×42.8／1735-1744年
「A. Canal f.」(画面左下)、「Mestre」(画面中
央下)、「E. 1」(画面右下)
寄贈 3000066236



こ012-001

後藤良 1882-1957
GOTO, Naoshi

菊
Chrysanthemum

木彫彩色／41.0×18.0×14.0／1937年
「昭和十二年秋日 後藤良之作 印(陽
■)」(箱書)
寄贈 3000066233



た015-002

多和圭三 1952-
TAWA, Keizo

無題
Untitled

鉄／(4点組)各198.0×47.5×47.5／1999年
1～4の番号刻印、2/4と3/4のみ「AWAT」の
刻印(台座背面側)
寄贈 3000066231



て003-003

寺崎百合子 1952-
TERAZAKI, Yuriko

Taylor Institution Library, Oxford

黒色鉛筆、水彩・紙／57.0×45.0／2003年
寄贈 3000066229



ふ003-055

藤田嗣治 1886-1968
FUJITA, Tsuguharu

男三人
Three Men

鉛筆・紙／109.0×124.5／1928年頃
寄贈 3000066228



む003-009

村上友晴 1938-2023
MURAKAMI, Tomoharu

無題(礼文)
Untitled(Rebun)

油彩、アクリル・紙／61.7×45.2／1986年
寄贈 3000066226



む003-008

村上友晴 1938-2023
MURAKAMI, Tomoharu

無題
Untitled

水彩・紙／62.5×50.7／1980年
寄贈 3000066227



や001-011

矢崎千代二 1872-1947
YAZAKI, Chiyoji

パリ風景
Scenery of Paris

パステル・紙／33.0×23.0／不詳
寄贈 3000066217



や001-008

矢崎千代二 1872-1947
YAZAKI, Chiyoji

ケープタウン
Cape Town

パステル・紙／33.0×23.0／1932年
「C YAZAKI CAPE TOWN 1932」(画面右上)
寄贈 3000066218



や001-009

矢崎千代二 1872-1947
YAZAKI, Chiyoji

渡しの風景
Scenery of Ferries Passing

パステル・紙／24.2×33.5／1953年
「ヤザキ 1935」(画面右下)
寄贈 3000066219



や001-005

矢崎千代二 1872-1947
YAZAKI, Chiyoji

夜明け
Dawn

パステル・紙／23.7×30.9／1921年
「C YAZAKI, 1921」(画面左下)
寄贈 3000066220



や001-007

矢崎千代二 1872-1947
YAZAKI, Chiyoji

紅海の夕雲
Evening Clouds of the Red Sea

パステル・紙／24.4×33.1／1922年
「一九二二年 紅海 矢■」(画面右下)
寄贈 3000066221



や001-003

矢崎千代二 1872-1947
YAZAKI, Chiyoji

杭州西湖
Xi Hu Lake, Hangzhou

油彩・キャンバス／35.3×45.2／1918年
寄贈 3000066222



や001-004

矢崎千代二 1872-1947
YAZAKI, Chiyoji

ヒマラヤの朝
The Himalayas in Morning

パステル・紙／65.0×80.5／1920年頃
寄贈 3000066223



や001-006

矢崎千代二 1872-1947
YAZAKI, Chiyoji

ダージリン、ヒマラヤ遠望
Darjeeling: Distant View of the
Himalayas

パステル・紙／32.0×23.0／1921年
寄贈 3000066224

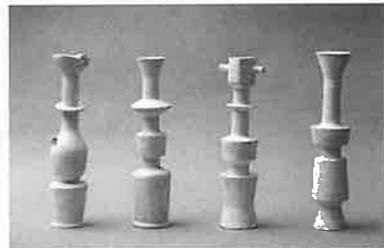


や001-010

矢崎千代二 1872-1947
YAZAKI, Chiyoji

港風景
Seascape of a Harbor

パステル・紙／24.1×33.1／1936年
寄贈 3000066225



や012-008

安原喜明 1906-1980
YASUHARA, Kimei

〔四人の少女〕
〔Four Girls〕

陶土／(4点組)49.5×12.0×12.0、51.2×12.2
×12.2、49.4×13.0×10.5、50.7×11.2×11.2
／1962年
「菫」の刻印(裏面)
寄贈 3000066232



や010-022

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

〔シクラメン〕
〔Cyclamen〕

水彩・紙／39.7×30.0／1929年
「昭和四年二月二十五日、印(新太郎)」
(画面右下)
寄贈 3000066230

IV 作品等貸出

※展覧会の開催初日順に掲載し、掲載年度は展覧会の開催年度によるものとする。

【令和3(2021)年度】

●作品貸出 合計点数63点

1. 宇佐美圭司 ゴースト・プラン・イン・プロセス：プロフィールより「プロセスIV」
展覧会名：宇佐美圭司 よみがえる画家
貸出先：東京大学教養学部駒場博物館
会期：令和3(2021)年4月13日(火)～当初終了日6月27日(日)を8月29日(日)まで延長(4月13日～4月27日は学内での公開)
貸出期間：令和3(2021)年3月16日～9月2日
2. 藤田嗣治「メキシコの少年」/「グッバイ、ニューヨーク」/「書簡(フランク・シャーマン宛)」(25点)[便箋34枚]/「トランク(遺品)」
展覧会名：レオナルド・フジター絵の旅へ 絵の旅へ
貸出先：ポーラ美術館
会期：令和3(2021)年4月17日～9月5日
貸出期間：令和3(2021)年4月7日～10月1日
3. 香月泰男「修理」
展覧会名：生誕110年 香月泰男
貸出先：宮城県美術館、神奈川県立近代美術館 葉山、新潟市美術館、練馬区立美術館、足利市立美術館
会期：[宮城]令和3(2021)年7月3日～9月5日、[神奈川]9月18日～11月14日、[新潟]11月27日～令和4(2022)年1月23日、
[練馬]2月6日～3月27日、[足利]4月5日～5月29日
貸出期間：令和3(2021)年6月22日～令和4(2022)年6月3日
※令和3(2021)年度から令和4(2022)年度にまたがる巡回展
4. 川村清雄「水差し」/「幼児石膏像」/「村上彦四郎(村上義光 錦御旗奪還図)」/「高砂」/「鴨」/「ベネチア風景」/「布袋と唐子」/「花」/「梅に雀」/「小督」/「鈴と絵馬」/「かれい」/「太田道灌」/「朝顔につるべとられてもらい水」/「鸛鷀」/「静物(紫陽花とちびはやぶさ)」/「貝合わせ」/「桜」
展覧会名：川村清雄 その画業
貸出先：那珂川町馬頭広重美術館
会期：[前期]令和3(2021)年9月3日～10月3日、[後期]10月8日～11月7日
貸出：令和3(2021)年8月27日～11月16日
5. 高島野十郎「百合とヴァイオリン」/「牡丹花」
展覧会名：生誕130年記念 高島野十郎
貸出先：高崎市美術館
会期：令和3(2021)年9月5日～11月7日
貸出期間：令和3(2021)年8月25日～11月12日
6. 荻須高德「にわとり」/「鯖」
展覧会名：生誕120年記念 荻須高德展一私のパリ、パリの私一
貸出先：美術館「えき」KYOTO、稲沢市荻須記念美術館、ひろしま美術館
会期：[KYOTO]令和3(2021)年9月10日～10月17日、[稲沢市]令和3(2021)年10月23日～12月19日、
[ひろしま]令和4(2022)年1月3日～3月13日
貸出期間：令和3(2021)年8月26日～令和4(2022)年3月24日
7. 木下晋「無一」
展覧会名：上田薫とリアルな絵画
貸出先：茨城県近代美術館
会期：令和3(2021)年10月26日～12月12日
貸出期間：令和3(2021)年9月30日～12月15日
8. 海老原喜之助「蹄」
展覧会名：海老原美術研究所設立70周年記念 エビハラがいた時代
貸出先：熊本県立美術館
会期：令和4(2022)年2月25日～3月30日
貸出期間：令和4(2022)年2月15日～4月6日

●資料貸出 合計点数1点

1. ビデオ映像(Tadashi Kawamata "People's Garden" Kassel, 1992 Documenta IX
(※所蔵作品 川俣正《プロジェクト「ピープルズ・ガーデン」》の付属映像)
展覧会名: グローバル化時代の現代美術―「セタビ」のコレクションで楽しむ世界旅行
貸出先: 世田谷美術館
会期: 令和3(2021)年7月3日～8月22日
貸出期間: 令和3(2021)年7月3日～8月22日

【令和4(2022)年度】

●作品貸出 合計点数13点

1. 香月泰男「修理」
展覧会名: 生誕110年 香月泰男
貸出先: 宮城県美術館、神奈川県立近代美術館 葉山、新潟市美術館、練馬区立美術館、足利市立美術館
会期: [宮城] 令和3(2021)年7月3日～9月5日、[神奈川] 9月18日～11月14日、[新潟] 11月27日～令和4(2022)年1月23日、
[練馬] 2月6日～3月27日、[足利] 4月5日～5月29日
貸出期間: 令和3(2021)年6月22日～令和4(2022)年6月3日
※令和3(2021)年度から令和4(2022)年度にまたがる巡回展
2. 川村清雄「村上彦四郎(村上義光錦御旗奪還図)」/「梅に雀」/「小督」/「三色すみれ」/「朝顔につるべとられてもらい水」
展覧会名: 初代尾崎市長櫻井忠剛と勝海舟・川村清雄
貸出先: 尾崎市長歴史博物館
会期: 令和4(2022)年10月1日～11月30日
貸出期間: 令和4(2022)年5月25日～12月8日
3. 古茂田守介「工房」/「三人」/「母子」
展覧会名: 第35回新制作展「時代を担ってきた作家たち2022」
貸出先: 新制作協会
会場: 国立新美術館
会期: 令和4(2022)年9月21日～10月3日
貸出期間: 令和4(2022)年9月7日～10月6日
4. 岡鹿之助「信号台」/満谷国四郎「ブルターニュ」/中村義夫「ブルターニュの女」/藤田嗣治「トランク(遺品)」
展覧会名: 憧憬の地 ブルターニュモネ、ゴッガン、黒田清輝らが見た異郷
貸出先: 国立西洋美術館
会期: 令和5(2023)年3月18日～6月11日
貸出期間: 令和5(2023)年3月2日～6月22日

●資料貸出 合計点数2点

1. 中村義夫旧蔵「ワードローブ・トランク」/「トランク(木製)」
展覧会名: 憧憬の地 ブルターニュモネ、ゴッガン、黒田清輝らが見た異郷
貸出先: 国立西洋美術館
会期: 令和5年3月18日～6月11日
貸出期間: 令和5年3月2日～6月22日

【令和5(2023)年度】

●作品貸出 合計点数115点

1. 藤田嗣治「赤毛の女」/「横たわる裸婦」/「人形を持った少女」
展覧会名: 中村直人 モニュメンタル/オリエンタル
貸出先: 上田市立美術館
会期: 令和5(2023)年4月15日～6月11日
貸出期間: 令和5(2023)年4月5日～7月9日

2. 吉村弘 サウンド・オブジェ等資料一式より 29点

展覧会名：吉村弘 風景の音 音の風景

貸出先：神奈川県立近代美術館

会期：令和5(2023)年4月29日～9月3日

貸出期間：令和5(2023)年4月7日～9月9日

3. 太田喜二郎「雪の朝」／太田喜二郎「風景」／斎藤豊作「羊飼いの」／澤部清五郎「初夏のカフェ」

展覧会名：ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる

貸出先：高梁市成羽美術館、新潟県立近代美術館

会期：[成羽] 令和5(2023)年7月8日～8月27日、[新潟] 9月16日～11月12日

貸出期間：令和5(2023)年7月3日～11月24日

4. 川村清雄「村上彦四郎(村上義光 錦御旗奪還図)」／川村清雄「高砂」／東山魁夷「樹根」

展覧会名：シン・ジャパニーズ・ペインティング 革新の日本画—横山大観、杉山寧から現代の作家まで

貸出先：ポーラ美術館

会期：令和5(2023)年7月15日～12月3日

貸出期間：令和5(2023)年6月30日～12月7日

※各作品とも展示期間は、会期前半(7月15日～10月20日まで)のみ

5. 藤田嗣治「10人の子どもたち」／「動物群」／「馬図」／「鯉と蛙の図」

展覧会名：没後55年 藤田嗣治展 FOUJITA in Paris & Villiers-le-Bac

貸出館：笠間日動美術館

会期：令和5(2023)年9月30日～12月17日

貸出期間：令和5(2023)年9月21日～12月21日

6. 田中 保「金髪の裸婦」／坂田一男「浴室の二人の女」／村井正誠「アラブの店」／下川凹天「銀座はうつる」『東京パック』原画集より／池田永治「今年も同じ登場者」『東京パック』原画集より／岡本唐貴「先端にたつ女三態」『東京パック』原画集より／岡本唐貴(三浦俊)「都会」『東京パック』原画集より

展覧会名：葉山館20周年記念 100年前の未来：移動するモダニズム 1920—1930

貸出館：神奈川県立近代美術館 葉山

会期：令和5(2023)年10月7日～令和6(2024)年1月28日

貸出期間：令和5(2023)年9月27日～令和6(2024)年2月2日

7. 藤田嗣治「葉書(澤瑩治宛)」(12点)／「静物(インク壺)」／「自画像」／「キス・ミー」(人形、顔)／「キス・ミー」(人形、全身)／「陶器 顔(8枚組皿)」8点／「陶器 エッフェル塔」／「陶器 アダムとイヴ」／「陶器 猫とねずみ」／「陶器 燭台女」／「書簡(フランク・シャーマン宛)」(25点)[便箋34枚]／「人形を持った少女」／「トランク(遺品)」

展覧会名：藤田嗣治 心の旅路をたどる—手紙と手しごとを手がかりに

貸出館：アサヒビールグループ大山崎山荘美術館

会期：令和5(2023)年12月16日～令和6(2024)年2月25日

貸出期間：令和5(2023)年11月28日～令和6(2024)年3月6日

8. 太田喜二郎「風景」

展覧会名：印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵

貸出館：東京都美術館、郡山市美術館、東京富士美術館、あべのハルカス美術館

会期：[東京都美] 令和6(2024)年1月27日～4月7日、[郡山] 4月20日～6月23日、[東京富士] 7月6日～9月29日、[あべの] 10月1日～令和7(2025)年1月5日

貸出期間：令和6(2024)年1月13日～令和7(2025)年1月18日

※令和5(2023)年度から令和6(2024)年度にまたがる巡回展

●資料貸出 合計点数0点

V 刊行物

(1) ミュージアムシート

目黒区美術館では、美術館活動の記録と広報を目的に、平成24(2013)年より「ミュージアムシート」を発行している。内容は、展覧会や教育普及活動の紹介、調査研究結果の公開などであり、執筆編集は原則的に職員が行い、外部の寄稿を依頼する場合もある。

【令和3(2021)年度掲載内容】

- ・[031] 現在と過去の交差から見えてくるもの
「マニエール・ブルケール—20世紀パリの麗しき版画本の世界」展を終えて
- ・[032] 目黒区美術館コレクション展
日々のよろこび2021 コレクション活用のかたち
- ・[033] 障がいのあるアーティストによる作品展
日々のよろこび2021
- ・[034] 木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり

【令和4(2022)年度掲載内容】

- ・[035] 東京・区立美術館ネットワーク連携事業
「東京の猫とたち」つながりをふりかえる
- ・[036] ワークショップ2022夏「おもちゃ箱・道具箱」
同時開催 目黒区美術館35周年記念展
美術館はおもちゃ箱・道具箱
- ・[037] コレクション解体新書Ⅰ
「フジタが目黒にやって来た—作品収集のあゆみ—」
- ・[038] 35歳になった目黒区美術館

【令和5(2023)年度掲載内容】

- ・[039] ベルギーと日本—光をえがき、命をかたどる
- ・[040] 目黒区美術館コレクション展
版画いろいろ+秋岡芳夫全集6 銅版画
- ・[041] 青山悟 刺繍少年フォーエバー エピソード0
展覧会開催前の二つのプレプログラム
- ・[042] 広がるコラージュ/
同時開催 IIDA 101 飯田善國

(2) 目黒区美術館年報

- ・平成30(2018)・31/令和元(2019)・2(2020)年度
サイズ: A4/96ページ
発行: 令和4(2022)年3月15日



R3-[031]



R3-[032]



R3-[033]



R3-[034]



R4-[035]



R4-[036]



R4-[037]



R4-[038]



R5-[039]



R5-[040]



R5-[041]



R5-[042]

VI 入館状況

【令和3(2021)年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
マニエール・ブルケール 20世紀パリの麗しき版画本の世界	3年4月21日～ 3年6月20日	22日間	2,158人	98人	A,B,C,E,L	(緊急事態宣言を受け4月25日～5月31日臨時休館)
包むー日本の伝統パッケージ	3年7月13日～ 3年9月5日	48日間	7,710人	161人	A,B,C,E,L	
目黒区美術館コレクション展 日々のよろこび	3年11月13日～ 3年12月19日	32日間	2,535人	79人	A,B,C,E,L	
障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび2021	3年11月30日～ 3年12月19日	18日間	2,081人	116人	W	
めぐろの子どもたち展	4年1月18日～ 4年2月2日	14日間	10,291人	735人	A,B,C,E,L,W,G	
木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり	4年2月19日～ 4年3月27日	32日間	10,644人	333人	A,B,C,E,L	
合 計		166日間	35,419人	213人		

協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
区展(区民作品展)	3年9月15日～ 3年9月26日	11日間	1,426人	130人	A,B,C,E,L,W,G	

共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区書作家協会展	3年7月21日～ 3年7月25日	5日間	222人	44人	G	
目黒区美術家協会展	3年6月23日～ 3年6月27日	5日間	220人	44人	G	
目黒区美芸作家協会展	4年3月22日～ 4年3月27日	6日間	577人	115人	G	

注: A=展示室A、B=展示室B、C=展示室C、E=エントランスホール、L=展示ロビー、W=ワークショップ室、G=区民ギャラリー

【令和4(2022)年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
東京・区立美術館ネットワーク連携事業 「東京の猫たち」	4年4月23日～ 4年6月12日	44日間	9,600人	218人	A,B,C,E,L	
目黒区美術館35周年記念展 美術館はおもちゃ箱・道具箱	4年7月9日～ 4年8月28日	44日間	4,704人	107人	A,B,C,E,L	
コレクション解体新書Ⅰ フジタが目黒にやって来た —作品収集のあゆみ—	4年10月8日～ 4年11月20日	38日間	6,429人	169人	A,B,C,E,L	
めぐろの子どもたち展	5年1月17日～ 5年2月1日	14日間	10,575人	755人	A,B,C,E,L,W,G	
コレクション解体新書Ⅱ 1970年代以降の作品を中心に	5年2月18日～ 5年3月26日	32日間	2,339人	73人	A,B,C,E,L	
合 計		172日間	33,647人	196人		

協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
区展(区民作品展)	28年9月19日～ 28年10月2日	12日間	1,645人	137人	A,B,C,E,L,W,G	

共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区書作家協会展	4年5月18日～ 4年5月22日	5日間	351人	70人	G	
目黒区美術家協会展	4年6月22日～ 4年6月25日	5日間	350人	70人	G	
目黒区美芸作家協会展	5年3月21日～ 5年3月26日	6日間	477人	80人	G	

注：A＝展示室A、B＝展示室B、C＝展示室C、E＝エントランスホール、L＝展示ロビー、W＝ワークショップ室、G＝区民ギャラリー

【令和5(2023)年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる	5年4月29日～ 5年6月18日	44日間	6,879人	156人	A,B,C,E,L	
中村直人 モニュメンタル／オリエンタル	5年7月15日～ 5年9月3日	44日間	3,035人	69人	A,B,C,E,L	
目黒区美術館コレクション展 版画いろいろ ＋特集展示秋岡芳夫全集6銅版画	5年10月7日～ 5年11月12日	32日間	2,600人	81人	A,B,C,E,L	
めぐろの子どもたち展	6年1月20日～ 6年2月4日	14日間	11,406人	815人	A,B,C,E,L,W,G	
広がるコラージュ／ 同時開催 IIDA101 飯田善國	6年2月17日～ 6年3月24日	32日間	3,754人	117人	A,B,C,E,L	
合 計		166日間	27,674人	167人		

協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
区展(区民作品展)	5年9月13日～ 5年9月24日	11日間	1,557人	142人	A,B,C,E,L,W,G	

共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区書作家協会展	5年5月17日～ 5年5月21日	5日間	360人	72人	G	
目黒区美術家協会展	5年6月21日～ 5年6月25日	5日間	312人	62人	G	
目黒区美芸作家協会展	6年3月26日～ 6年3月31日	6日間	507人	85人	G	

注：A＝展示室A、B＝展示室B、C＝展示室C、E＝エントランスホール、L＝展示ロビー、W＝ワークショップ室、G＝区民ギャラリー

VII 区民ギャラリー

【令和3(2021)年度】

	展覧会名	貸出期間	日数	入場者
1	【開催中止】目黒区文化祭 目黒区民の華道展・呈茶席	4/1 ~ 4/4	4	0
2	第3回 遊美塾東京 写真展	4/6 ~ 4/11	6	307
3	墨雲会 水墨画作品展	4/6 ~ 4/11	6	380
4	ゆうの会・徹彩会合同展覧会	4/13 ~ 4/18	6	239
5	【開催中止】交龍会	4/13 ~ 4/18	6	0
6	【開催中止】目黒区文化祭 自主グループ作品展	4/20 ~ 4/25	6	0
7	【開催中止】有象無象 第7回展	4/27 ~ 5/5	9	0
8	【開催中止】英隆行	4/27 ~ 5/5	9	0
9	【開催中止】大野幸子個展	5/7 ~ 5/9	3	0
10	【開催中止】架空の街℃	5/11 ~ 5/16	6	0
11	【開催中止】令和三年 目黒区書作家協会展	5/18 ~ 5/23	6	0
12	【開催中止】マザーズキルト	5/25 ~ 5/30	6	0
13	JEARA公式 Art Photo展 in 2021	6/1 ~ 6/6	6	395
14	スタジオAZ テキスタイルNOW:2021	6/8 ~ 6/13	6	118
15	【開催中止】一樹会	6/8 ~ 6/13	6	0
16	第13回 図工ランド展	6/15 ~ 6/20	6	1,534
17	第28回目黒区美術家協会展	6/22 ~ 6/27	6	220
18	西陣美術織 若沖 動植絨絵展	6/29 ~ 7/4	6	616
19	大東文化大学青山杉雨賞受賞者書道展	6/29 ~ 7/4	6	498
20	【開催中止】輝くテニスプレーヤーの軌跡	7/6 ~ 7/11	6	0
21	【開催中止】七月展	7/6 ~ 7/11	6	0
22	第31回 勤労者美術展	7/13 ~ 7/18	6	110
23	目黒区書作家協会展	7/20 ~ 7/25	6	222
24	水墨画作品展	7/27 ~ 8/1	6	122
25	18+∞展	8/3 ~ 8/9	7	249
26	架空の街℃	8/11 ~ 8/15	5	272
27	【開催中止】第70回旧三商大写真展	8/17 ~ 8/22	6	0
28	【開催中止】墨華展	8/24 ~ 8/29	6	0
29	のいちご 葉月展	8/31 ~ 9/5	6	128
30	【開催中止】東京工業大学写真研究部 OB・OG会 / 現役合同写真展	8/31 ~ 9/5	6	0
31	第45回 区展(目黒区民作品展) (本館と同時開催)	9/15 ~ 9/26	11	1,426
32	第三回 秀蓮工房韓紙工芸展 <承前啓後>	9/28 ~ 10/3	6	214
33	「風景」のつくりかた	9/28 ~ 10/3	6	130
34	渡邊 勇展 一生命体 1987-2021-	10/5 ~ 10/10	6	160
35	望の会2021 - 西野正望と、その教室展	11/2 ~ 11/7	6	200
36	第3回 絵楽展	11/2 ~ 11/7	6	250
37	第39回 萌画会展	11/9 ~ 11/14	6	400
38	第16回 MOA 美術館目黒区児童作品展	11/9 ~ 11/14	6	634
39	建44アート展 2021	11/16 ~ 11/21	6	281
40	写真教室アルトフォーカス 第13回受講生作品展	11/16 ~ 11/21	6	163
41	第56回 ユネスコ美術展	11/23 ~ 11/28	6	355
42	TIME SERIES	11/30 ~ 12/5	6	118
43	三人展「碧落一洗」蕨細工作家 藤山順二、彫刻家 葉師寺一彦、水墨画 龍全	12/7 ~ 12/12	6	80
44	Tomoko Matsuoka 2021 Paris ~『Carrousel du Louvre 報告会』	12/7 ~ 12/12	6	240
45	レイアートスクール作品展2021	12/14 ~ 12/19	6	600
46	Abstract Nonsense	12/21 ~ 12/26	6	80
47	第2回連枝書道會展	1/5 ~ 1/10	6	500
48	めぐろの子どもたち展	1/14 ~ 2/4	※	※
49	【開催中止】クラフトバンド作品展 2022	2/8 ~ 2/13	6	0
50	【開催中止】輝くテニスプレーヤーの軌跡	2/15 ~ 2/20	6	0
51	東京ガラス工芸研究所 卒業制作展	2/15 ~ 2/20	6	166
52	日本写真芸術専門学校 総合写真研究ゼミ2年生合同写真展 いつかの君へ	2/22 ~ 2/27	6	300
53	JAPAN SHODO SHOW	3/1 ~ 3/6	6	193
54	第4回 遊美塾東京 写真展	3/8 ~ 3/13	6	424
55	日本写真芸術専門学校 卒業作品展	3/15 ~ 3/21	7	300
56	第27回 美芸展	3/23 ~ 3/27	5	577
57	第57回目黒区文化祭 目黒区民の華道展	3/31 ~ 4/3	4	224
	合計	-	340	13,425

※「めぐろの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。

【令和4(2022)年度】

	展覧会名	貸出期間	日数	入場者
1	ゆうの会・徹彩会合同展覧会	4/5 ~ 4/10	6	350
2	墨雲会 水墨画作品展	4/5 ~ 4/10	6	260
3	岩井洋子展	4/12 ~ 4/17	6	170
4	松岡智子展	4/12 ~ 4/17	6	85
5	第57回目黒区文化祭 自主グループ作品展	4/19 ~ 4/24	6	355
6	テキスタイルNOW:2022	4/26 ~ 5/1	6	106
7	ミニチュア絵画 都築作治展	4/26 ~ 5/1	6	120
8	古今東西のユーフォニアム展【有料】	5/3 ~ 5/8	6	436
9	【開催中止】英隆行	5/3 ~ 5/8	6	0
10	第16回目黒区書作家協会展	5/17 ~ 5/22	6	351
11	日本ワイルドライフアート協会展	5/24 ~ 5/29	6	470
12	一樹会	5/24 ~ 5/29	6	209
13	第14回 函エランド展	5/31 ~ 6/5	6	1,539
14	【開催中止】シェア・インターナショナル・ネットワーク	6/7 ~ 6/12	6	0
15	輝くテニスプレーヤーの軌跡	6/7 ~ 6/12	6	81
16	二人の旅 イタリア紀行	6/14 ~ 6/19	6	800
17	第29回目黒区美術家協会展	6/21 ~ 6/26	6	350
18	ART WAVE 目黒現代美術展	6/28 ~ 7/3	6	445
19	2022 サロン・ド・フィナル展	7/5 ~ 7/10	6	119
20	七月展	7/5 ~ 7/10	6	125
21	19+∞展	7/12 ~ 7/18	7	312
22	AAFオートモビル・アート連盟 第9回作品展 ~乗り物をアートする~	7/20 ~ 7/31	11	631
23	第32回 勤労者 美術展	7/20 ~ 7/24	5	176
24	【開催中止】現代のマンダラ展	7/26 ~ 7/31	6	0
25	令和四年慶應義塾大学書道会 郊外展	8/2 ~ 8/7	6	170
26	展覧会「その子と一緒に -vol.3-」&小山このか個展	8/9 ~ 8/14	6	71
27	水墨画の展覧会	8/9 ~ 8/14	6	155
28	法政大学書道会創立65周年記念展覧会	8/16 ~ 8/21	6	120
29	JEARA 公式 Art Photo展 2022 うつろい	8/23 ~ 8/28	6	315
30	東京工業大学写真研究部OB・OG/現役合同写真展	8/30 ~ 9/4	6	123
31	第71回旧三商大写真展 東京展	8/30 ~ 9/4	6	116
32	第46回 区展(目黒区民作品展)(本館と同時開催)	9/14 ~ 9/25	11	1,645
33	from frame	9/27 ~ 10/2	6	130
34	Vol.13 Coil展・あぶく・	9/27 ~ 10/2	6	100
35	Abox Photo Academy 写真展 2022	10/4 ~ 10/10	7	400
36	サハラに眠る先史壁画-英 隆行写真展	10/4 ~ 10/10	7	800
37	ルナ・フローラ創立55周年記念全国展	10/12 ~ 10/16	5	650
38	第40回 萌画会展	10/18 ~ 10/23	6	307
39	田中賢二 -藍の世界-	10/18 ~ 10/23	6	220
40	第2回 墨刻大作展	10/25 ~ 10/30	6	430
41	【開催中止】津止孝友	11/1 ~ 11/6	6	0
42	マザーズキルト展	11/1 ~ 11/6	6	348
43	第17回 MOA美術館目黒区児童作品展	11/10 ~ 11/13	4	300
44	望の会2022-西野正望と、その教室展	11/15 ~ 11/20	6	250
45	【開催中止】島岡栄治 The End of the 阿呆の主食はお粥~それより僕が伝えたいのは	11/15 ~ 11/21	6	0
46	【開催中止】大川直人写真展 音楽の仕事40年の軌跡 GOOD TIME MUSIC	11/15 ~ 11/21	6	0
47	小さな北欧美術館「アンネ・パソ展」~フィンランドの自然から生まれた幾何学美~	11/15 ~ 11/20	6	520
48	ゲッスイトリエンナーレ'22	11/22 ~ 11/27	6	700
49	書文化の展開と東アジアの書表現 日中韓交流書作展2022	1/4 ~ 1/9	6	208
50	須藤昌人 3H写真展	1/11 ~ 1/15	5	152
51	第15回 四大学連合同写真展	1/11 ~ 1/15	5	121
52	めぐろの子どもたち展	1/18 ~ 2/2	※	※
53	朝玄展(夢で逢いましょう)	2/7 ~ 2/12	6	820
54	第13回 ATELIER EBIS 展	2/14 ~ 2/19	6	890
55	よきなみ+	2/21 ~ 2/26	6	250
56	写真教室アルトフォーカス 第14回受講生作品展	2/21 ~ 2/26	6	230
57	令和四年度 卒業展覧会 心機一展(國學院大學書道研究會)	2/28 ~ 3/5	6	78
58	東京ガラス工芸研究所 卒業制作展 2023	2/28 ~ 3/5	6	202
59	第13回 ATELIER omo3展	3/7 ~ 3/12	6	500
60	日本写真芸術専門学校 総合写真研究ゼミ 2年生 合同写真展	3/14 ~ 3/19	6	120
61	第28回 美芸展	3/21 ~ 3/26	6	477
62	第58回目黒区文化祭参加 目黒区華道茶道展	3/30 ~ 4/2	4	189
	合計	-	371	19,597

※「めぐろの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。

【令和5(2023)年度】

	展覧会名	貸出期間	日数	入場者
1	ゆうの会徹彩会合同展覧会	4/4 ~ 4/9	6	340
2	時分の華 vol.2 - 世阿弥の花伝書より -	4/4 ~ 4/9	6	288
3	テキスタイル NOW:2023	4/11 ~ 4/16	6	101
4	桜の季節一日中著名画家書家合同展	4/11 ~ 4/16	6	180
5	目黒区自主グループ協会展	4/18 ~ 4/23	6	506
6	第5回 遊美塾・東京 写真展	4/25 ~ 4/30	6	439
7	そこにも、苦がある。	5/2 ~ 5/7	6	346
8	これからのSMILE HOME / 建築家31会 VOL.33	5/9 ~ 5/14	6	117
9	目黒区書作家協会展	5/16 ~ 5/21	6	360
10	日本ワイルドライフアート協会展	5/23 ~ 5/28	6	350
11	写真を紡ぐ「温故知新」	5/23 ~ 5/28	6	800
12	JAPAN SHODO SHOW 2023	5/30 ~ 6/4	6	250
13	第32回 一樹会展	6/6 ~ 6/11	6	195
14	大山直也展 -Emergence-	6/6 ~ 6/11	6	150
15	第15回 図工ランド展	6/13 ~ 6/18	6	1,418
16	第30回目黒区美術家協会展	6/20 ~ 6/25	6	312
17	のいちご写真美術展	6/27 ~ 7/2	6	200
18	つなげよう 平和な未来への願い - 平和の壁画とミヤザキ ケンスケ作品展 -	6/27 ~ 7/2	6	259
19	2023 ARTWAVE 目黒現代美術展	7/4 ~ 7/9	6	363
20	第2回 古今東西のユーフォニアム展【有料】	7/11 ~ 7/17	7	147
21	戦前の国産管楽器展【有料】	7/11 ~ 7/17	7	134
22	魅惑の貝からアート ~第9回セーラーズバレンティン生徒作品展~	7/19 ~ 7/23	5	278
23	第33回 勤労者美術展	7/19 ~ 7/23	5	166
24	2023 サロン・ド・フィナル展	7/25 ~ 7/30	6	121
25	TASARO 2023	7/25 ~ 7/30	6	105
26	令和五年度 慶應義塾大学書道会 校外展	8/1 ~ 8/6	6	216
27	第72回 旧三商大写真展 東京展	8/8 ~ 8/13	6	103
28	Logic × Creative展 ~ for SDGs~	8/8 ~ 8/13	6	236
29	21+∞展	8/15 ~ 8/20	6	318
30	光彩のタペストリー展	8/22 ~ 8/27	6	300
31	建44アート展2023	8/29 ~ 9/3	6	313
32	創造される場所または雪舟の庭園 菅田純一 写真展	8/29 ~ 9/3	6	300
33	第46回 区展(目黒区民作品展) (本館と同時開催)	9/13 ~ 9/24	11	1,557
34	Show up in Tokyo / 一般社団法人 国際芸術写真協会 作品展 2023	9/26 ~ 10/1	6	200
35	境界展	9/26 ~ 10/1	6	125
36	横山忠正絵画展	10/3 ~ 10/9	7	300
37	新宅善治・信子写真展 二人の旅イタリア 最終回(第53回)	10/11 ~ 10/15	5	500
38	B&A 美術展 2023 / With これまでとこれから	10/17 ~ 10/22	6	723
39	第8回 bucca展	10/24 ~ 10/29	6	298
40	AAF オートモビル・アート連盟 第10回作品展 ~乗り物をアートする~	10/24 ~ 10/29	6	600
41	第7回 美澄会 日本画教室	10/31 ~ 11/5	6	232
42	第18回 MOA 美術館目黒区児童作品展	11/7 ~ 11/12	6	280
43	望の会2023 ~ 西野正望と、その教室展	11/14 ~ 11/19	6	200
44	写真教室アルトフォーカス 第15回受講生作品展	11/14 ~ 11/19	6	166
45	第57回 ユネスコ美術展	11/21 ~ 11/26	6	254
46	親密なからみ合い; フィンランドの現代ファッション	11/28 ~ 12/3	6	170
47	洋装の饗宴 美と匠を紡ぐ オートクチュール・コレクション展【有料】	12/5 ~ 12/10	6	317
48	クラフトバンド作品展2023【有料】	12/12 ~ 12/17	6	366
49	アトリエ・フィオーレ シャドーボックス作品展	12/19 ~ 12/24	6	230
50	sUm 写真展「可視化」	12/19 ~ 12/24	6	101
51	(仮)MA 目黒青猫 ※キャンセル	1/5 ~ 1/8	4	0
52	玄妙個展2024「古典漫遊」- 古代中国から近代日本へ、文字の変遷をたどる -	1/5 ~ 1/8	4	120
53	レイアートスクール 作品展 2024	1/10 ~ 1/14	5	915
54	めぐるの子どもたち展	1/17 ~ 2/4	※	※
55	easobi-ten2024	2/6 ~ 2/12	7	301
56	若手作家22人による写真展「unique」- 日本写真芸術専門学校 総合写真研究ゼミ展 -	2/14 ~ 2/18	5	252
57	池坊東京橋会支部創立100周年記念花展	2/20 ~ 2/25	6	235
58	ひびき / I feel fine	2/27 ~ 3/3	6	350
59	第36回 読書展	3/5 ~ 3/10	6	82
60	第十六回 四大学連合同写真展	3/5 ~ 3/10	6	115
61	有田美津子展江戸から現代から未来への日本刺繍	3/12 ~ 3/17	6	258
62	テキスタイル NOW・2024	3/19 ~ 3/24	6	132
63	第四回 絵染展	3/19 ~ 3/24	6	240

	展覧会名	貸出期間	日数	入場者
64	第29回 美芸展	3/26 ~ 3/31	6	507
	合計	-	378	19,837

※「めぐろの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。

VII ボランティア

生涯学習の振興に向けてボランティア活動の重要性が指摘される中、地域においても美術館を通しての社会奉仕活動を希望する人々が多く存在するようになっている。美術館としてもそのような要望に応え、また住民のニーズを把握し、美術・文化活動の地域への振興を図っていくためにボランティア活動を積極的に援助し、活用していく必要がある。

目黒区美術館では、昭和62年11月の開館時よりボランティアを受け入れ、現在はラウンジ(喫茶コーナー)の運営、トイコレクションプログラムの企画・運営、目黒区総合庁舎建築ガイドツアー、広報活動補助等を中心に幅広い活動が行われている。

1 ボランティア数 99名 令和6(2024)年3月31日現在

2. 活動内容

(1) ラウンジ運営—ラウンジ営業部

活動時間：展覧会会期中の12:30～16:30

(ラウンジの営業時間は、13:00～16:00)

当番：原則として毎日2名

(2) ワークショップ活動—学芸部トイコレクション班

【令和3(2021)年度】

① トイで遊ぶ休日の昼下がり

進 行：トイコレクションボランティアチーム(TVT)

開催期間：「目黒区美術館コレクション展 日々のよろこび2021」会期中の土・日・祝日13:00～16:00

場 所：目黒区美術館展示室

参加者：226人

② トイの日「つみきでピクニック」

進 行：トイコレクションボランティアチーム(TVT)

開催日：3月21日(月・祝) ①10:30～11:30、②13:00～14:00、③14:30～15:30

場 所：目黒区美術館ワークショップ室

参加者：計40人

【令和4(2022)年度】

① トイプレイコーナー

進 行：トイコレクションボランティアチーム(TVT)

開催期間：「美術館はおもちゃ箱・道具箱展」会期中の土・日・祝日13:00～16:00

場所：目黒区美術館ワークショップ室

参加者：延べ1,157人

② トイの日

進 行：トイコレクションボランティアチーム(TVT)

開催日：10月30日(日)、11月3日(木・祝)の10:30～12:00、②12:30～14:00、③14:30～16:00

場 所：目黒区美術館ワークショップ室

参加者：[10月30日] ①12組31人、②6組16人、③12組31人

[11月3日] ①13組35人、②8組24人、③9組31人

【令和5(2023)年度】

① トイの日ウィーク

進 行：トイコレクションボランティアチーム(TVT)

開催日：8月8日(火)～13日(日) 各日13:00～16:00

場 所：目黒区美術館ワークショップ室

参加者：延べ274人(8日:29人、9日:42人、10日:51人、11日:56人、12日:52人、13日:44人)

② ファミリーワークショップ トイでつくるう！ワクワク王国

進 行：トイコレクションボランティアチーム(TVT)

開催日：2月18日(土) 13:30～15:00

場 所：目黒区美術館ワークショップ室

参加者：6組12人

(3) アウトリーチ活動(出張美術館)—学芸部トイコレクション班

【令和3(2021)年度】

新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止

【令和4(2022)年度】

- ① 作ってみよう、つみきでお気に入り
進 行：トイコレクションボランティアチーム(TVT)
開催日：令和5年2月25日(土) 13:00～15:30
場 所：目黒区民センター児童館 幼児遊戯室
参加者：14組30人

【令和5(2023)年度】

- ① どこまでも広がる1トイの凹凸タウン
進 行：メグロアソビ冒険隊、トイコレクションボランティアチーム(TVT)
開催日：4月8日(土) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30
場 所：景丘の家(東京都渋谷区恵比寿)
参加者：①子ども7人、保護者5人 ②子ども8人、保護者9人
- ② つみきでつくろう たのしいゆうえんち
進 行：トイコレクションボランティアチーム(TVT)
開催日：11月11日(土)
場 所：目黒区民センター児童館 幼児遊戯室
参加者：40人

(4) 目黒区総合庁舎ガイドツアー—学芸部建築班

*詳細は、教育普及の項参照(p.72)

【令和3(2021)年度】	新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止				
【令和4(2022)年度】	開催日	4月29日(祝)	5月7日(土)	5月20日(金)	5月28日(土)
	参加者	23人	21人	24人	21人
【令和5(2023)年度】	開催日	4月30日(日)	5月12日(金)	5月20日(土)	5月28日(日)
	参加者	33人	36人	36人	38人

(5) 学芸部資料整理班

展示会のデータ入力補助や資料整理のほか、作品リストや展示会カレンダー、各種案内の英文翻訳を行った

(6) チラシなどの発送作業—広報部

【令和3(2021)年度】

「木村伊兵衛と画家たちの見たパリ色とりどり」展ほか、ポスター・チラシ等発送作業2回

【令和4(2022)年度】

「美術館はおもちゃ箱・道宝箱」展ほか、ポスター・チラシ等発送作業4回

【令和5(2023)年度】

「中村直人 モニュメンタル／オリエンタル」展ほか、ポスター・チラシ等発送作業4回

(7) バスツアー

【令和3(2021)年度】

新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止

【令和4(2022)年度】

開催日：12月2日(木)／場所：MOA美術館／参加者：47名

【令和5(2023)年度】

開催日：12月7日(木)／場所：笠間日動美術館、茨城県陶芸美術館／参加者：40名

(8) その他

班別見学会、ボランティア総会実施

IX 博物館実習

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多ことから、平成8年度を初年度としてこれを受け入れている。実習期間、実習内容等については、担当学芸員と調整して年間をとおし実習に適した業務のある日に来館してもらい、決定する。
(提出書類)履歴書、アンケート、学長からの依頼書等。

【令和3(2021)年度】 8名

お茶の水女子大学、実践女子大学、昭和女子大学、女子美術大学、大正大学、多摩美術大学、東京農業大学、武蔵野美術大学 各1名

【令和4(2022)年度】 8名

青山学院大学、お茶の水女子大学、多摩美術大学、東京家政大学、東京工芸大学、日本大学、日本女子大学、八洲学園大学 各1名

【令和5(2023)年度】 8名

青山学院大学、跡見学園女子大学、聖心女子大学、多摩美術大学、東京女子大学、二松学舎大学、日本大学、明治大学 各1名

X 名簿

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 評議員・理事・監事名簿

(令和6年3月31日現在)

評議員

	役職	氏名	備考	任期
1	評議員	かしわ や ひでお 柏谷 秀男	弁護士、税理士	令和5年6月16日 ～令和9年度定時評議員会
2	評議員	しおだ じゅんいち 塩田 純一	多摩美術大学客員教授	令和5年6月16日 ～令和9年度定時評議員会
3	評議員	いのうえ ゆかこ 井上 裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家	令和5年6月16日 ～令和9年度定時評議員会
4	評議員	きだ さいこ 木田 左和子	ピアニスト、昭和女子大学非常勤講師	令和5年6月16日 ～令和9年度定時評議員会
5	評議員	はこもり えいいち 箱守 栄一	美術品リスクコンサルタント	令和5年6月16日 ～令和9年度定時評議員会
6	評議員	はしもと やすお 橋本 安男	目黒区民交響楽団副団長	令和5年6月16日 ～令和9年度定時評議員会
7	評議員	みやまこ まさあき 宮廻 正明	東京藝術大学名誉教授	令和5年6月16日 ～令和9年度定時評議員会
8	評議員	うさだ けんじ 植田 健二	目黒吹奏楽団団長	令和5年6月16日 ～令和9年度定時評議員会
9	評議員	ほりもり かつとし 堀切 克俊	有限会社丸貴代表取締役	令和5年6月16日 ～令和9年度定時評議員会
10	評議員	まつおか きよこ 松岡 希代子	板橋区立美術館館長	令和5年6月16日 ～令和9年度定時評議員会
11	評議員	おかだ あつこ 岡田 敦子	東京音楽大学副学長	令和5年6月16日 ～令和9年度定時評議員会

(以上11名)

理事

	役職	氏名	備考	任期
1	理事長	あきやま てるふみ 秋山 光文	お茶の水女子大学名誉教授	令和5年6月16日 ～令和7年度定時評議員会
2	副理事長	やました なおずみ 山下 直純	山下寝具株式会社会長	令和5年6月16日 ～令和7年度定時評議員会
3	常務理事	なかざわ あいさく 中澤 英作	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長(パーシモンホール館長兼務)	令和5年6月16日 ～令和7年度定時評議員会
4	理事	えんどう ゆきこ 遠藤 幸子	弁護士	令和5年6月16日 ～令和7年度定時評議員会
5	理事	たなか はるひさ 田中 晴久	平和祈念展示資料館学芸員	令和5年6月16日 ～令和7年度定時評議員会
6	理事	なかや まさこ 中屋 早紀子	声楽家	令和5年6月16日 ～令和7年度定時評議員会
7	理事	あきおか しょう 秋岡 陽	フェリス女学院学院長	令和5年6月16日 ～令和7年度定時評議員会
8	理事	せし ひろふみ 橋 秀文	目黒区美術館館長	令和5年6月16日 ～令和7年度定時評議員会
9	理事	すがなみ きいこ 菅波 希衣子	ワッティ株式会社代表取締役社長	令和5年6月16日 ～令和7年度定時評議員会

(以上9名)

監事

	役職	氏名	備考	任期
1	監事	よご なおき 余語 直樹	公認会計士、税理士、社会保険労務士	令和5年6月16日 ～令和9年度定時評議員会
2	監事	よこた としふみ 横田 俊文	行政経験者	令和5年6月16日 ～令和9年度定時評議員会

(以上2名)

XI 施設

●工事概要

建築

所在地：東京都目黒区目黒二丁目4番36号
 地域・地区：住居地域・準防火地域・第3種高度地区
 敷地面積：2,033.53㎡
 建ぺい率：66.45%
 容積率：199.61%
 構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造
 地上3階・地下1階
 建物高さ：17.89m
 延床面積：4,059.21㎡

構造

主体構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
 その他：外壁花崗岩貼リジェットバーナー仕上げ(乾式工法)
 工期：着工昭和60年12月2日
 竣工昭和62年3月31日
 設計・監理：株式会社日本設計事務所
 建築：株式会社竹中工務店東京本店
 空調設備：株式会社朝日工業社本店
 衛生設備：足立工業株式会社東京支店
 電気設備：中国電気工事株式会社東京支店
 昇降機設備：横浜エレベータ株式会社

●面積表

展示・教育普及

展示室A：319.10㎡
 展示室B：170.46㎡
 展示室C：65.80㎡
 展示ロビー：44.80㎡
 ワークショップ：148.47㎡
 廊下・階段・その他：203.17㎡
 小計：951.8㎡

区民ギャラリー

区民ギャラリー：379.53㎡
 控室：14.5㎡
 区民ギャラリーエントランス・階段・その他：198.82㎡
 小計：592.85㎡

研究調査

資料室：102.79㎡
 修復室：46.09㎡
 小計：148.88㎡

収蔵

収蔵庫A：408.36㎡
 収蔵庫B：53.85㎡
 前室：48.53㎡
 荷解室：62.58㎡
 搬出入口：56.57㎡
 展示用具室：73.40㎡
 エレベーター・倉庫・その他：229.63㎡
 小計：932.92㎡

管理

事務室：58.05㎡
 館長室：32.47㎡
 理事長室：24.58㎡
 中央管理室：20.64㎡
 休養室：24.29㎡
 ワークショップ準備室：31.36㎡
 映像準備室：14.40㎡
 廊下・階段・その他：178.18㎡
 小計：383.97㎡

ホール等

エントランス：169.85㎡
 ラウンジ：55.84㎡
 ベビーコーナー：5.27㎡
 廊下・その他：343.58㎡
 小計：574.54㎡

機械室等

機械室：277.14㎡
 電気室：67.59㎡
 エレベーター機械室・自家発電電気室・その他：129.52㎡
 小計：474.25㎡

合計：4,059.21㎡

XII 沿革

昭和45年	長期計画基本構想で「芸術文化の振興の拠点として総合文化施設の設置」を決定	昭和60年3月	目黒区美術館(仮称)実施設計策定
昭和54年7月	長期計画実施計画で「美術館の設置」を決定	6月	目黒区美術館開設準備委員・臨時委員設置
12月	美術館開設準備室設置	8月	目黒区美術館開設準備顧問就任 目黒区美術館マーク制作
昭和55年3月	目黒区美術博物館建設検討委員会設置	11月	「プレビュー・目黒区美術館」展開催 (11/12・11/17)
4月	「東京都目黒区博物館資料取得基金条例」施行	12月	目黒区美術館(仮称)新築工事起工式(12/12)
昭和56年1月	目黒区美術博物館建設検討委員会答申「目黒区が建設する美術博物館の基本構想のあり方について」	昭和61年7月	美術館管理運営の財団委託方針決定
3月	目黒区美術博物館建設専門委員設置	9月	「プレビュー・目黒区美術館2」展開催 (9/9・9/15)
4月	目黒区美術博物館(仮称)設置の方針策定	12月	目黒区美術館(仮称)新築工事定礎式(12/5)
11月	目黒区立美術館(仮称)資料収集委員会要綱を制定	昭和62年3月	「目黒区美術館条例」公布
昭和57年2月	博物館併設構想から美術館単独構想へ変更	4月	目黒区美術館新築工事落成式(4/14)
3月	第一回資料収集委員会開催―資料収集を開始	10月	財団法人目黒区芸術文化振興財団設立(10/1)
10月	区制施行50周年記念事業に位置づけ	11月	目黒区美術館開館(11/15)
昭和59年2月	目黒区美術館(仮称)基本構想策定 (58年6月策定開始)	平成23年4月	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団認可 (4/1)
10月	目黒区美術館(仮称)基本設計策定		

XIII 案内

観覧時間:午前10時―午後6時

(ただし入館は午後5時30分まで)

休館日:月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)

年末年始

観覧料:展覧会ごとにその都度定める



交通案内:

- JR山手線目黒駅(西口)、東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線
- バス、渋谷駅より東急 渋41―大井町駅行、田道小学校入口

目黒駅より徒歩10分
下車3分

目黒駅より東急

黒01―大岡山小学校行

黒02―二子玉川駅行

黒06―三軒茶屋駅行

黒07―弦巻営業所行

東98―等々力操車所行

権之助坂下車
下車5分

目黒区美術館年報 令和3(2021)・4(2022)・5(2023)年度

令和7(2025)年3月15日発行

編集・発行一(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

TEL. 03-3714-1201(代)

